EPSON
EXCEED YOUR VISION

SC-F9350

ユーザーズガイド

本製品の基本的な操作方法、日常お使いいただく上で必要な事項などを説明しています。

CMP0106-00 JA
© 2017 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.

商標

「EPSON」、「EPSON EXCEED YOUR VISION」、「EXCEED YOUR VISION」は、セイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、Mac OS、OS X、Bonjour および ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。

YouTube および YouTube ロゴは、米国 YouTube 社（YouTube,LLC）の商標または登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクパックは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

ご使用の前に 5

各部の名称と働き 5
- 正面 5
- 右側面 7
- 内部 8
- 背面 9
- スライダー 10
- 操作パネル 10
- 画面の見方 11

特長 14
- 高生産性を実現 14
- 優れた使いやすさ 14
- 高画質印刷 15

使用・保管時のご注意 15
- 設置スペース 15
- 使用時のご注意 15
- 使用しないときのご注意 16
- インクパック・インクタンク取り扱い上のご注意 16
- メディア取り扱い上のご注意 17

添付ソフトウェアの紹介 18
- Epson Control Dashboard の起動方法 19
- Epson Control Dashboard を別のコンピューターからアクセスしたいとき 19
- Epson Control Dashboard の終了方法 19
- EPSON Software Updater の使い方 20

ソフトウェアの削除 20

基本の操作 22

メディア取り扱い時のご注意 22

メディアセット時のご注意 22

メディアのセット方法 23

自動巻取りユニットの使い方 29
- 正しく巻き取るための注意点 29
- 紙管の取り付け 30
- 内巻きでの巻き取り方 33
- 外巻きでの巻き取り方 35

セットしたメディアの設定 36

巻き取ったメディアの取り外し方 38
- メディア残量の印刷 38
- メディアのカット 38
- メディアの取り外し 39

印刷前の確認 40

新規にメディア設定を保存する 40
- メディア設定方法の種類と概要 40
- 簡単メディア設定の手順 41

メディア調整 43
- メディア調整（自動メディア送り調整） 43
- メディア調整（手動） 44

印刷途中に設定を変更する 46
- ヒーターの温度を変更したいとき 46
- バンディングを補正したいとき 46

印刷可能領域 48

メンテナンス 51

メンテナンスの種類と実施時期 51
- 清掃箇所と実施時期 51
- 消耗品の交換・補充 52
- 定期メンテナンス 52
- その他のメンテナンス 52

準備するもの 54

作業時のご注意 54

毎日の清掃 55

定期清掃の仕方 56
- インククリーナーの使い方 56
- プリントヘッドの移動 57
- プリントヘッド周辺の清掃 57
- キャップ周辺の清掃 58
- 清掃の終了 60

インクの補充 60
- インク補充の時期 60
- インク補充時のご注意 61
- インク補充の手順 62

高濃度ブラックインクのかくはん手順 66

廃インク処理 68
- 準備と交換時期 68
- 廃インクカウンターについて 69
- 廃インクボトルの交換 69

ヘッドクリーニングセットの交換 70
- 準備と交換時期 70

ヘッドクリーニングセットの交換方法 71
メディア押さえ板の交換 73
交換方法 73
使用済み消耗品の処分 75
廃棄 75
ノズルの目詰まりチェック 75
目詰まりチェックの種類 75
チェックパターンの印刷方法 76
ヘッドクリーニング 76
ヘッドクリーニングの種類 76
ヘッドクリーニングの方法 77
遮熱板の清掃 78
キャリッジ軸へのグリスの塗布 78
キャリッジ軸の位置と使用パッド 78
キャリッジ軸 A への注油手順 79
キャリッジ軸 B への注油手順 81
グリス保管時のご注意 82

操作パネルのメニューの使い方 83

メニューの操作 83
設定メニュー一覧 84
設定メニューの説明 89
メディア管理メニュー 89
プリンター設定メニュー 93
メンテナンスメニュー 96
プリンターステータスメニュー 97
環境設定メニュー 97

困ったときは 99

メッセージが表示されたとき 99
メンテナンスコール/サービスコールが発生したときは 100
トラブルシューティング 102
印刷できない（プリンターが動かない） 102
プリンターは動くが印刷されない 102
印刷品質/印刷結果のトラブル 103
メディアのトラブル 104
その他 106
お問い合わせいただく前に 106
エプソンのホームページの Q&A 106
ファームウェアのバージョンアップ 106
トラブルが解消されないときは 106

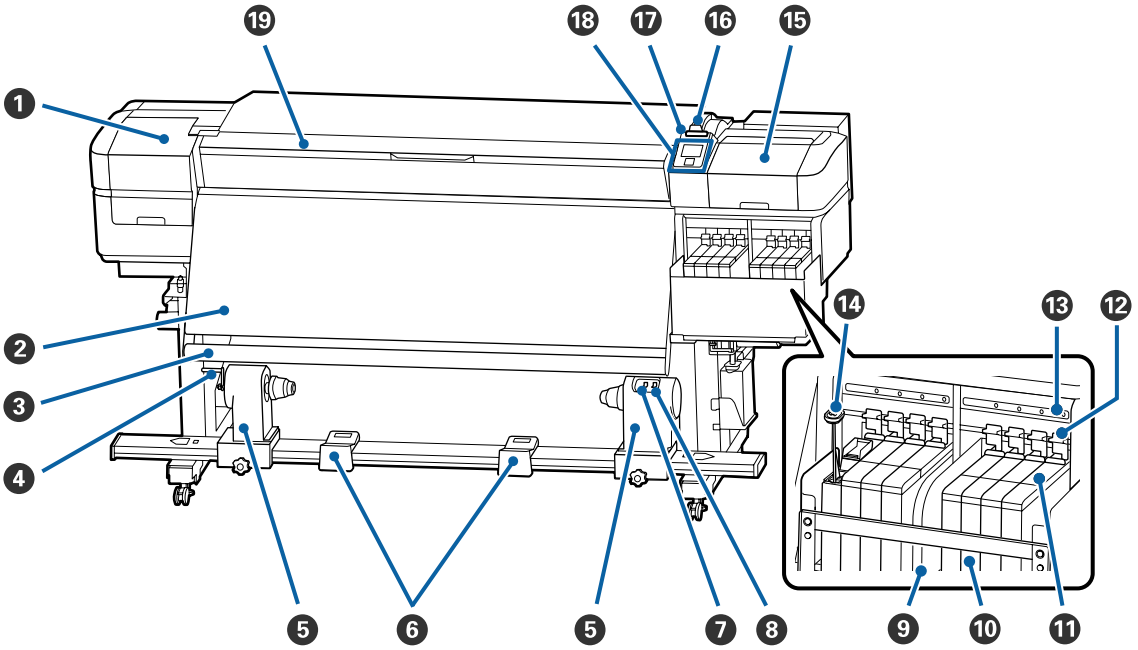
付録 107

消耗品とオプション 107
使用可能なメディア 108
移動と輸送 108
移動の方法 108
輸送の方法 109
自動巻取りユニットの平行調整 110
平行調整時に準備するもの 110
調整の方法 110
メディアタイプごとのメディア設定値一覧 118
システム条件 119
Epson Control Dashboard 119
Epson Edge Print 120
仕様一覧 121
サービス・サポートのご案内 123
各種サービス・サポートについて 123
保守サービスのご案内 123
お問い合わせ先 125
製品に関する諸注意と適合規格 126

ご使用の前に

各部の名称と働き

正面



❶ メンテナンスカバー（左）
プリントヘッド周辺を清掃するときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。
☞「プリントヘッド周辺の清掃」57 ページ

❷ ヒーター
印刷後のインクをすばやく乾かすことができます。
☞「ヒーターの温度を変更したいとき」46 ページ

❸ メディアガイドバー
メディアを巻き取るとき、メディアがたるまないように張りを保ちます。

❹ ハンドル
紙管を左側の紙管ホルダーに装着後、ハンドルを回すと紙管ホルダーが押し込まれ紙管に加圧します。

❺ 紙管ホルダー
メディア巻き取り用の紙管を装着します。左右両側にあります。
☞「自動巻取りユニットの使い方」29 ページ

❻ ロールサポート
巻き取り終わったメディアを取り外す作業中に一旦メディアを置く台です。左右両側にあります。

❼ Auto スイッチ
自動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Off にすると巻き取りません。

❽ Manual スイッチ
手動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Auto スイッチが Off のときに機能します。

❾ 遮熱板
市販のヒーター使用時にインクタンク内のインク温度が上昇するのを防ぎます。遮熱板にインクが付着してインクタンク内が見えにくいときは、清掃してください。
☞「遮熱板の清掃」78 ページ

❿ インクタンク
印刷に使うインクを貯留します。

⓫ スライダー
☞「スライダー」10 ページ

⓬ ロックレバー
チップユニット交換時に、スライダーを取り外すときは、ロックレバーを上げてロックを解除します。スライダー挿入後は、必ずロックレバーを下げてロックしてお使いください。

⓭ チップユニットチェックランプ
チップユニットに関するメッセージが表示されると点灯します。

点灯	：	操作パネルの画面でメッセージを確認して対応してください。
消灯	：	問題ありません。

⓮ かくはん棒
高濃度ブラックインクのインクタンクにのみ付いています。1 週間に 1 度、かくはん棒でインクタンク内をかくはんします。

⓯ メンテナンスカバー（右）
キャップ周辺の清掃をするときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。
☞「キャップ周辺の清掃」58 ページ

⓰ メディアセットレバー
メディアをセット後に、メディアセットレバーを下げてメディアを押さえます。メディアを取り外すときは、メディアセットレバーを上げてメディアを解放します。

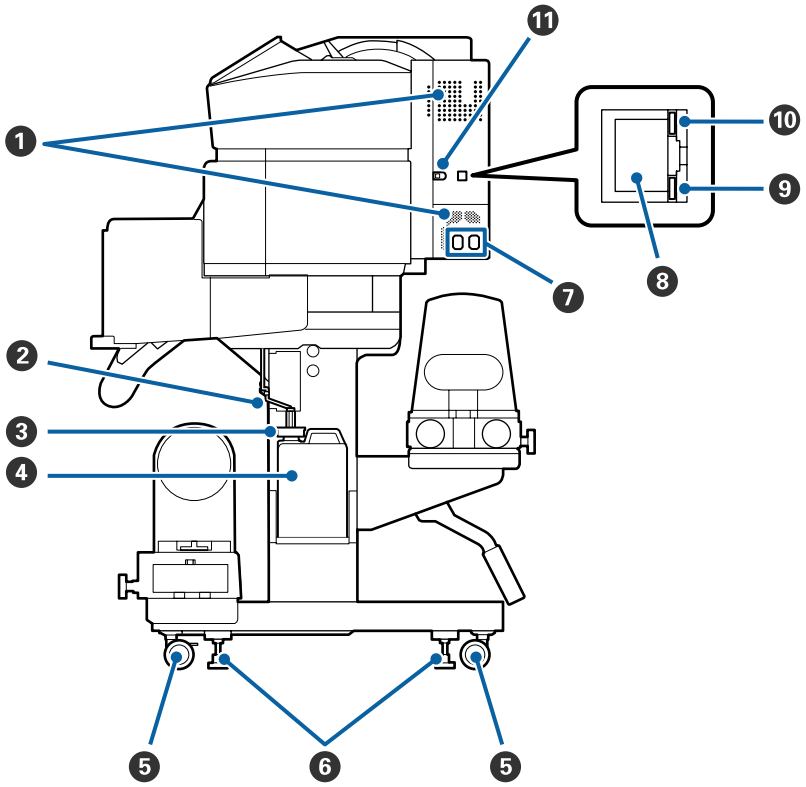
⓱ 大型アラートランプ
エラーが発生すると点灯/点滅します。

点灯/点滅	：	エラーが生じています。点灯か点滅かは、エラーの内容によって異なります。エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。
消灯	：	問題ありません。

⓲ 操作パネル
☞「操作パネル」10 ページ

⓳ 前面カバー
メディアのセットや内部の清掃、メディア詰まり時に開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

右側面



❶ 通風口
内部に空気を取り込みます。通風口を塞がないでください。

❷ 廃インクチューブ
廃インクを排出するチューブです。チューブ先端を必ず廃インクボトルに入れた状態でお使いください。

❸ ストッパー
廃インク排出時の飛び散りを防止します。
廃インクボトル交換時を除き、廃インクボトルの口に密着させてお使いください。

❹ 廃インクボトル
廃インクをためる容器です。
操作パネルの画面メッセージに従って新しい廃インクボトルと交換してください。
☞「廃インク処理」68 ページ

❺ キャスター
左右の脚部に、2 つずつ付いています。本機を設置後は、前方のキャスターを常にロックした状態でお使いください。

❻ アジャスター
じゅうたん張りや傾いた床に設置する際に、水準器で確認して本機を水平状態に調整します。
☞『セットアップガイド』(冊子)

❼ 電源コネクター#1/ 電源コネクター#2
電源コードを接続します。必ず両方とも接続してください。

❽ LAN ポート
LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5e 以上）を使用してください。

❾ データランプ
ネットワークの接続状態またはデータの受信状態が点灯/点滅で示されます。

点灯	：	接続状態です。
点滅	：	接続状態です。データ受信中です。

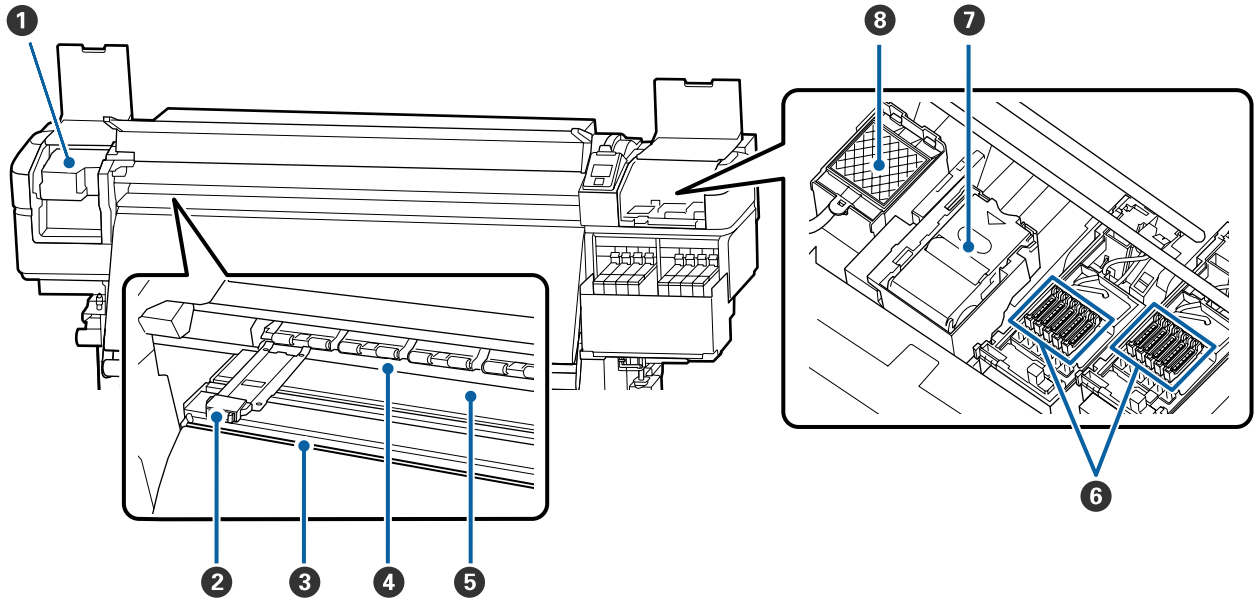
❿ ステータスランプ
ネットワークの通信速度が色で示されます。

赤色	：	100Base-TX
緑色	：	1000Base-T

⓫ USB ポート
USB ケーブルを接続します。

内部

以下の各部位が汚れると、良好な印刷結果が得られません。各項目に記載の参照ページをご覧になり、定期的に清掃や交換をしてください。



❶ プリントヘッド
左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。1 ヵ月に 1 度以上は清掃してください。
☞「プリントヘッド周辺の清掃」57 ページ

❷ メディア押さえ板
メディアの浮き上がりやメディア裁断面の毛羽がプリントヘッドに触れるのを防ぎます。メディアの左右端に取り付けて印刷します。
☞「メディアのセット方法」23 ページ

❸ カッター溝
メディアをカットするとき、この溝に沿って市販のカッターの刃を移動してカットします。
☞「メディアのカット」38 ページ

❹ 加圧ローラー
印刷時にメディアを上から押さえます。
☞「毎日の清掃」55 ページ

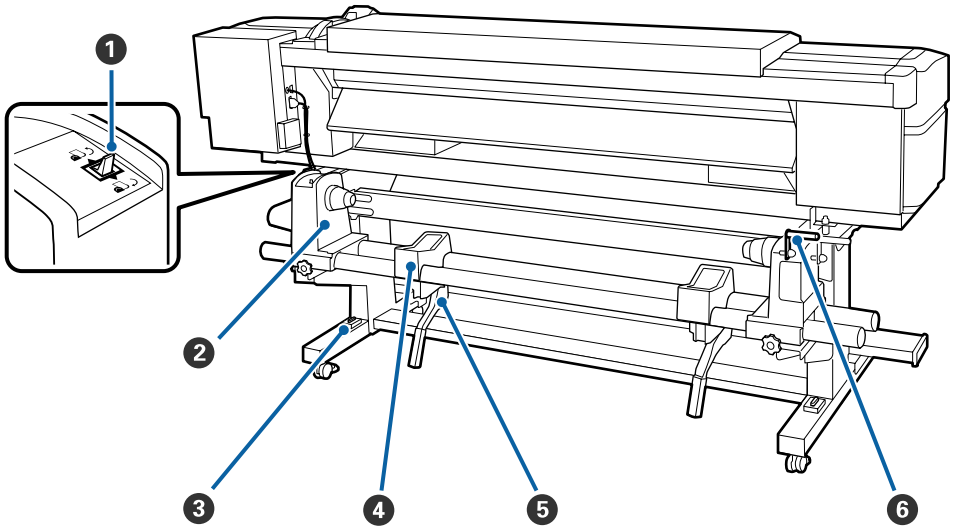
❺ プラテン
スムーズに印刷やメディア搬送が行われるようにメディアを吸着して固定します。
☞「毎日の清掃」55 ページ

❻ キャップ
印刷時を除き、このキャップでプリントヘッドのノズルを塞いで乾燥を防ぎます。1 ヵ月に 1 度以上は清掃してください。
☞「キャップ周辺の清掃」58 ページ

❼ ワイパーユニット
プリントヘッドのノズル面に付いたインクを拭き取ります。ワイパーユニットは消耗品です。操作パネルの画面メッセージに従って交換してください。
☞「ヘッドクリーニングセットの交換」70 ページ

❽ フラッシング用吸収材
フラッシング時にインクがここに排出されます。フラッシング用吸収材は消耗品です。ワイパーユニットと一緒に交換してください。
☞「ヘッドクリーニングセットの交換」70 ページ

背面



❶ 駆動スイッチ
メディアセット時にメディアを送ったり、メディア交換時に巻き戻したりできます。

❷ ロールホルダー
メディアを装着します。左右両側にあります。

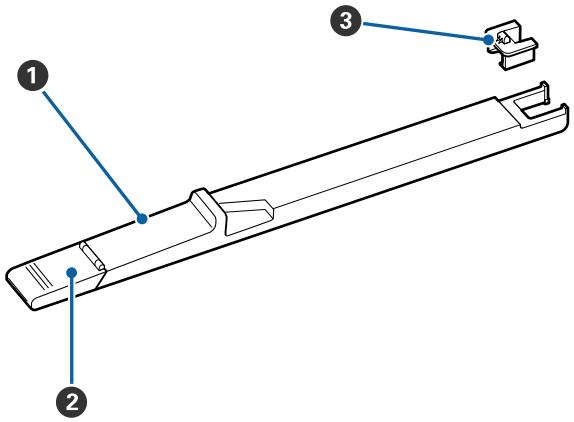
❸ 水準器
じゅうたん張りや傾いた床に設置する際に、本機の水平状態を確認します。左右両側にあります。
☞『セットアップガイド』(冊子)

❹ ロールサポート
メディアをロールホルダーに装着するとき、一旦ここに置いてから装着作業をします。左右両側にあります。

❺ リフトレバー
メディアをロールホルダーに装着する際に重いと感じるときは、このレバーを使うと負担なくメディアをロールホルダーの位置まで持ち上げられます。左右両側にあります。

❻ ハンドル
メディアを右側のロールホルダーに装着後、ハンドルを回すとロールホルダーが押し込まれメディアの紙管に加圧します。

スライダー

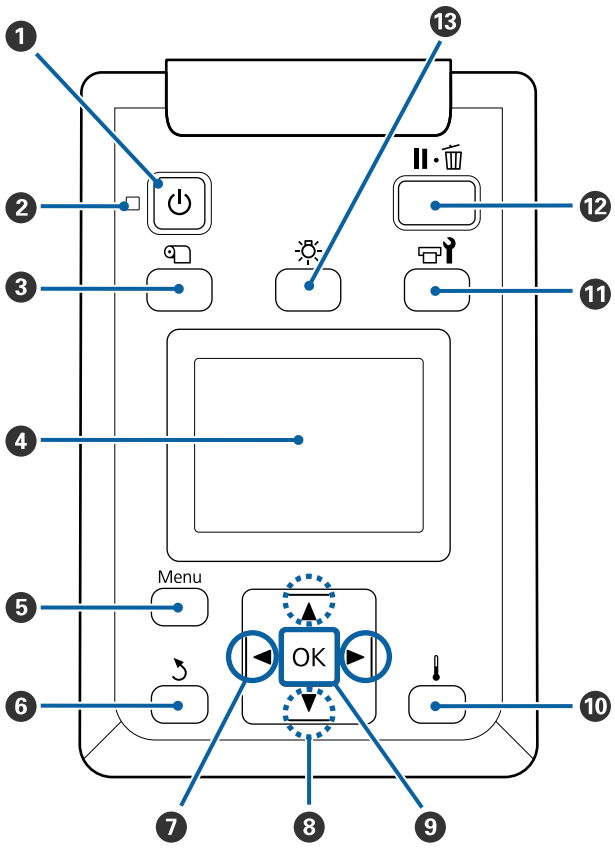


❶ スライダー
インクパックに付属のチップユニットを装着します。
☞「インクの補充」60 ページ

❷ 注入口カバー
インクタンクにインクを補充するときに開けます。

❸ チップユニット
IC チップが搭載されたユニットです。
インクパックに付属しています。

操作パネル



❶ 【⏻】ボタン（電源ボタン）
本機の電源を入れたり、切ったりします。

❷ ⏻ランプ（電源ランプ）
本機の動作状態が点灯/点滅で示されます。

点灯　：電源が入っています。

点滅　：データ受信中または本機の電源を切る、ヘッドクリーニングなどの処理中です。

消灯　：電源が入っていません。

❸ 【】ボタン（メディア管理ボタン）
画面にメディア管理メニューが表示され、［カット位置まで送る］、［メディア残量管理］、［メディア選択］、［メディア設定変更］、［簡単メディア設定］が行えます。
☞「メディア管理メニュー」89 ページ
印刷中に押したときは、メディア送り調整を行えます。
☞「バンディングを補正したいとき」46 ページ

❹ 画面
本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。☞「画面の見方」11 ページ

❺ 【Menu】ボタン
画面に設定メニューが表示されます。☞「操作パネルのメニューの使い方」83 ページ

❻ 【】ボタン（戻るボタン）
設定メニュー表示中にひとつ上の階層に戻るときに押します。☞「メニューの操作」83 ページ

❼ 【◀】/【▶】ボタン（左右ボタン）
設定メニューで［設定名の登録］や［IP アドレス］などを任意に設定する際、入力する文字の位置を指定するときに押します。

❽ 【▲】/【▼】ボタン（上下ボタン）

- メディアセットレバーを下げた状態では、セットしているメディアの巻き仕様に関係なく【▼】ボタンを押すとメディアが送られ、【▲】ボタンを押すと巻き戻ります。
  なお、【▲】ボタンでメディアを巻き戻したとき、メディアの先端が印刷開始位置に達すると巻き戻しが停止します。一旦ボタンから指を離して再度押すと巻き戻しが再開します。
- メディアセットレバーを上げた状態では、セットしているメディアの巻き仕様に応じてメディアを巻き戻すボタンが異なります。
  印刷面外巻き:【▲】ボタンを押します。
  印刷面内巻き:【▼】ボタンを押します。
  ボタンを押し続けるとメディアを最大 25cm まで巻き戻せます。
- 設定メニュー表示中に押すと、メニューや設定値を選択できます。☞「メニューの操作」83 ページ

❾ 【OK】ボタン

- 設定メニューでメニュー項目を選択した状態で押すと、そのメニューのひとつ下の階層に進みます。
- 設定メニューで設定値を選択した状態で押すと、その設定値が有効に設定されるか、あるいは実行されます。
- 警告ブザーが鳴っているときに押すと、音が止まります。

❿ 【 】ボタン（ヒーター/乾燥設定ボタン）

画面にヒーター/乾燥設定メニューが表示され、[ヒーター予熱開始] や [ヒーター温度設定]、[空白のメディア送り]、[パスごとの乾燥時間]、[印刷後の乾燥送り] が行えます。印刷中は、[ヒーター温度設定] だけ設定できます。
☞「ヒーターの温度を変更したいとき」46 ページ

⓫ 【 】ボタン（メンテナンスボタン）

画面にメンテナンスメニューが表示され、[ノズルチェック] や [クリーニング]、[ヘッドメンテナンス]、[廃インクボトル交換]、[ヘッドクリーニングセット交換]、[その他のメンテナンス] が行えます。印刷中は、ボタンを押しても動作しません。
☞「メンテナンスメニュー」96 ページ

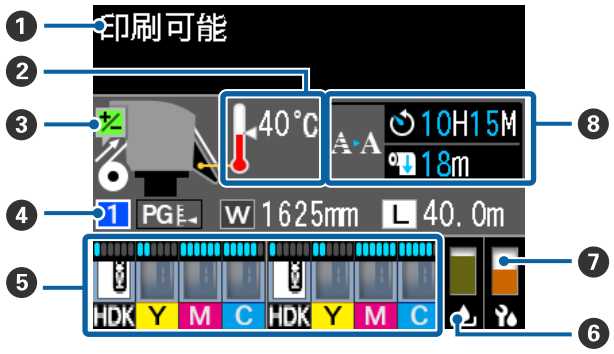
⓬ 【 】ボタン（ポーズ/キャンセルボタン）

- 印刷中に押すと、一時停止（ポーズ）状態になります。ポーズ状態を解除するには、再度【 】ボタンを押すか、画面の［ポーズ解除］を選択して【OK】ボタンを押します。画面で［ジョブキャンセル］を選択して【OK】ボタンを押すと処理中の印刷をキャンセルできます。
- 設定メニューを表示中に押すと、メニューを終了し印刷可能状態に戻ります。

⓭ 【 】ボタン（照明ボタン）

内部照明が付いているときに押すと、消灯します。内部照明が消えているときに押すと、点灯します。ただし、点灯不可の動作中はボタンを押しても点灯しません。

画面の見方



❶ メッセージ

本機の状態や操作、エラーメッセージが表示されます。
☞「メッセージが表示されたとき」99 ページ

❷ ヒーター温度

温度計アイコンは、現在のヒーター温度の目安を以下のように表しています。

: ヒーターの温度が設定温度に達しています。

: ヒーターの温度が設定温度に達していません。

❸ 印刷中のメディア送り調整情報

印刷の途中で調整値を設定したときに表示されます。
☞「バンディングを補正したいとき」46 ページ

❹ メディア情報

メディアに関する情報を以下の通り表示します。

1 : 選択しているメディア設定の番号です。

PG : プラテンギャップの設定値をアイコンの の位置で以下の通り示します。
PG : 1.6, PG : 2.0, PG : 2.5

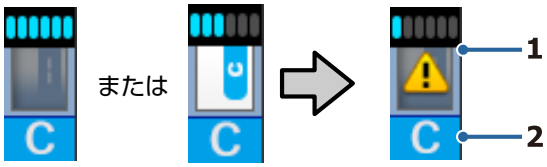
W : セットされているメディアの幅サイズです。

L / L : L のとき：メディア残量（ロールメディアの残りの長さ）を 0.1m 単位で表示します。
L のとき：ジョブごとの印刷長が 1m 単位で表示されます。
表示の切り替えは、設定メニューの［パネル表示設定］で行います。
［メディア残量管理］で［メディア長さ設定］を［OFF］に設定していると、メディア残量は表示されません。
☞「メディア管理メニュー」89 ページ

❺ 推定インク残量とチップユニットの状態

推定インク残量と本機にセットしているチップユニットの状態が表示されます。
警告やエラーが発生すると表示が以下のように変わります。

正常時　　警告・エラー発生時



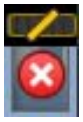
1 状態表示

インク残量を推定して表示するインジケーターとチップユニットの状態が次のように示されます。

: インクタンクにインクが十分あると推定されるため、印刷に支障ありません。
インジケーターの目盛りの数は、推定インク残量に応じて減っていきます。

: インク残量が少なくなったと推定されます。
新しいインクパックを準備してください。

: 推定インク残量の限界値が間近です。
インクの残量を確認してインクがインクタンクの底面から 70mm 以下になっていたら、チップユニットの交換とインク 1 パックを補充してください。70mm より多いときは、70mm 以下になるまで使い続けてから、交換と補充をしてください。

 : 推定インク残量が限界値に達したため印刷を停止しました。
チップユニットの交換とインク 1 パックを補充をしてください。

チップユニットの状態によりインジケータの下の部分が以下の通り変わります。

: 自動チャージ*用のチップユニットが装着されています。
推定インク残量が少なくったときの警告が行われなくなります。インクがインクタンクの底面から 70mm 以下になっていたら、インク 1 パックを補充してください。

: （点滅時）
装着した自動チャージ*用のチップユニットを取り外したときの状態です。
ロックレバーを下げると通常のアイコン表示になります。
取り外したチップユニットは新品のままです。

: ロックレバーが上がっているため自動チャージできません。ロックレバーを下げてください。

/ : 以下のどれかの状態です。
チップユニットをセットし直すか、正しいチップユニットと交換してください。

- チップユニットが正しく装着されていない。
- インクタンクと異なる色のインクパックのチップユニットを装着している。
- 本機で非対応のインクパックのチップユニットを装着している。

＊ 新品のチップユニットに登録されているインク 1 パック分の使用可能情報は、チップユニットを本機に装着すると自動的に本機に書き込まれます。チップユニットの情報が本機に書き込まれることを、「チャージ」と呼びます。
チャージが完了するとインジケーターの目盛りが満杯になり、チャージの状態アイコンがグレーに変わります。チャージ後は、本機に装着したチップユニットは不要になります。
不要になったチップユニットを取り出して新品のチップユニッ

トと交換しておくと、インジケーターの目盛りが 0 個になった時点で自動でチャージが行われます。
自動チャージのために新品のチップユニットを本機に装着しておくことを、「予約」と呼びます。
予約は、推定インク残量のインジケーターの目盛りが 6～1 の範囲なら、いつでも行えます。

2 インク色の略号

HDK ： 高濃度ブラック

Y ： イエロー

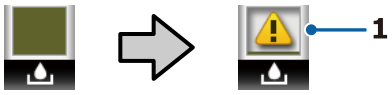
M ： マゼンタ

C ： シアン

❻ 廃インクボトルの状態

廃インクボトルの空き容量の目安や状態が表示されます。この表示は、空き容量が残り少なくなったときやエラーが生じると以下のように変わります。

正常時　　警告・エラー発生時



1 状態表示

廃インクボトルの状態が次のように示されます。

： 問題ありません。インジケーターの高さは空き容量に応じて変わります。

： 廃インクボトルがもう少しでいっぱいになります。新しい廃インクボトルの準備が必要です。

： 廃インクボトルが満杯です。新しい廃インクボトルと交換してください。

❼ ヘッドクリーニングセットの状態

ヘッドクリーニングセットの交換時期の目安が表示されます。

： 交換時期が近付くに連れてインジケーターが段々低くなります。

❽ 定期/自動クリーニングの実施時期予告

定期クリーニングまたは自動クリーニング*が実施される時期の予告が以下の通り示されます。
なお、プリントヘッド周辺温度によっては、実施時期が大きく変わることがあります。また、電源を入れ直すと予告表示にかかわらず自動クリーニングが実施されることがあります。

＊＊H＊＊M ： 自動クリーニングと定期クリーニング（頻度を［印刷時間］で設定したとき）の実施時期の 24 時間前になると表示されます。

＊＊＊m ： 定期クリーニング（頻度を［メディア使用量］で設定したとき）の実施時期の 20m 前になると表示されます。

印刷を開始したいのにヘッドクリーニングの実施時期が迫っているときは、事前に設定メニューの［予防クリーニング］を実施すると途中で印刷が中断されなくなり効率的です。

☞「メンテナンスメニュー」96 ページ

＊ 自動クリーニングは、プリントヘッドを良好な状態に保つために一定時間が経過すると、本機が自動で実施するヘッドクリーニングです。

特長

本機は、1626mm（64 インチ）のロールメディアに対応した大判インクジェットカラープリンターです。本機の主な特長は以下の通りです。

高生産性を実現

ヒーター搭載により乾燥性を向上

ヒーターでインクをすばやく乾かすことができ、印刷品質と生産性が向上します。

45kg までのロールが装着できるメディア搬送ユニット

メディア搬送ユニットには、外径 250mm、重量 45kg までの大容量メディアを装着できるのでメディアの交換の頻度が軽減されます。

自動巻取りユニットを標準装備

印刷後のメディアをきれいに、しわなく自動的に巻き取ることができます。大量印刷、夜間の連続印刷に役立ち、連続式昇華転写機に対応可能な高精度巻き取りを実現しています。

大容量インクタンク搭載

高い生産性を実現するため、大容量インクタンクを搭載しています。補充用のインクパックも 1000ml と大容量で提供しています。頻繁にインクカートリッジを交換するわずらわしさがありません。

高速印刷の実現

2 ヘッドスタガー配列により高速印刷を実現しています。また高速印刷に対応するため、各色 2 つのインクタンクが装備されています。

優れた使いやすさ

メディアのセット・巻き取りが簡単

ロールホルダー、紙管ホルダーともスピンドルの無い構造のため、セット前にメディアをスピンドルにセットする必要がありません。メディアを運んで来てそのまま直接本機にセットできます。作業スペースが狭くても、長いスピンドルを取り回さずに簡単にセットできます。
さらにロールサポートにメディアを仮置きできるためメディアを負担なくロールホルダーの位置まで持ち上げられます。

基本機能を搭載したソフトウェア RIP「Epson Edge Print」に対応（Windows のみ）

「Epson Edge Print」 はエプソン製の標準ソフトウェア RIP です。エプソンの優れた画像処理技術を搭載し、本機の印刷速度と画質を最大限に引き出します。プリンタードライバーのように簡単な操作で誰でもすぐに使え、メディアを登録したり本機のステータスを表示したりすることもできます。

使用するメディアに最適な印刷設定を簡単に登録

メディアのサイズやタイプに合わせて最適な印刷ができるように、多様な設定を用意しています。設定メニューの［簡単メディア設定］を実施すると、この多様な設定をメディアタイプに応じて簡単に素早く登録できます。
さらに、付属のアプリケーションソフト「Epson Control Dashboard」を使うとエプソンが提供する印刷設定（EMX）ファイルをダウンロードして設定できます。EMX ファイルは市販メディアに適切に印刷するのに必要な、プリンターに登録するメディア設定値と RIP で読み込んで使う ICC プロファイルやパス数、解像度などのプリント情報を 1 つにまとめたメディア別の印刷設定ファイルです。メディア設定値をプリンターに登録し、プリント情報を付属の印刷用アプリケーションソフト「Epson Edge Print」や市販の RIP で指定するだけで、簡単に最適な印刷が行えます。

メンテナンスの容易さ

印刷品質を維持するためには、メンテナンスが欠かせません。本機は、ワイパーユニット搭載により清掃作業が軽減されました。また、メンテナンススペースが広く設計されており、容易にメンテナンス作業を行えます。
さらに、定期クリーニング機能によりノズルの目詰まりが起きるのを予防できます。

印刷状況の確認が容易

印刷時に本機内部の LED 照明が自動的に点灯するので、印刷の状況を容易に見ることができます。

メール通知機能でエラー/ワーニング状態を通知

本機のネットワークインターフェイスに内蔵の EpsonNet Config（Web 版）にはメール通知機能が装備されています。メール通知設定を行うと、本機にエラーやワーニング発生時に、設定したアドレスにメールで状態が通知されます。これにより、夜間無人運転時なども安心して本機から離れることができます。
EpsonNet Config（Web 版）の起動方法 ☞『ネットワークガイド』（PDF）

大型アラートランプとブザーでエラーを通知

エラーが生じたときは、ブザー音と大型アラートランプが点灯してお知らせします。大型アラートランプは視認性が良いので、離れた位置からも確認できます。

同時にブザーでもお知らせしますので、エラーで印刷が止まっているのに気付かずにいたという時間の無駄使いを防止できます。

High-Speed USB/ギガビットイーサネット

High-Speed USB と 100Base-TX/1000Base-T 対応のネットワークインターフェイスを標準搭載しています。

高画質印刷

高濃度ブラックインクを採用

高濃度ブラックインクは、ブラックインクに比べ黒濃度が向上し、より深みのある黒の表現が可能です。さらにカラーの色域も拡大し、コントラストがはっきりとしたビビッドな表現が可能です。

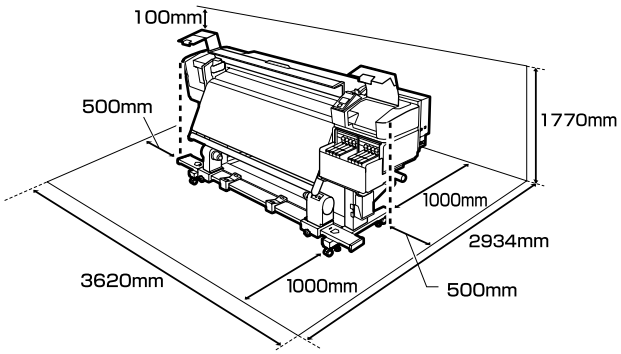
印刷時のメディア姿勢を安定化

プラテン形状の最適化により、印刷時のメディアの姿勢を安定化して高画質を実現しています。

使用・保管時のご注意

設置スペース

排紙や消耗品の交換を支障なく行うために、最小限、以下のスペースを確保して物などを置かないでください。
本機の外形寸法は、「仕様一覧」をご覧ください。
☞「仕様一覧」121 ページ



使用時のご注意

本機を使用する際は、故障や誤動作、印刷品質低下の原因となりますので、以下の点に注意してください。

- 「仕様一覧」に記載の温度・湿度範囲を守って使用してください。☞「仕様一覧」121 ページ
  ただし、上記の条件を満たしていても使用するメディアの環境条件を満たしていないと、正しく印刷できないことがあります。必ずメディアの環境条件も満たした場所で使用してください。詳しくは、メディアのマニュアルをご覧ください。
  また、乾燥する地域やエアコンが稼動している環境、直射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して条件範囲内の湿度を保つようにしてください。
- 送風機やエアコンなどの風が直接当たる場所、熱源のある場所での使用は避けてください。プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりが発生することがあります。
- 市販のヒーターを使用するときは、推奨動作温度の範囲内で使用することをお勧めします。
  推奨範囲外で使用すると、印刷品質の低下やプリントヘッドのノズル目詰まりの原因となることがあります。
  ☞「仕様一覧」121 ページ
- 廃インクチューブを曲げたり、引っ張ったりしないでください。インクが本機の内部や周辺に漏れることがあります。

- 使用頻度や推奨する時期に清掃や交換などのメンテナンスが必要です。メンテナンスを怠ると印刷品質劣化の原因となります。適切なメンテナンスをせずに使い続けると、プリントヘッドが損傷するおそれがあります。
☞「清掃箇所と実施時期」51 ページ
- メディアが詰まったときやエラーが起こったまま電源を切るとキャッピングされない（プリントヘッドが右端に位置しない）ことがあります。キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッドにキャップ（蓋）をする機能です。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。プリントヘッドがキャッピングされないことがあります。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 印刷後一定時間が経つとプリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にヘッドクリーニングが行われます。
そのため、本機の電源が入っている状態では必ず廃インクボトルを装着してください。
- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作でインクが消費されます。
- 安定した色合いで印刷したいときは、15 ～ 25℃の環境下で一定の室温に保ち、使用してください。

使用しないときのご注意

本機を使用しないときは、以下の点に注意して保管してください。保管状態が適切でないと、印刷再開時に正しく印刷できないことがあります。

- 長期間使用しないときは、7 日に 1 度は電源を入れてください。
印刷しない期間が長くなると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。電源を入れると起動後、自動でヘッドクリーニングが行われます。ヘッドクリーニングを行うことで、プリントヘッドの目詰まりを防ぎ印刷品質を維持できます。ヘッドクリーニングが終了するまで電源を切らないでください。
- 2 週間以上使用しないときは、サービスエンジニアによる事前と事後のメンテナンスが必要です。事前・事後メンテナンスは有償となります。
なお、事前メンテナンスを実施しても、保管期間や環境などによっては事後メンテナンスの際に修理が必要になることがあります。修理が必要な際は、有償となります。
お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☞「お問い合わせ先」125 ページ
- メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。保管時はメディアを取り外してください。
- プリントヘッドがキャッピングされている（プリントヘッドが右端に位置している）ことを確認してから本機を保管してください。キャッピングせずに長時間放置すると、印刷不良の原因となります。

> 参考
> キャッピングされていないときは、本機の電源を入れ、再度切ってください。

- 全てのカバーを閉めて保管してください。また、長期間使用しないときは、ホコリが入らないよう、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めします。プリンターのノズルは大変小さいものです。そのため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりして正しく印刷できないことがあります。
- 本機を長期間使用しなかったときは、印刷を再開する前に必ずプリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。プリントヘッドに目詰まりが確認されたときは、ヘッドクリーニングを行ってください。
☞「ノズルの目詰まりチェック」75 ページ
- 本機を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

インクパック・インクタンク取り扱い上のご注意

インクパックとインクタンクは、以下の点に注意して取り扱ってください。

- インクタンクは取り外さないでください。
インクタンクは、取り付け時に調整を行っています。取り外すと品質や性能を損なうことがあります。
- インクパックは、直射日光を避けて常温で保管してください。
- 良好な印刷品質を得るために、以下の期日のうち早いほうの期日までに使い切ってください。
  - インクパックに記載の推奨使用期限

- インクタンクに補充した日から 25 日

- インクパックを寒い所に長時間保管していたときは、4 時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクタンクにインクを補充するときは、インクパックのインクは残さず、一度で注ぎ切ってください。
- インクパック開封後は速やかにインクタンクに補充してください。
- インクタンクの上に物などを置いたり、強い衝撃を与えないでください。インクタンクが外れることがあります。インクタンクが外れたときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
  エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☞「お問い合わせ先」125 ページ

メディア取り扱い上のご注意

メディアの取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。メディアの状態が悪いと、良好な印刷結果が得られません。
必ず各メディアのマニュアルも併せてご覧ください。

取り扱い上のご注意

- メディアを折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- メディアの印刷面には触れないでください。手の皮脂や水分が印刷品質に影響します。
- メディアの端を持って取り扱ってください。また綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- メディアを濡らさないでください。
- 個装箱や個装袋は、メディアの保管時に使用しますので、捨てないでください。
- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 使用しないメディアは、本機から取り外し、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間セットしたまま放置すると、メディア品質が低下するおそれがあります。

印刷後メディア取り扱い上のご注意

印刷後は、良好な印刷結果を長期間保持するために以下の点に注意して適切に取り扱ってください。

- 印刷物をこすったり引っかいたりしないでください。こすったり引っかいたりするとインクが剥がれることがあります。
- 印刷物の表面は触らないでください。インクが剥がれることがあります。
- 印刷後のメディアは、重ねたり折り曲げたりせずに十分に乾燥させてください。乾燥させずに重ねたり巻き取ると印刷面が傷つくことがあります。
- 直射日光に当てないでください。
- 印刷後は、変色を防ぐためにメディアのマニュアルの指示に従って展示/保存してください。

添付ソフトウェアの紹介

本機には、以下の 2 種類の CD が付属しています。

- ソフトウェアディスク
  収録されているソフトウェアの内容は、次項をご覧ください。
- Epson Edge Print ディスク
  Epson Edge Print は、わかりやすい操作で容易に使えるソフトウェア RIP です。
  インストール方法は、『セットアップガイド』（冊子）をご覧ください。
  機能の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。

付属のソフトウェアディスクには、Windows に対応した以下のソフトウェアが収録されています。Mac OS X やディスクドライブ非搭載のコンピューターをお使いのときは http://epson.sn からソフトウェアをインストールできます。必要に応じてインストールしてください。
各ソフトウェアの詳細は『ネットワークガイド』（オンラインマニュアル）、または各ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

参考

プリンタードライバーは提供していません。印刷を行うにはソフトウェア RIP が必要です。本機には、エプソン製ソフトウェア RIP「Epson Edge Print」が別 CD で付属しています。
エプソンのホームページでは、本機対応のプラグインソフトウェアなどを紹介しています。
http://www.epson.jp

ソフトウェア名称	概要

Epson Control Dashboard	• インターネットでエプソンが提供する、以下の様々な情報をスムーズに取得いただけます。
	  • 印刷設定（EMX）ファイル
	  • プリンターファームウェアの更新情報 （Epson Control Dashboard から簡単にファームウェアのアップデートが行えます）
	  • 付属のソフトウェアディスクやセットアップナビからインストールしたソフトウェアとマニュアルの更新情報 （更新情報が届いたら EPSON Software Updater を起動して、簡単にアップデートが行えます。）
	  • エプソンからのお知らせ
	• Epson Control Dashboard をインストールしたコンピューターとネットワークや USB 接続しているプリンターの状態を監視します。
	• コンピューターから簡単にメディア設定の設定や変更をしてプリンターに書き出せます。
	☞「Epson Control Dashboard の起動方法」19 ページ
	☞「Epson Control Dashboard の終了方法」19 ページ

EPSON Software Updater	インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認してインストールするソフトウェアです。本機のマニュアルや Epson Control Dashboard、Epson Edge Print もアップデートできます。
Epson 通信ドライバー	（Windows のみ） Epson Control Dashboard、Epson Edge Print 使用時やコンピューターと本機を USB 接続して使用するときは、Epson 通信ドライバーが必要です。必ずインストールしてください。
Install Navi	インストーラーです。インストール時に、ネットワークに接続するためのアドレス設定をウィザード形式で簡単に設定することもできます。
EpsonNet Config SE	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。 インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。

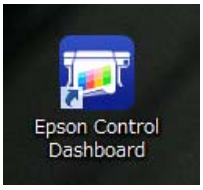
Epson Control Dashboard の起動方法

Epson Control Dashboard は Web アプリケーションです。

1 **次のどちらかの方法で起動します。**

Windows

- デスクトップの［Epson Control Dashboard］アイコンをダブルクリックします。［Epson Control Dashboard］アイコンは、本ソフトウェアをインストールすると作成されます。



- ［スタート］-［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［Epson Software］-［Epson Control Dashboard］の順にクリックします。

Mac OS X

- Dock の Epson Control Dashboard アイコンをクリックします。Epson Control Dashboard アイコンは、本ソフトウェアをインストールすると作成されます。

- ［アプリケーション］-［Epson Software］-［Epson Control Dashboard］-［Epson Control Dashboard］アイコンの順にダブルクリックします。

Linux

メインメニューの［その他］で［Epson Control Dashboard］を選択します。

2 **Epson Control Dashboard が起動します。**

詳細は、Epson Control Dashboard のヘルプをご覧ください。

Epson Control Dashboard を別のコンピューターからアクセスしたいとき

以下の手順で、別のコンピューターにインストールされている Epson Control Dashboard にアクセスして使用できます。

Epson Control Dashboard をインストールしているコンピューターと同一ネットワーク上のコンピューターからアクセスできます。

起動するコンピューターには Epson Control Dashboard をインストールする必要はありません。

1 **アクセスしたい別のコンピューターでブラウザーを起動します。**

2 **アドレスバーに以下の通り入力します。**

http://xxxxxxxxxxx:30561

xxxxxxxxxxx には、Epson Control Dashboard をインストールしたコンピューターのコンピューター名、または IP アドレスを入力してください。

参考

ファイアウォールによってアクセスできないときは、ネットワーク管理者に確認して以下の操作を行ってください。

- ［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］で［別のプログラムの許可］の追加画面を開いて［C:¥Program Files (x86)¥Epson Software¥Control Dashboard¥bin¥Node.exe］を選択します。
- 許可されたプログラムのリストに［Evented I/O for V8 JavaScript］が表示されたことを確認してください。

Epson Control Dashboard の終了方法

Web ブラウザーを終了します。

EPSON Software Updater の使い方

更新されたか確認してアップデート

1 以下の状態になっていることを確認します。

- コンピューターがインターネットに接続されている。
- 本機とコンピューターが通信できている。

2 **EPSON Software Updater を起動します。**

Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

Windows 8.1/Windows 8 以外
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または［プログラム］）-［Epson Software］-［EPSON Software Updater］の順に選択します。

Mac OS X
［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［EPSON Software Updater］の順に選択します。

> **参考**
> Windows では、デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

3 **アップデートするソフトウェアやマニュアルを選んで更新します。**

以降は画面の指示に従ってください。

> **重要**
> 更新中は、コンピューターや本機の電源を切らないでください。

> **参考**
> 一覧に表示されないソフトウェアは EPSON Software Updater では更新できません。エプソンのホームページで最新版のソフトウェアを確認してください。
> http://www.epson.jp

アップデートの通知を受け取る

1 **EPSON Software Updater を起動します。**

2 **［確認の間隔設定］をクリックします。**

3 **本機の［間隔］の欄で更新の確認を行う間隔を選択して［OK］ をクリックします。**

ソフトウェアの削除

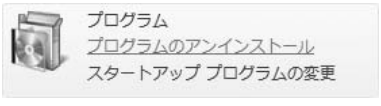
> **重要**
> - 「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。
> - 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
> - ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは終了してください。

Windows
Epson Control Dashboard、Epson 通信ドライバーを例に削除方法を説明します。

1 **本機の電源を切り、インターフェイスケーブルを外します。**

2 **［コントロールパネル］の［プログラム］-［プログラムのアンインストール］をクリックします。**

Windows XP の場合は、［コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］をクリックします。



3 **削除するソフトウェアを選択して［アンインストールと変更］（または［変更と削除］）をクリックします。**

以下を選択すると、Epson 通信ドライバーを削除できます。XXXXX には、型番の数字が入ります。

- EPSON SC-SXXXXX Series Comm Driver プリンターアンインストール

［Epson Control Dashboard］を選択すると、Epson Control Dashboard を削除できます。

4 **本機のアイコンをクリックして、［OK］をクリックします。**

5 **この後は、画面の指示に従ってください。**

削除を確認するメッセージが表示されたら［はい］をクリックします。

Epson 通信ドライバーを再インストールするときは、コンピューターを再起動してください。

Mac OS X

Epson Control Dashboard の削除方法を説明します。

1 **［Epson Control Dashboard］を終了します。**

2 **［アプリケーション］-［Epson Software］-［Epson Control Dashboard］-［Epson Control Dashboard アンインストーラー］をダブルクリックします。**

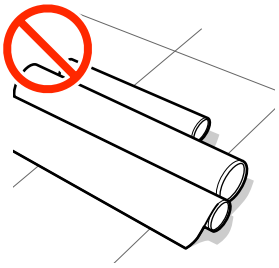
以降は画面の指示に従ってください。

基本の操作

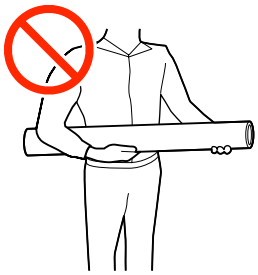
メディア取り扱い時のご注意

以下の点を守らずにメディアを取り扱うと、メディア表面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、ノズルの目詰まりや印刷結果にインクのボタ落ちが生じる原因となります。

むき出しのままで直接メディアを床に置かない。
メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。



衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。
本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱ってください。



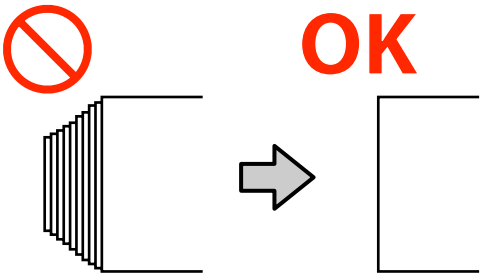
メディアセット時のご注意

⚠注意

- ヒーターは、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアは重いので、1 人で運ばないでください。40Kg 以上のメディアは、リフターの使用をお勧めします。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。
- メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

メディアは印刷直前にセットする。
メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。

左右端が不ぞろいなメディアはセットしない。
ロールの左右の端が不ぞろいなメディアをセットすると、メディア送り不良が生じ印刷中にメディアが蛇行する原因となります。端がそろうように巻き直してから使用するか、問題のないロールを使用してください。



使用できないメディア

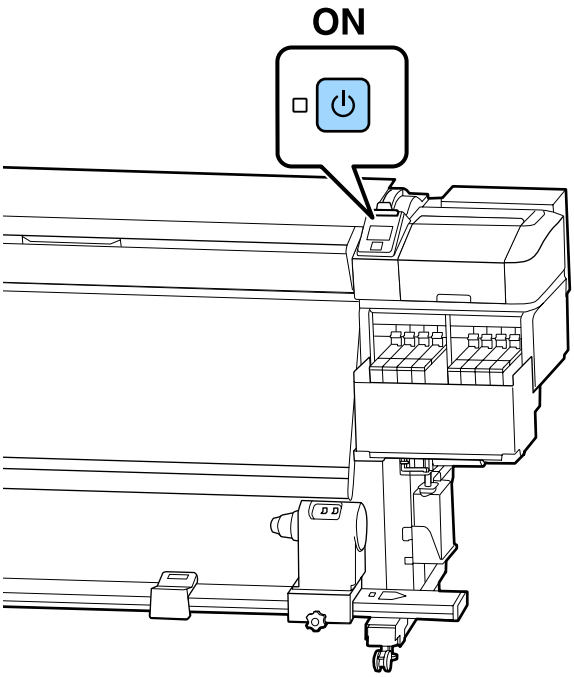
下図のような折れ、しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるメディアは使用しないでください。印刷時にメディアの盛り上がりなどがプリントヘッドに接触して、プリントヘッドが破損することがあります。

メディアのセット方法

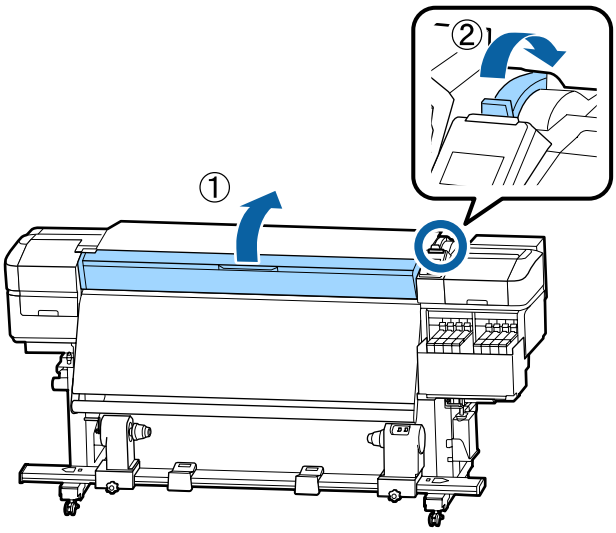
手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

動画マニュアル

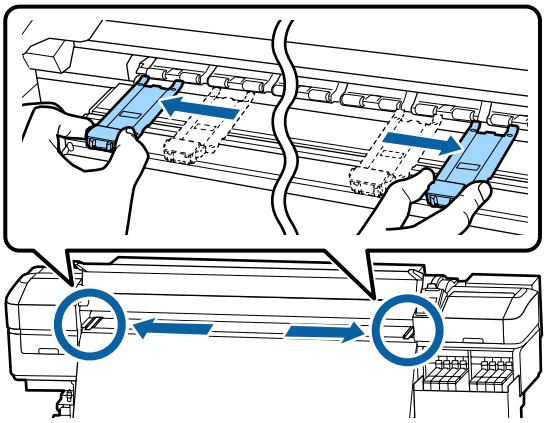
1 【⏻】ボタンを押して、画面に［メディアをセットしてください。］と表示されるまで待ちます。



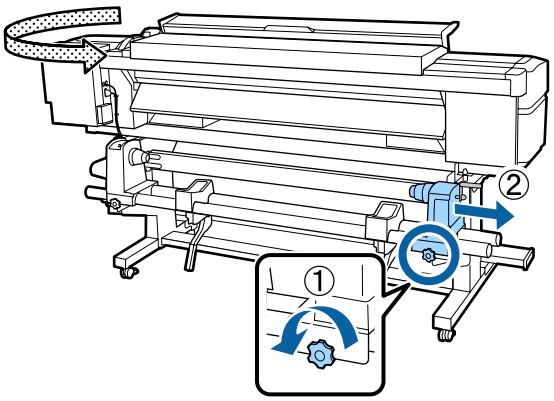
2 前面カバーを開けてからメディアセットレバーを倒します。



3 メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたまま、プラテンの左右端へ退避させます。

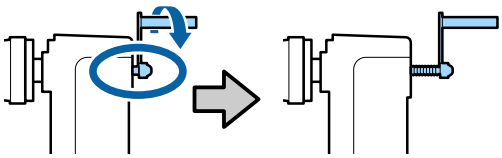


4

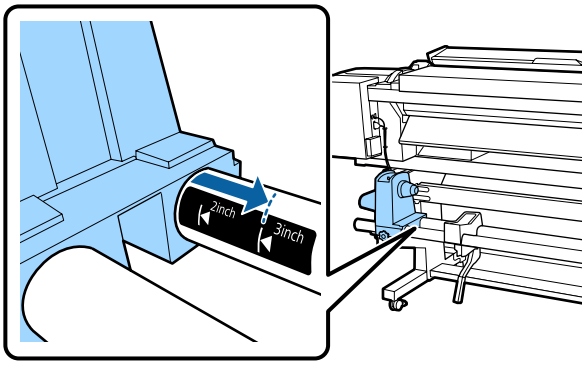


重要

右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正しく取り付けられません。

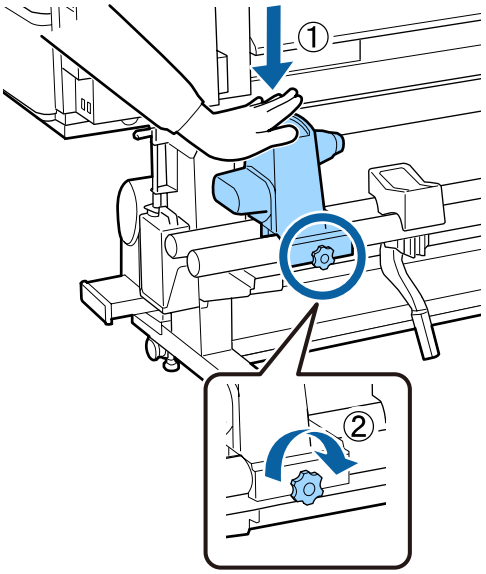


5 セットするメディアの紙管の内径に応じて、ロールホルダーをセット位置に移動します。

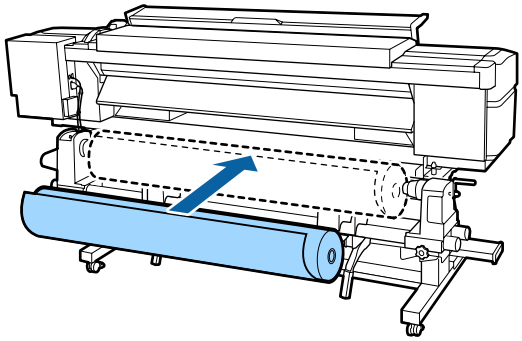


6 ロールホルダーを上から押し付けたまま、固定ネジを回らなくなるまできつく締めます。

ロールホルダーが動かないように固定してください。



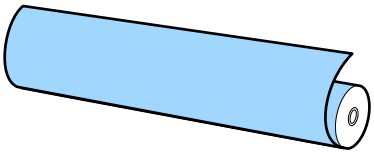
7



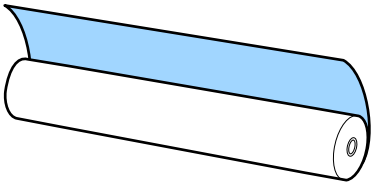
参考

メディアの巻き仕様により、ロールメディアの置き方が以下のように異なります。

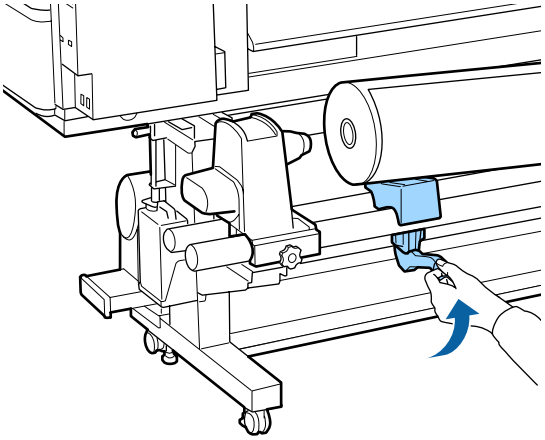
印刷面外巻き



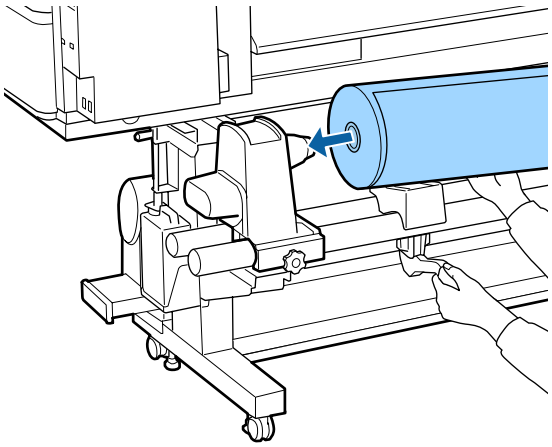
印刷面内巻き



8



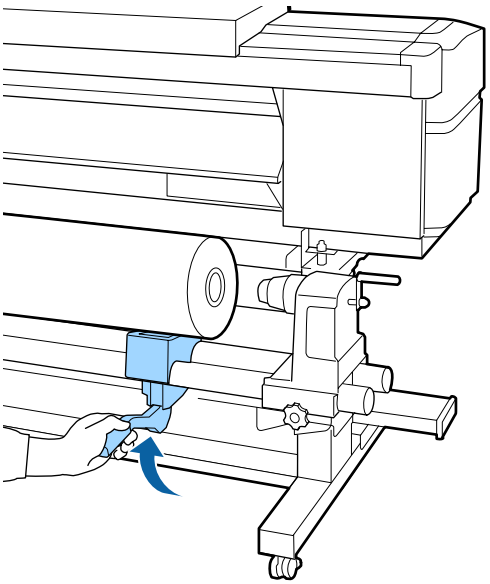
9 メディアの紙管をロールホルダーにしっかり挿入します。



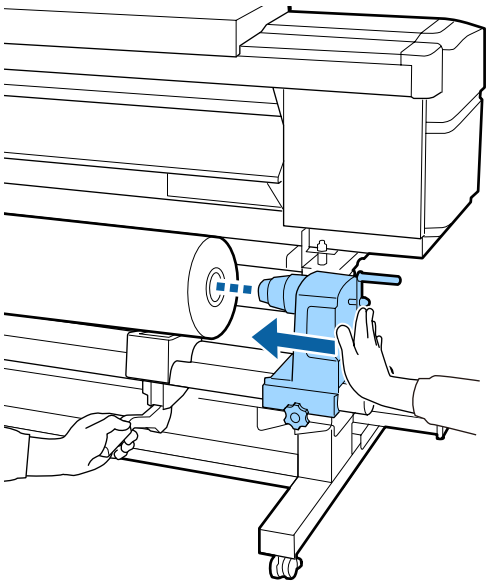
参考

ロールの外径が 140mm 未満のメディアは、リフトレバーで持ち上げてもロールホルダーに紙管部分が届きません。
手で補ってロールホルダーに紙管を挿入してください。

10



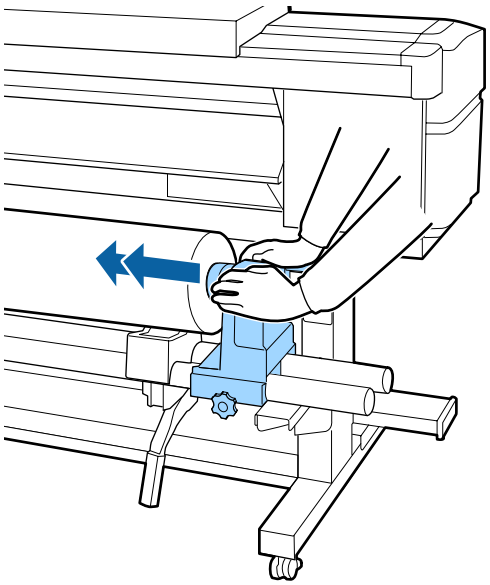
11



参考

ロールの外径が 140mm 未満のメディアは、リフトレバーで持ち上げてもロールホルダーに紙管部分が届きません。
手で補ってロールホルダーに紙管を挿入してください。

12 ロールホルダーを紙管に十分に差し込むために、ロールホルダー上部をロール側に **2** 回押し付けます。

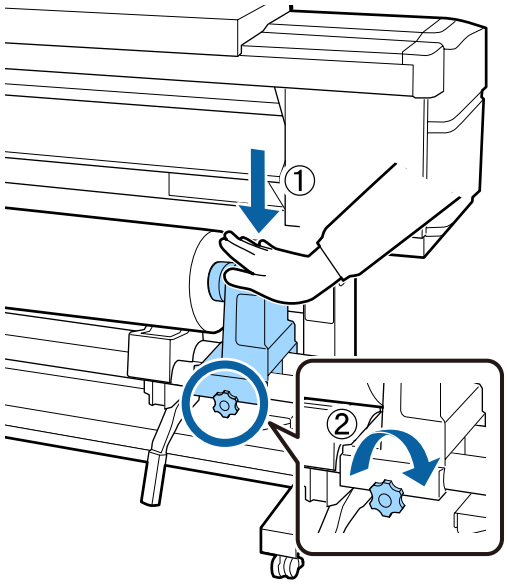


!重要

ロールホルダーが紙管に十分に差し込まれていないと、ロールホルダーと紙管が滑るため、印刷中にメディア送りが正しく行えません。
このため、印刷結果にバンディングが生じることがあります。

13 **ロールホルダーを上から押し付けたまま、固定ネジを回らなくなるまできつく締めます。**

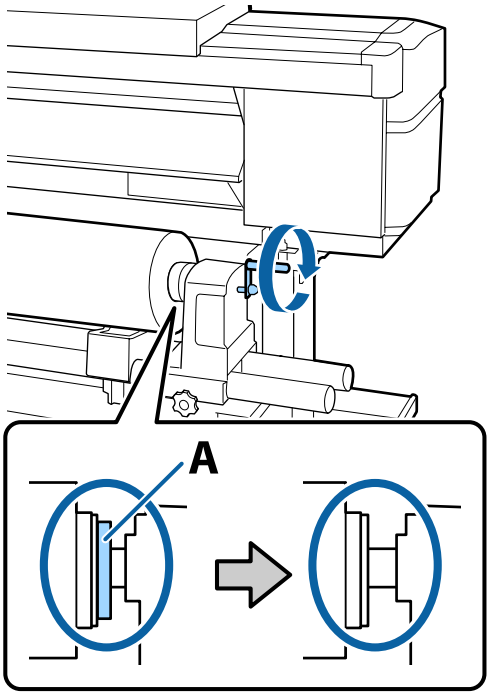
ロールホルダーが動かないように固定してください。



!重要

ロールホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中にロールホルダーが動いてしまい、スジやムラが生じ、印刷品質低下の原因となります。

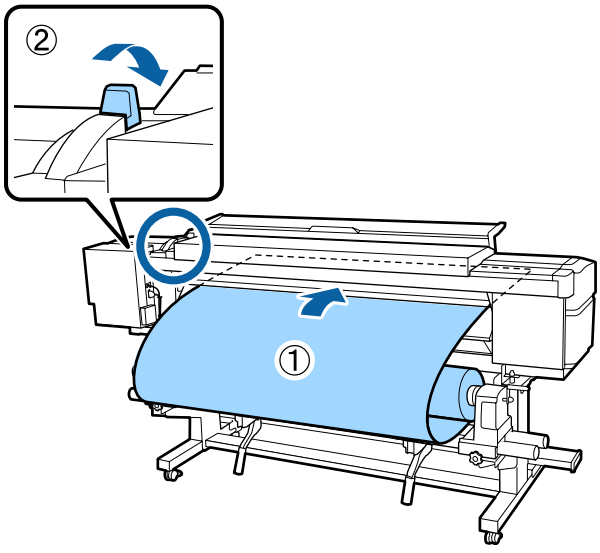
14 **以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。**



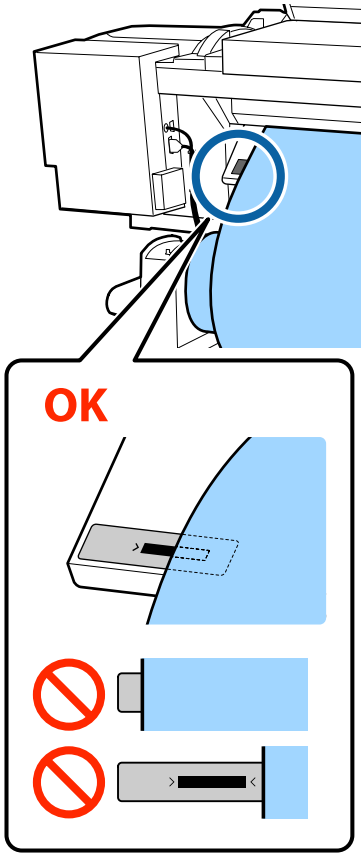
!重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損するおそれがあります。
ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れないときは、ハンドルを巻き戻します。右側のロールホルダー固定ネジを緩めて、手順 4 からやり直してください。

15 **メディアを挿入口から 30cm ほど挿入し、メディアセットレバーを下げます。**



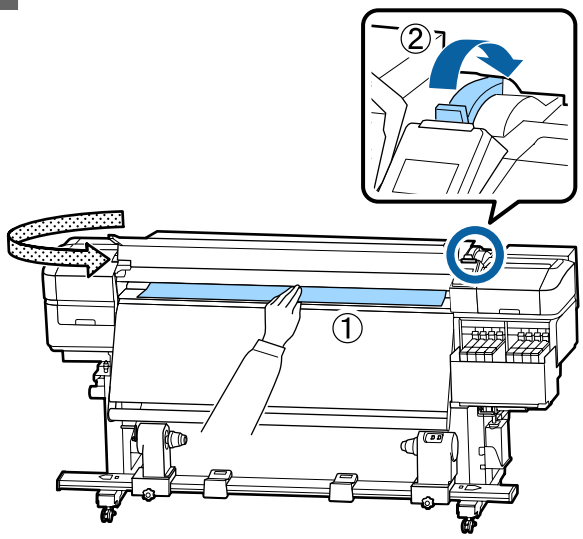
16 メディアの左端が、下図のラベルの四角の範囲内を通っていることを確認します。



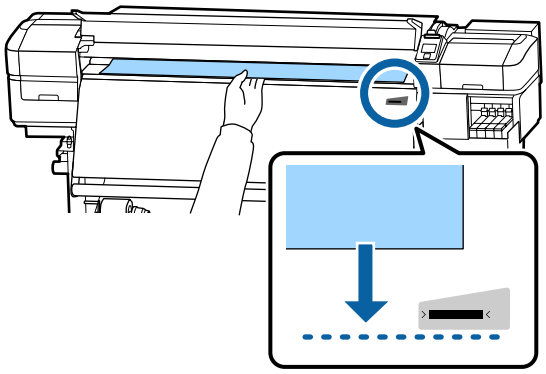
重要

メディアの左端がラベルの黒い四角からはみ出しているときは、必ず手順 16 から逆順で手順 5 まで戻ってロールホルダーの位置を調整してください。メディアをセットした状態で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。

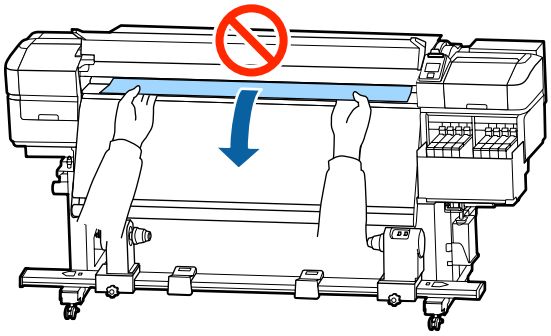
17



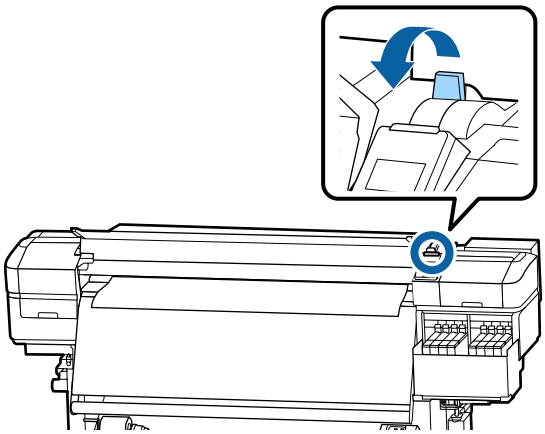
18 メディアの中央を片手で持って、ヒーター上のラベルの下端までまっすぐに引き出します。



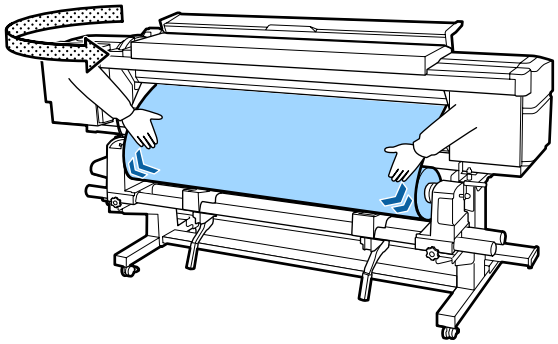
メディアを両手で引き出さないでください。メディアが斜行・蛇行する原因となります。



19



20 メディアの両端を軽くたたいて、左右で張りに違いがあるか確認します。



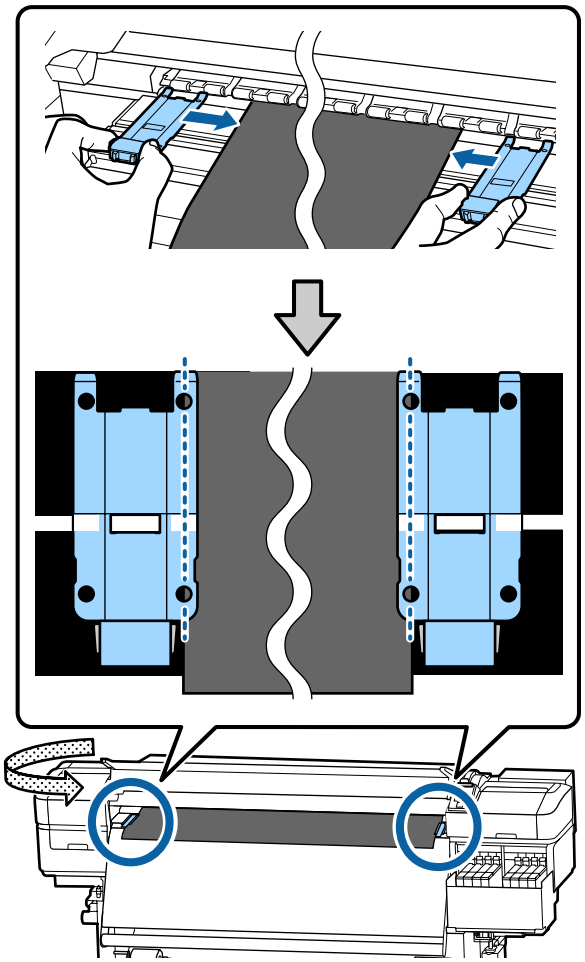
張りに違いがあるときは、メディアが歪んで取り付けられています。

本機正面に回り、メディアセットレバーを上げて、メディアの歪みを直してください。

歪みを直したら、メディアセットレバーを下げます。

21 メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたまま、メディア端の上まで移動します。
メディア押さえ板の丸穴の中央にメディアの端が位置するように合わせます。

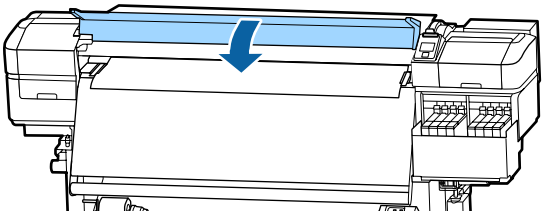
メディア押さえ板は、メディアの浮き上がりやメディア裁断面の毛羽がプリントヘッドに触れるのを防ぎます。



重要

- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破損することがあります。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してください。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れるときはメディア押さえ板を使用しないでください。

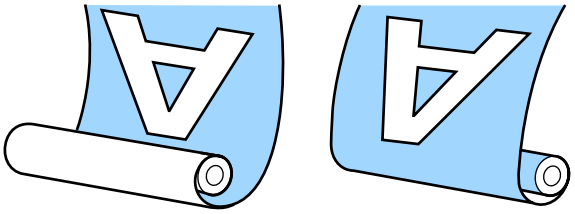
22



自動巻取りユニットの使い方

自動巻取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを自動で巻き取りながら印刷できます。これにより無人運転が効率よくできます。
本機の自動巻取りユニットは、以下のどちらかの方向で巻き取ることができます。

内巻き　　外巻き



内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。通常は、内巻きを推奨します。
外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。
動画マニュアル

注意

- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しはマニュアルをご覧になり、正しく作業してください。
  メディアや紙管、巻き取った印刷物が落下するとけがをするおそれがあります。
- メディア搬送ユニット、自動巻取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。
  けがをするおそれがあります。

正しく巻き取るための注意点

正しくメディアを巻き取るために、以下の点に注意してください。

- メディアと同じ幅の巻き取り紙管を使用することをお勧めします。メディア幅と異なる巻き取り紙管を使用すると、巻き取り紙管がたわんで正しく巻き取れないことがあります。
- メディアは、内巻きで巻き取ることをお勧めします。外巻きは、メディアが蛇行して巻きずれが大きくなることがあります。外巻きで正しく巻き取れないときは、内巻きで巻き取ってください。
- 36 インチ未満のメディアは、蛇行して正しく巻き取れないことがあります。
- 下図のような巻き取り紙管は取り付けないでください。巻き取りテンションが均一にならないため空回りなどによって、正しく巻き取れなかったり、印刷結果にバンディングが生じたりします。

端が削れている

潰れている

紙管の取り付け

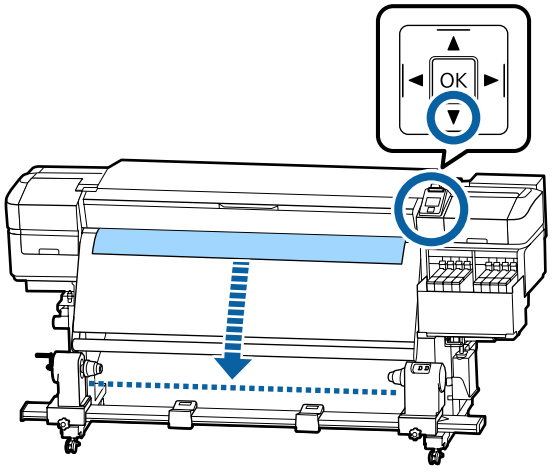
準備

メディアと同じ幅の巻き取り紙管を用意する。

市販の粘着テープを用意する。

取り付け方

1 メディアが正しくセットされていることを確認し、メディアの先端が紙管ホルダーに届くまで、【▼】ボタンを押し続けます。

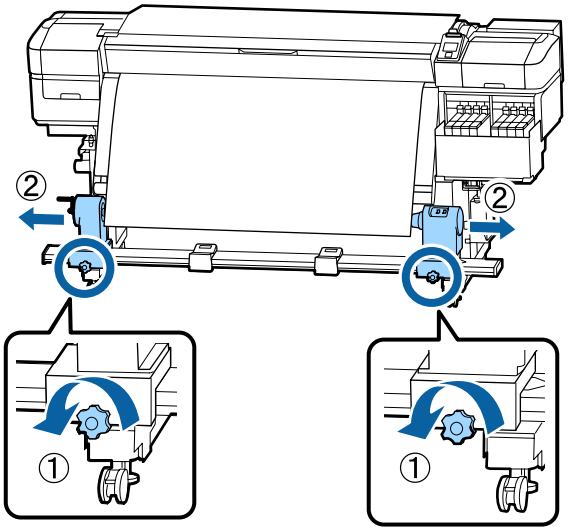


重要

メディアは、必ず【▼】ボタンを押して送り出してください。手で引き出すと、巻き取り時にメディアがねじれる原因となります。

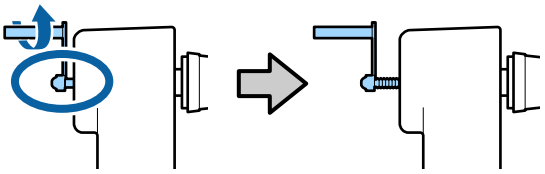
2 紙管ホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、紙管ホルダーをメディアの幅よりも外側に移動します。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、均等になるように移動します。

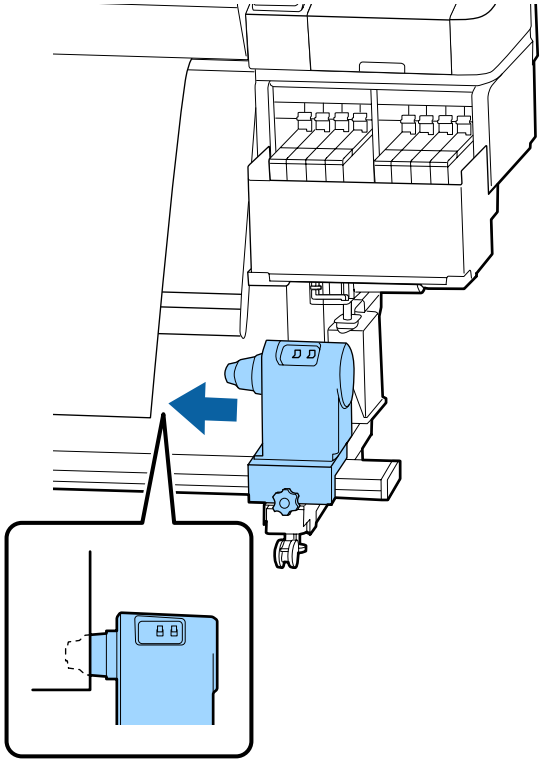


重要

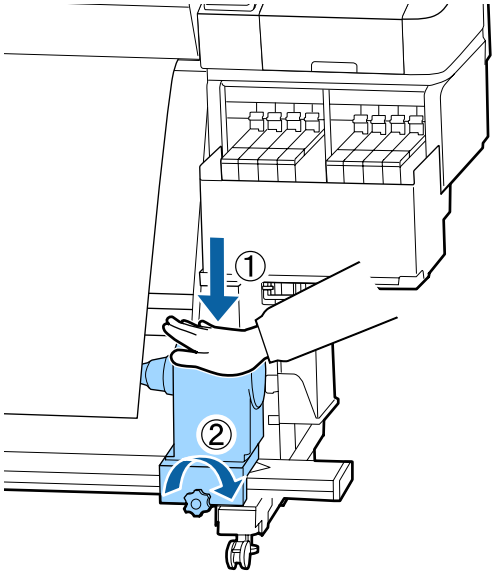
左側の紙管ホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、下図のようにハンドルが回らなくなるまで回します。ハンドルの軸が見えていないと、紙管を正しく取り付けられません。



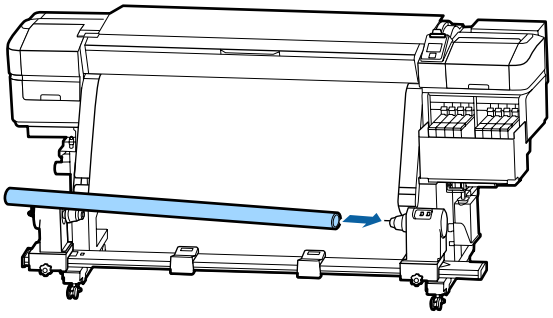
3 右側の紙管ホルダーをメディア右端に合わせて移動します。



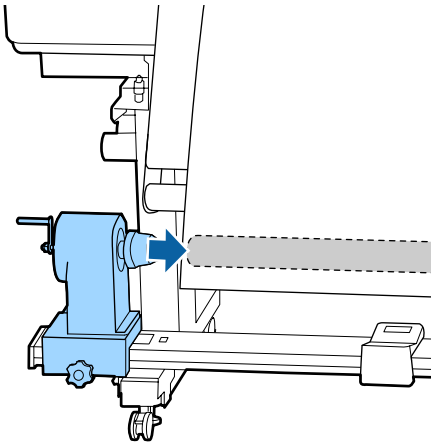
4 紙管ホルダーを上から押しつけたまま固定ネジを締めて固定します。



5 右側の紙管ホルダーに紙管を差し込みます。



6 左側の紙管ホルダーを紙管にしっかりと差し込み、紙管とメディアの端がずれていないことを確認します。

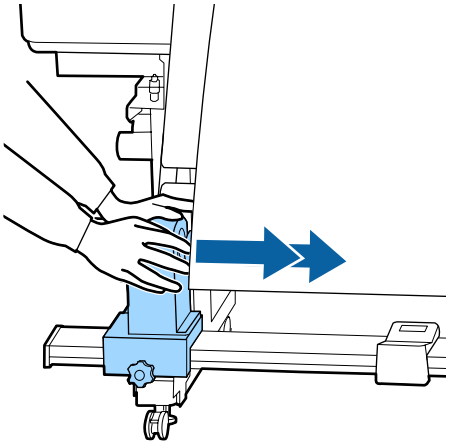


!重要

メディアの端がずれていると、メディアを正しく巻き取れません。ずれているときは、右側の紙管ホルダー固定ネジを緩めて、手順 3 からやり直してください。

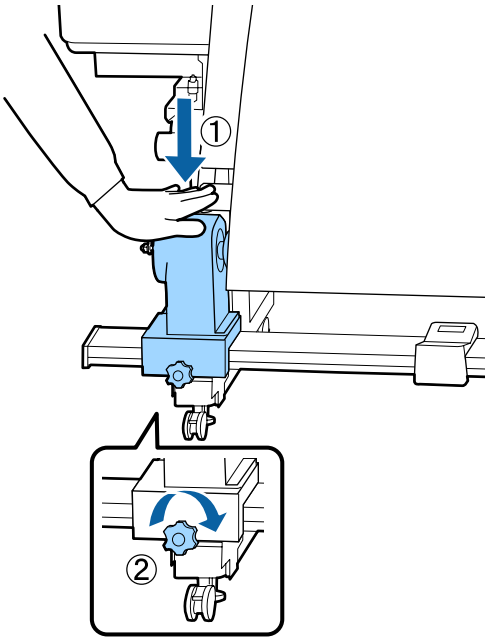
7 **紙管ホルダーを十分に差し込むために、紙管ホルダー上部をロール側に 2 回押しつけます。**

紙管とメディアの端がずれていないことを確認します。

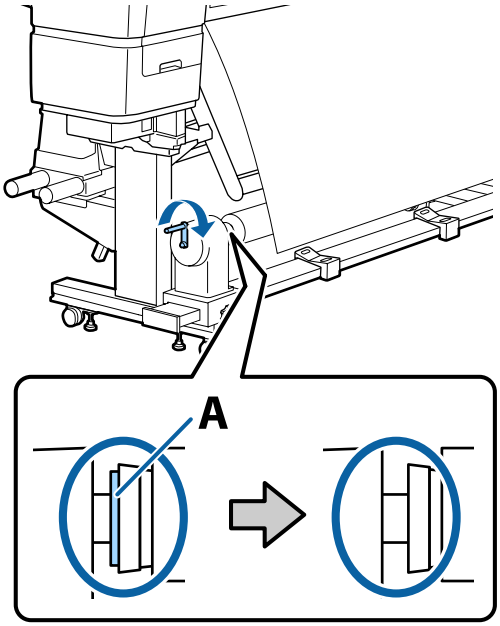


8 **左側の紙管ホルダーを上から押し付けたまま固定ネジを締めます。**

紙管ホルダーが動かないように固定してください。



9 **以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。**

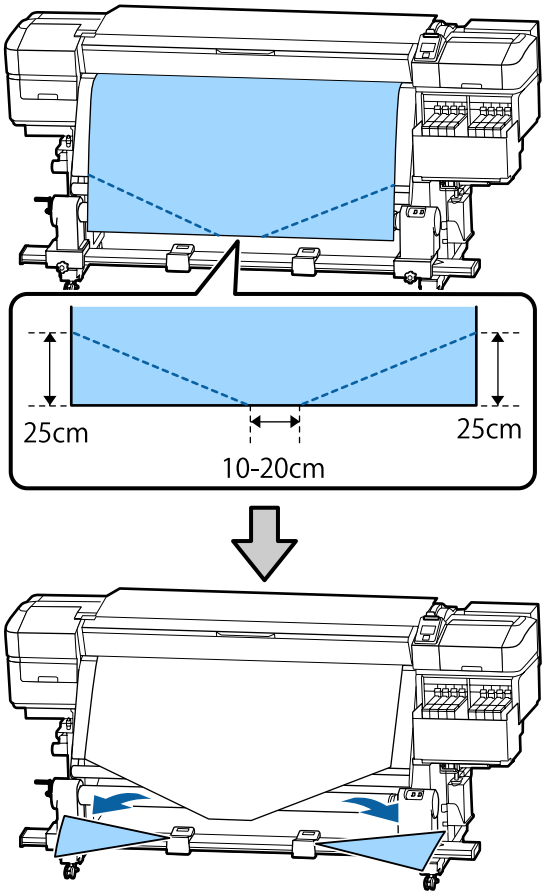


!重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎると、紙管ホルダーが破損するおそれがあります。
ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れないときは、紙管ホルダーがしっかりと差し込まれていない可能性があります。手順 6 からやり直してください。

10 **メディアの中央を 10～20cm 残して、左右とも高さ 25cm 以上になるように角をカットします。**

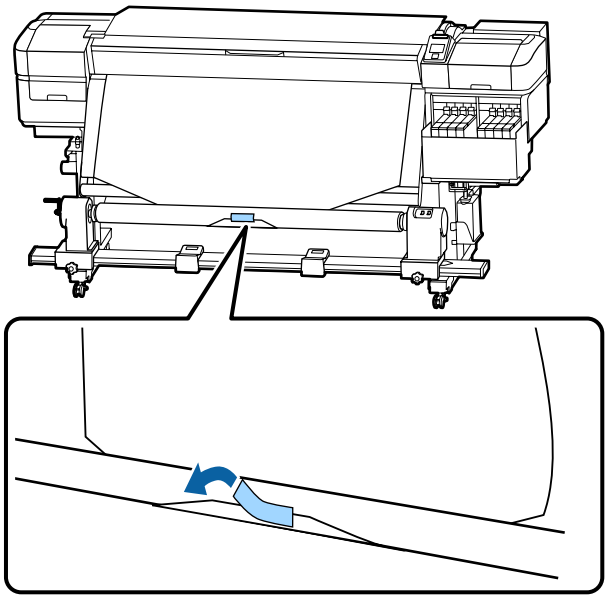
カットすると、巻き取り開始時にメディア左右の角が折れて巻き込まれ、均等に巻き取れなくなる不具合を防げます。



続いて、巻き取り方向に応じて以下をご覧ください。
内巻きで巻き取るとき ☞「内巻きでの巻き取り方」33 ページ
外巻きで巻き取るとき ☞「外巻きでの巻き取り方」35 ページ

内巻きでの巻き取り方

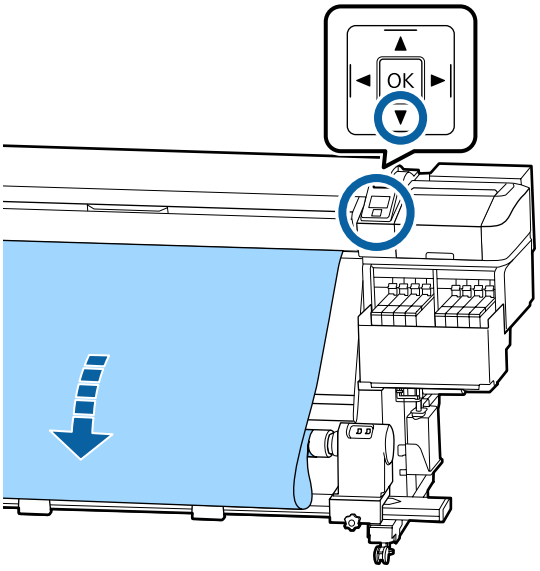
1 **メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りながら紙管の裏側から表側に回して、市販の粘着テープで貼り付けます。**



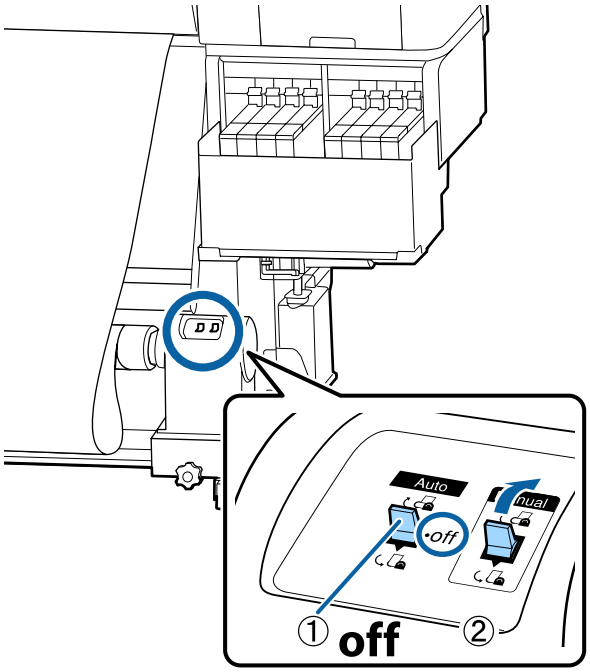
重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

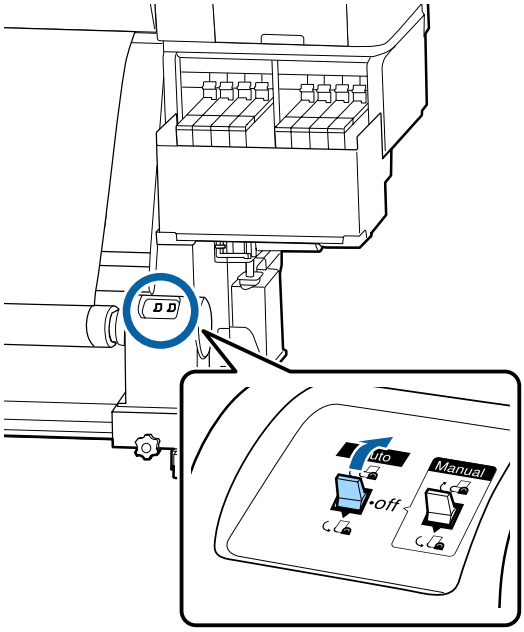
2 **操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管 1 周分程度メディアを送り出します。**



3 **Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチを 側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻き取らせます。**

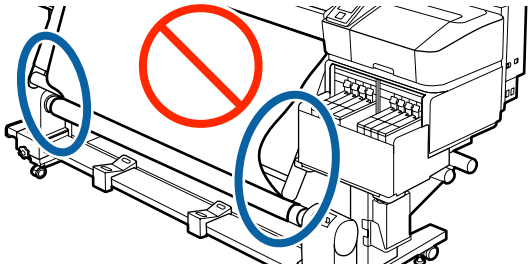


4 **Auto スイッチを にセットします。**



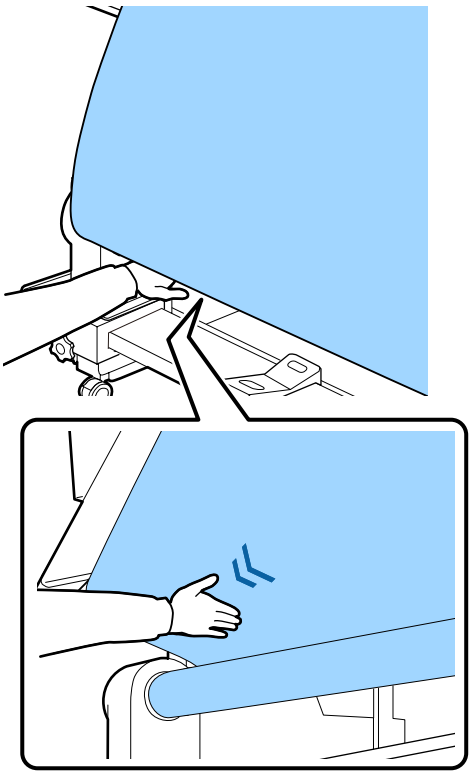
5 **メディアが歪みなく取り付けられたか確認します。**

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張りが異なっていると、正しく巻き取れません。どちらかがたるんでいるときは、手順 1 からやり直してください。

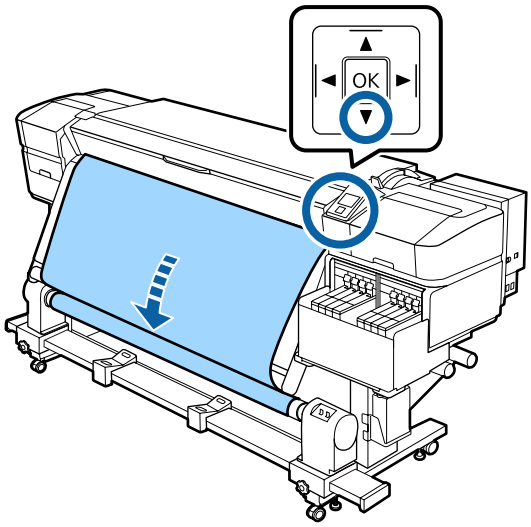


参考

下図のようにメディアの両端を軽くたたいても張りの違いを確認できます。

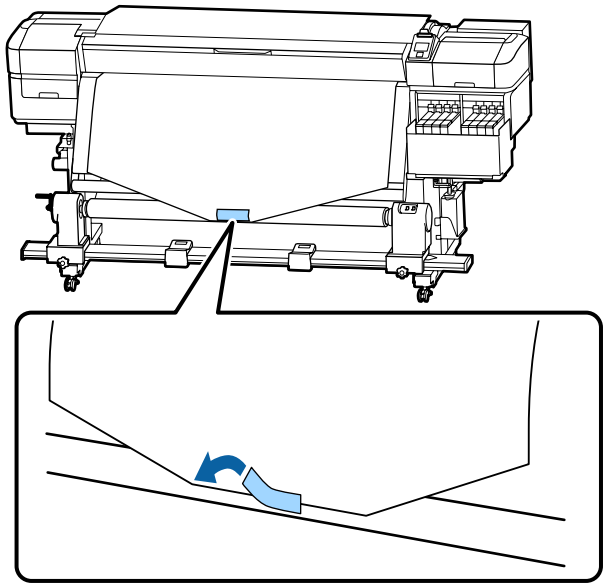


6 メディアの両端が紙管まで届き 1～2 周巻き取られるまで、【▼】ボタンを押し続けます。



外巻きでの巻き取り方

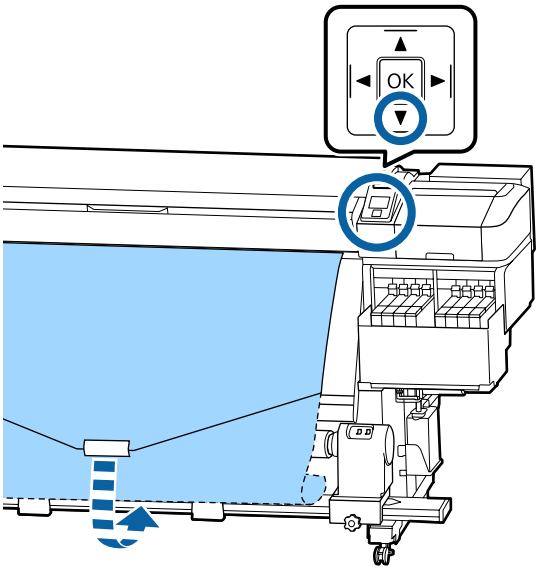
1 メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りながら、市販の粘着テープで巻き取り紙管に貼り付けます。



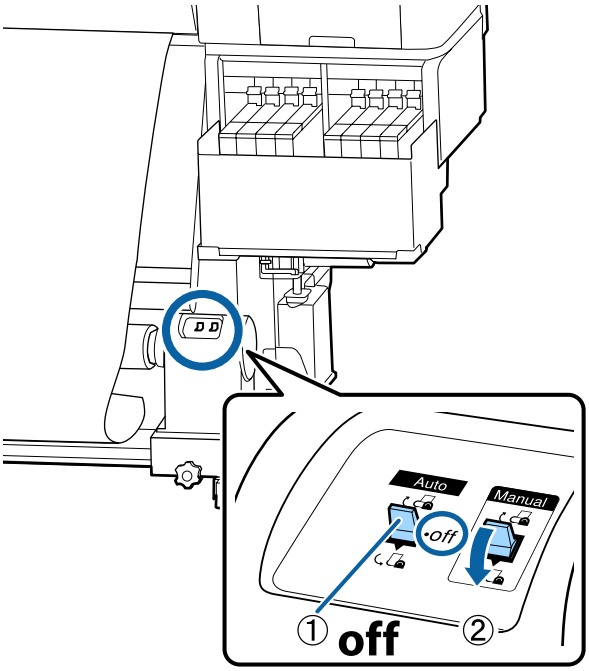
!重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

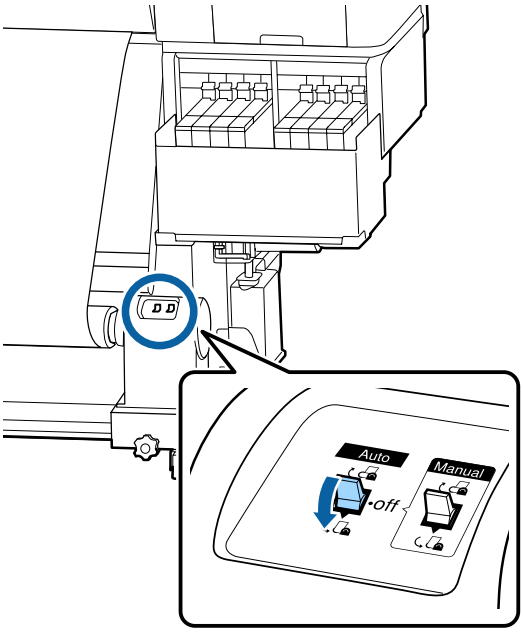
2 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管 1 周分程度メディアを送り出します。



3 **Auto** スイッチを **Off** にして、**Manual** スイッチを 側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻き取らせます。

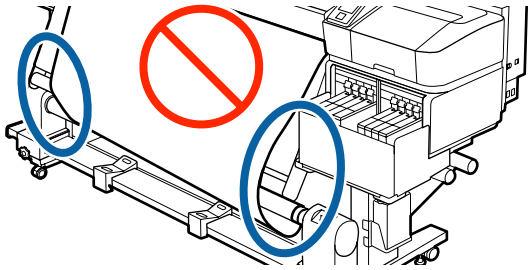


4 **Auto スイッチを にセットします。**



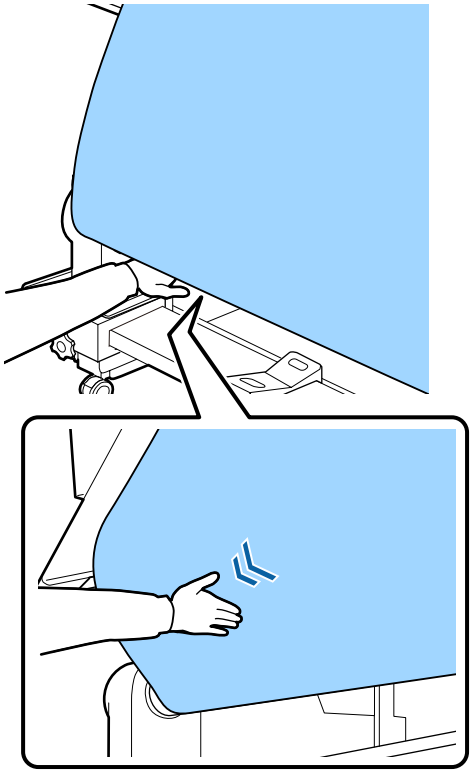
5 **メディアが歪みなく取り付けられたか確認します。**

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張りが異なっていると、正しく巻き取れません。どちらかがたるんでいるときは、手順 1 からやり直してください。

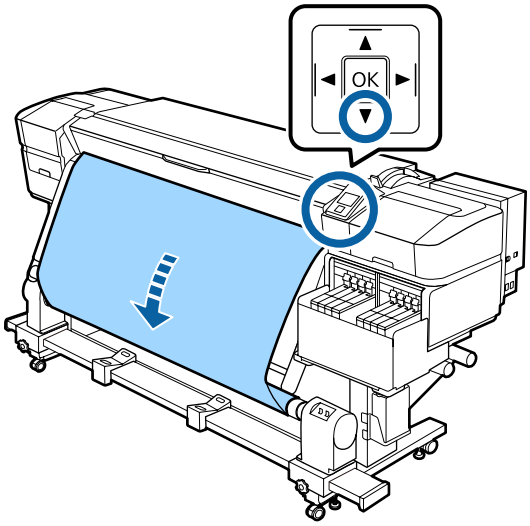


参考

下図のようにメディアの両端を軽くたたいても張りの違いを確認できます。



6 **メディアが 1～2 周巻き取られるまで、【▼】ボタンを押し続けます。**



セットしたメディアの設定

メディアのセットが終了したら、操作パネルの画面表示に従って、セットしたメディアに対する次の設定を行います。

1. メディア設定番号の選択
印刷設定が登録されているメディア設定番号を選択します。

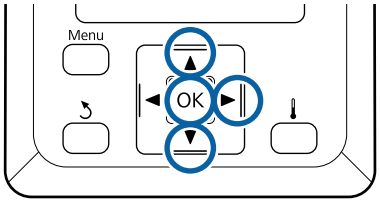
↓

2. ロール巻き仕様選択
セットしたメディアロールの巻き仕様を選択します。

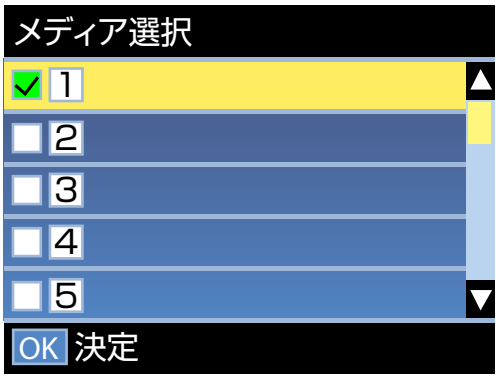
↓

3. メディア長さを設定
セットしたメディアの長さを設定します。

以下の設定で使用するボタン



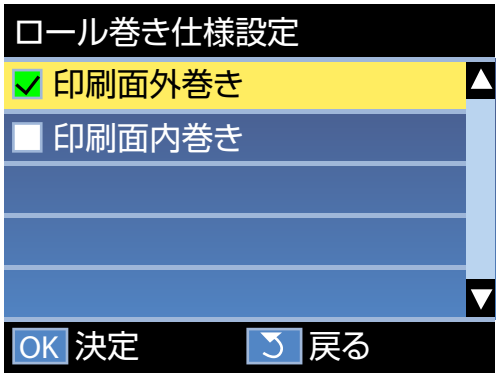
1 【▼】/【▲】ボタンを押して、セットしたメディアの印刷設定が登録されているメディア設定番号を選択し、【OK】ボタンを押します。



新規のメディアで、まだメディア設定がされていないときは、一旦未設定の番号を選択してメディアの給紙完了後に簡単メディア設定を実施してください。

☞「新規にメディア設定を保存する」40 ページ

2 【▼】/【▲】ボタンを押して、セットしたロールの巻き仕様を選択し、【OK】ボタンを押します。



3 セットしたメディアの長さを入力する画面が表示されます。
【▼】/【▲】ボタンを押してメディアの全長を **1.0 ～600.0m** の範囲で設定し、【OK】ボタンを押します。

メディア残量が印刷されているときは、その値を設定します。
【▶】ボタンを押すと OFF を選択できます。OFF を選択すると、残量管理は行われません。

参考

残量管理設定-ON で有効になる 2 つの機能
以下の 2 つの機能で、印刷前におおよそのメディア残量が確認できるため、メディア交換時期が把握しやすくなります。

- メディア残量の表示
  設定したメディアの長さと印刷で使用した量からおおよそのメディア残量を推定し、操作パネルの画面に残量値を表示します。
- メディア残量警告
  設定した値にメディアの残量が達すると警告メッセージが表示されます。

しばらくして画面に印刷可能と表示されたら、印刷ができます。コンピューターから印刷するデータを送信してください。

巻き取ったメディアの取り外し方

メディアを交換するときは、以下の順番で作業をしてください。

1.メディア残量を印刷する。（メディア残量管理 ON 時）

↓

2.メディアをカットする。

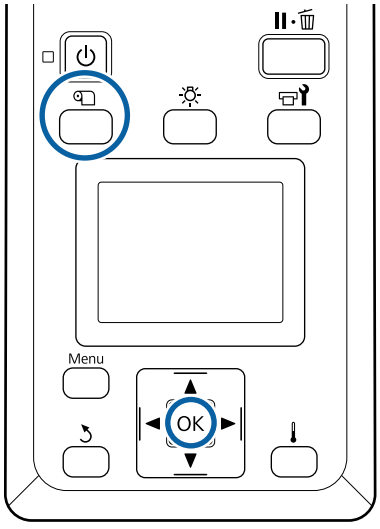
↓

3.メディアを取り外す。

メディア残量の印刷

取り外すメディアの残りの長さを印刷しておき、次回このメディアをセットするときに印刷を見てメディア長さを入力すれば、正確な残量管理に役立ちます。［残量管理設定］を［OFF］にしているときには残量印刷はできません。
メディア残量を印刷する方法を説明します。

以下の設定で使用するボタン



1 印刷可能状態であることを確認します。

2 【⏍】ボタンを押し、［メディア残量管理］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 ［メディア残量印刷］を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【OK】ボタンを押すと、メディア残量が印刷されます。

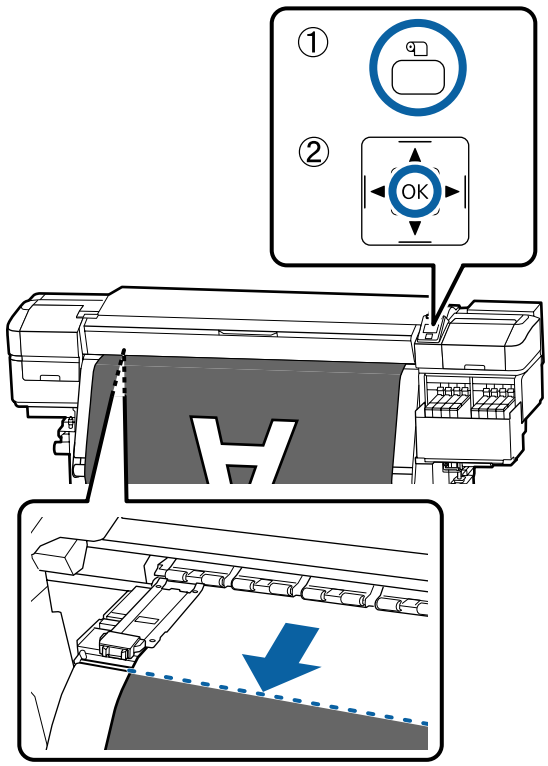
メディアのカット

⚠注意

- ヒーターは、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアを切る際は、カッターなどの刃物で手や指を切らないように注意してください。

1 【⏍】ボタンを押して［カット位置まで送る］を選択し、【OK】ボタンを押します。

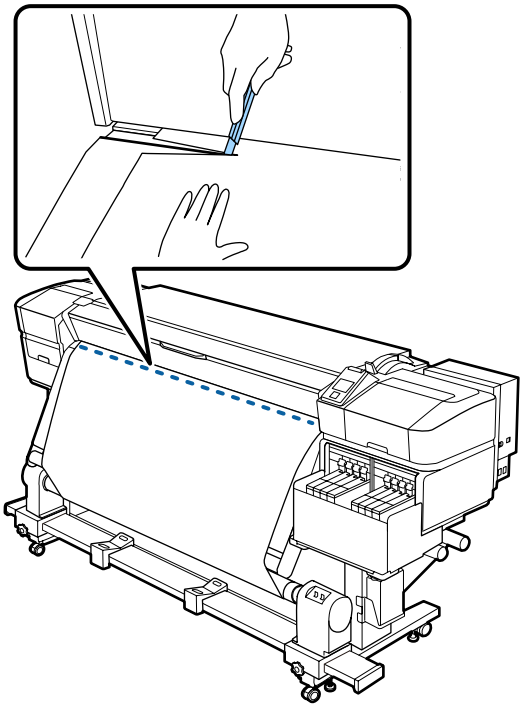
印刷終端がカット位置（カッター溝）まで送られます。



メディア残量の印刷をしたときは、残量の印刷部分が未印刷のロール側に残るように、【▲】ボタンを押してカッター溝より向こう側に戻します。

2 **カッターを垂直に持ち、カッターの刃がカッター溝の側面にしっかり沿うように移動させます。**

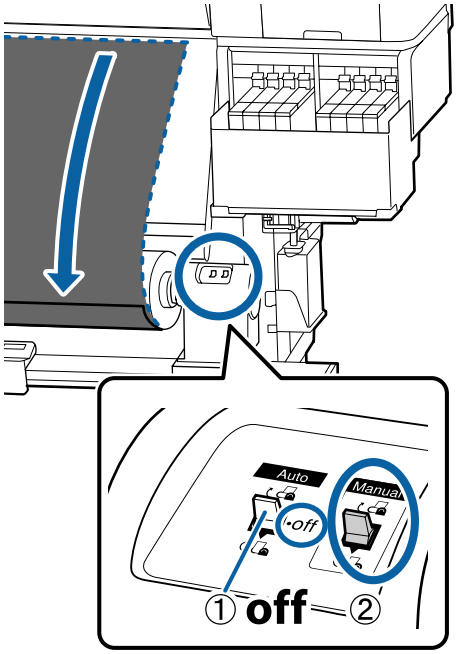
手が前面カバーに当たり、うまく作業ができないときは前面カバーを開けてカットしてください。



重要

メディアをカットしたときは、メディアが前面カバーの内側で盛り上がったり、メディア押さえ板から外れたりしていないことを確認してから印刷してください。

3 **Auto スイッチを Off にします。巻き取りの巻き仕様に応じて Manual スイッチを操作して、切り離したメディアを最後まで巻き取ります。**

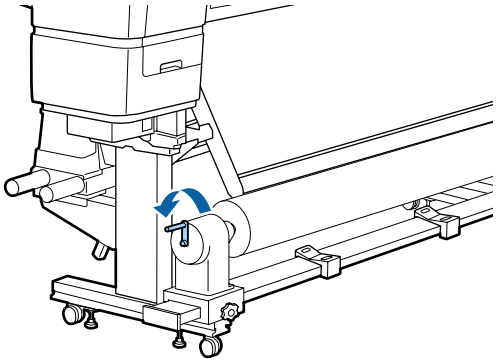


メディアの取り外し

⚠ 注意

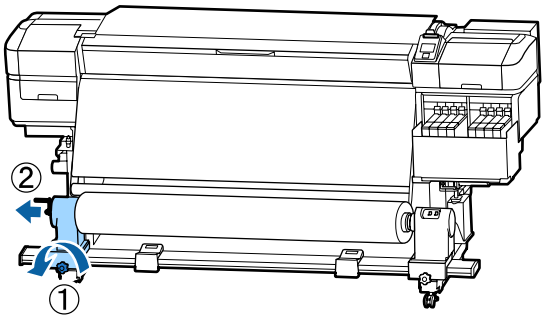
- 巻き取り後のメディアが 20kg を越えるときは、取り外しや運搬は、2 人以上で行ってください。
- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しは、マニュアルをご覧になり正しく作業してください。
  メディア、紙管、巻き取った印刷物が落下するとけがをするおそれがあります。

1 **左側の紙管ホルダーのハンドルを回します。**

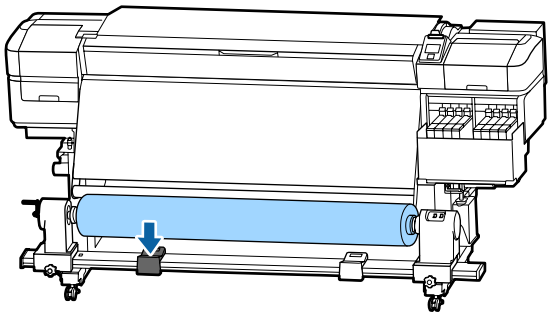


2 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの左側を下から支えます。

3 左側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。

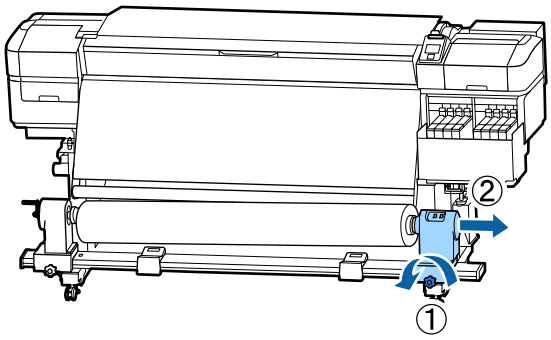


4 ロールをロールサポート上に降ろします。

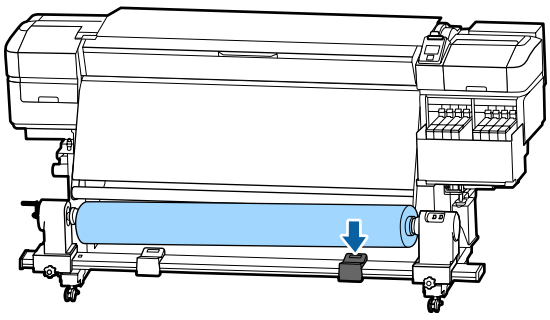


5 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの右側を下から支えます。

6 右側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。



7 ロールをロールサポート上に降ろします。



8 背面の搬送ユニットのメディアは、セットしたときと逆の手順で取り外します。

印刷前の確認

印刷品質を維持するために日常、印刷業務をスタートするに当たり、以下の点検を行うことをお勧めします。

インク残量の確認

インク残量を確認してインクタンクの底面から 70mm 以下になったら、チップユニットの交換とインクの補充を行ってください。

印刷途中でインク残量がインクタンクの底面から 70mm 以下になったときは、印刷を継続しながらチップユニットの交換とインクの補充が行えます。

☞「インク補充の手順」62 ページ

チェックパターン印刷

チェックパターン印刷を行うと、ノズルの目詰まりをチェックができます。

チェックパターンにかすれや欠けがあるときは、ヘッドクリーニングを行ってください。

チェックパターンの印刷 ☞「チェックパターンの印刷方法」76 ページ

ヘッドクリーニング ☞「ヘッドクリーニング」76 ページ

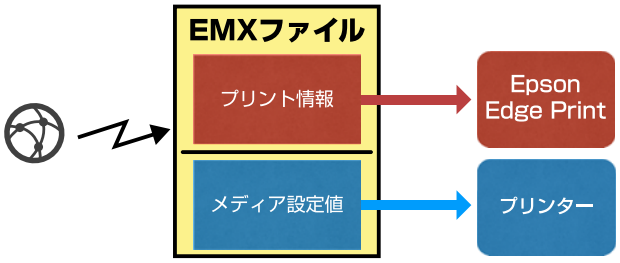
新規にメディア設定を保存する

メディア設定方法の種類と概要

お使いのメディアに最適な状態で印刷するためには、使用メディアに適したメディア設定値とプリント情報をプリンターと RIP に登録する必要があります。

メディアには、印刷時に多量にインクが必要なもの、乾燥に時間がかかるものなど、それぞれ独自に特徴があり、その特徴に合った設定で印刷しないと、満足のいく印刷結果になりません。
しかし、メディアのサイズやタイプに合わせて最適な印刷ができるように、多数の設定を個々に行うのは大変です。
本機では、次のどちらかの方法でメディア設定値を簡単に素早く登録できます。

- 簡単メディア設定
  お手軽に印刷する際に適しています。簡単メディア設定で、本機にメディア設定を登録したあとは、付属の RIP（Epson Edge Print）であらかじめ登録されている汎用のプリント情報を選択して印刷します。
- Epson Control Dashboard から本機にメディア設定を登録する
  エプソンが無償で提供する印刷設定ファイル（EMX ファイル）を使うと、エキスパートが一から設定して実現していた印刷品質で簡単に印刷できます。
  EMX ファイルは、市販メディアに適切に印刷するのに必要な以下の情報を 1 つにまとめたメディア別の印刷設定ファイルです。



本機の設定メニューから［簡単メディア設定］を実行する

セットしたメディアのタイプを選択するだけで適切な設定値が保存されます。続けて、セットしたメディアの幅や自動巻取りユニットにセットしているかなど、状態に合わせて設定値を最適化するためにメディア調整が行われます。
メディア調整は、［自動メディア送り調整］と［手動］を選択できます。通常は［自動メディア送り調整］を行ってから、［メディア調整］メニューにある手動のギャップ調整を行います。
［自動メディア送り調整］はメディア調整パターンの印刷・読み取りをしながら、自動でメディア送りの調整をします。
パターンの印刷で使用する最大メディア長の目安は、以下の通りです。
約 670mm

［手動］は印刷されたメディア調整パターンを目視で確認し調整値を入力して調整します。
パターンの印刷で使用する最大メディア長の目安は、以下の通りです。

メディア送り調整		約 330mm
ギャップ調整		
	1 ヘッドモード時	約 270mm
	2 ヘッドモード時	約 320mm

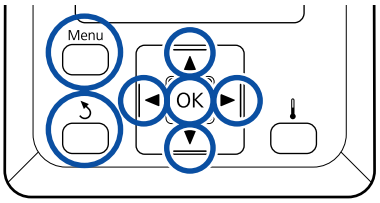
Epson Control Dashboard でメディア設定を登録する

「Epson Setup Navi」（http://epson.sn）または付属のソフトウェアディスクから Epson Control Dashboard をインストールして起動します。Web で提供されたメディア設定やすでに別の同一モデルのプリンターに保存しているメディア設定を目的のプリンターに登録できます。
使い方の詳細は、Epson Control Dashboard のオンラインヘルプをご確認ください。

以降では、［簡単メディア設定］の手順を説明します。

簡単メディア設定の手順

以下の設定で使用するボタン



1 **印刷可能状態であることを確認して【Menu】ボタンを押します。**

設定メニューが表示されます。

2 **［メディア管理］を選択して【OK】ボタンを押します。**

3 **【▼】/【▲】ボタンを押して［簡単メディア設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▼】/【▲】ボタンを押して設定を保存するメディア番号を選択し、【OK】ボタンを押します。**

すでに設定を保存している番号を選択すると、設定内容が上書きされます。

5 **設定名を登録します。**

保存するメディア設定に名前を付けます。区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。

【▼】/【▲】ボタンを押すと、英数字・記号が順次表示されます。目的の英数字・記号が表示されたら【▶】ボタンを押して次の入力エリアにカーソルを移動させます。

間違えて入力したときは【◀】ボタンを押すと、1つ前の文字が消去され再入力できます。

6 **名前を入力し終わったら、【OK】ボタンを押します。**

7 **【▼】/【▲】ボタンを押してセットしたメディアに応じたメディアタイプを選択し、【OK】ボタンを押します。**

メディアタイプ	坪量（g/m²）
薄手	60 以下
中薄	61～80
中厚	81～120
厚手	121 以上
のり付き	-*

* のり付きのメディアは、坪量にかかわらず［のり付き］を選択してください。

8 **【▼】/【▲】ボタンを押して自動メディア送り調整/手動のどちらかを選択し、【OK】ボタンを押します。**

［自動メディア送り調整］実行時：調整パターンの印刷が開始されます。自動調整が終了すると簡単メディア設定が完了してステータス表示画面に戻ります。

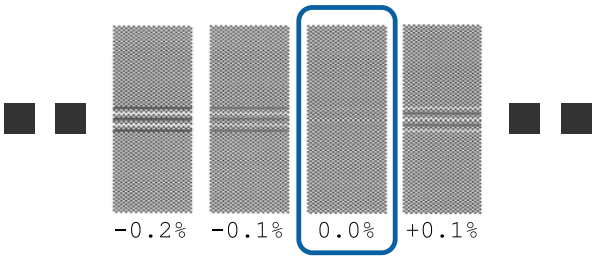
続いて、ギャップ調整を手動で行ってください。

☞「メディア調整（手動）」44 ページ

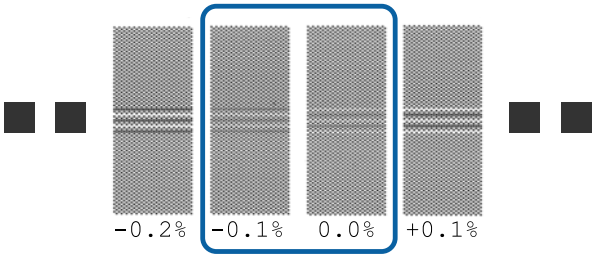
［手動］実行時：調整パターンの印刷が開始されます。パターン印刷が終了すると、調整値入力画面が表示されますので、手順 9 に進みます。

9 **印刷された調整パターンを確認します。**

A、B の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最も重なりやずれがないパターンを選びます。以下の場合は「0.0%」を選びます。



重なりやずれが同等のパターンが並んだときは、手順 10 で中間の値を入力します。以下の場合は「-0.05%」と入力します。



全ての調整パターンに重なりやずれがあり 1 つに絞り込めないときは、一旦「0.0%」と入力します。

この場合は、まだメディア送りが調整されていません。以降の手順を行い簡単メディア設定終了後に改めてメディア調整メニューにある手動のメディア送り調整の［500mm パターン印刷］を行ってください。

☞「メディア送り調整」44 ページ

10 **調整パターンの確認結果を入力する画面が表示されます。**

【▼】/【▲】ボタンを押して手順 9 で A グループで選択したパターンの下に印刷されている値に設定して【OK】ボタンを押します。

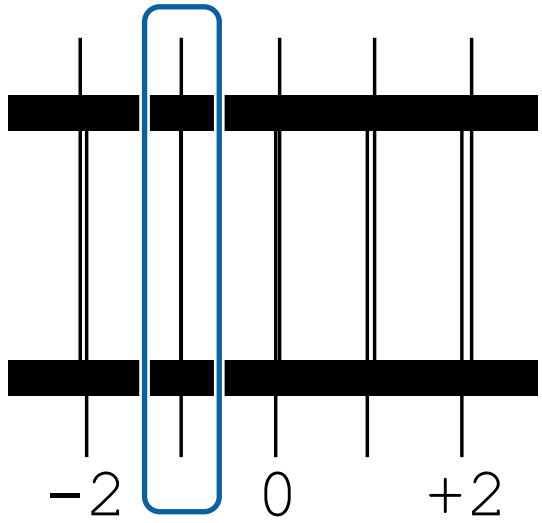
B も同様に設定します。

再び、調整パターンの印刷が始まり、パターン印刷が終了すると、調整値入力画面が表示されます。

11 印刷された調整パターンを確認します。

状態	調整パターン
1 ヘッドモード時	A～D の 4 ブロック
2 ヘッドモード時	A～L の 12 ブロック

いずれも、最も線が細く見える（線が重なっている）パターンを選択します。以下の場合は、「-1」を選びます。



12 数値入力を求める画面が表示されます。

【▼】/【▲】ボタンを押して手順 11 で確認した値に変更し、【OK】ボタンを押します。

13 複数チェックパターンが印刷されたときは、チェックパターンの数だけ番号を選択して【OK】ボタンを押します。

【▼】/【▲】ボタンを押して手順 11 で確認した値に変更し、【OK】ボタンを押します。

最後の設定が終了すると、ステータス表示画面に戻ります。

登録後、［メディア設定変更］を行ったとき

登録後に［メディア設定変更］の［メディアタイプ］や［高度な設定］を行ったときは、［メディア調整］をやり直してください。

☞「メディア調整」43 ページ

メディア調整

本メニューは、以下の場合に実行します。

簡単メディア設定の自動メディア送り調整が終了してから、ギャップ調整を行うとき。

Epson Control Dashboard で、ダウンロードした EMX ファイルのメディア設定値を本機に登録したとき。

一旦メディア調整を行った以降に、次のような事態が生じたとき。

- 自動メディア送り調整を行っても印刷結果にバンディングが見られるとき
  ［手動］を選択して［メディア送り調整］ -［標準］を行ってください。
- 同じメディア種類でも幅の違うメディアを使用するとき
- メディア設定を保存後に［高度な設定］を変更したとき

メディア調整（自動メディア送り調整）

簡単メディア設定で行われる自動メディア送り調整と同様にパターンを印刷しながら、メディア送りの調整をします。
パターンの印刷で使用する最大メディア長の目安は、以下の通りです。
約 670mm

1 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態にメディアをセットします。

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

☞「メディアのセット方法」23 ページ
☞「自動巻取りユニットの使い方」29 ページ

2 【Menu】ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

3 ［メディア管理］ -［メディア設定変更］ -［メディア調整］ -［自動メディア送り調整］の順に選択します。

4 **【OK】ボタンを押すと自動調整が始まり、調整パターンが印刷されます。**

調整が終了するまで、しばらくお待ちください。

メディア調整（手動）

メディア送り調整

印刷結果にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が発生するときに行います。
［標準］と［100mm パターン印刷］、［250mm パターン印刷］、［500mm パターン印刷］から選択して調整できます。

標準

通常は、こちらを選択して調整します。

100mm パターン印刷、250mm パターン印刷、500mm パターン印刷

以下の場合に選択します。

- 標準の調整を行っても印刷結果にバンディングが見られるとき
- 標準のパターンがインクのにじみなどで確認しにくい状態のとき
- 印刷長を正確に印刷したいとき

［100mm パターン印刷］、［250mm パターン印刷］を行っても調整しきれないと感じるときは、［500mm パターン印刷］を行ってください。

パターンの印刷で使用する最大メディア長の目安は、以下の通りです。
［標準］実行時：約 330mm
［100mm パターン印刷］実行時：約 570mm
［250mm パターン印刷］実行時：約 720mm
［500mm パターン印刷］実行時：約 970mm

設定手順

1 **印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態に合わせてメディアをセットします。**

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

☞「メディアのセット方法」23 ページ
☞「自動巻取りユニットの使い方」29 ページ

2 **【Menu】ボタンを押します。**

設定メニューが表示されます。

3 **［メディア管理］ - ［メディア設定変更］ - ［メディア調整］ -［手動］ - ［メディア送り調整］の順に選択します。**

4 **【▼】/【▲】ボタンを押して実行するメディア送り調整を選択します。**

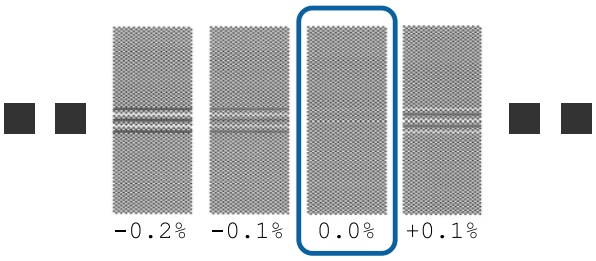
5 **【OK】ボタンを押すと調整パターンが印刷されます。**

印刷が終了するまでお待ちください。

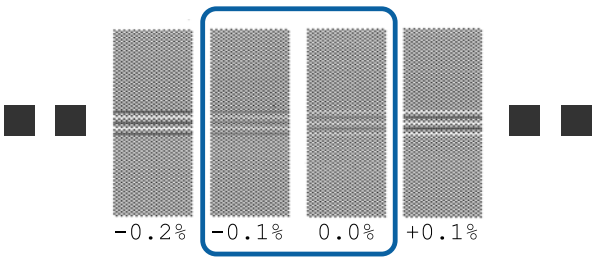
6 **印刷された調整パターンを確認します。**

［標準］を選択したとき

A と B の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最も重なりやずれがないパターンを選びます。以下の場合は「0.0%」を選びます。



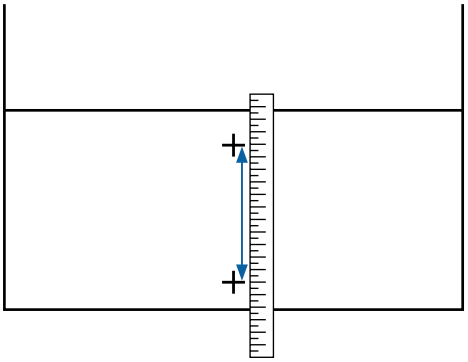
重なりやずれが同等のパターンが並んだときは、手順 7 で中間の値を入力します。以下の場合は「-0.05%」と入力します。



全ての調整パターンに重なりやずれがあり 1 つに絞り込めないときは、一旦「0.0%」と入力します。この場合は、まだメディア送りが調整されていません。以降の手順を行いメディア送り調整終了後に改めてメディア送り調整の［500mm パターン印刷］を行ってください。

［100mm パターン印刷］、［250mm パターン印刷］、［500mm パターン印刷］を選択したとき

0.5mm まで測れるスケールを使って測ってください。



7 **調整パターンの確認結果を入力する画面が表示されます。**

［標準］を選択したとき

A、B それぞれ、選択したパターンの下に印刷されている値を設定して【OK】ボタンを押します。

［100mm パターン印刷］、［250mm パターン印刷］、［500mm パターン印刷］を選択したとき

手順 6 で測った値を設定して【OK】ボタンを押します。

設定が終了するとステータス表示画面に戻ります。

ギャップ調整

お使いのモデルや設定状態により、パターンの印刷で使用する最大メディア長の目安が以下の通り異なります。

状態	使用メディア長
1 ヘッドモード時	約 270mm
2 ヘッドモード時	約 320mm

設定手順

1 **印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態に合わせてメディアをセットします。**

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

☞「メディアのセット方法」23 ページ

☞「自動巻取りユニットの使い方」29 ページ

2 **【Menu】ボタンを押します。**

設定メニューが表示されます。

3 **［メディア管理］ - ［メディア設定変更］ - ［メディア調整］ -［手動］ - ［ギャップ調整］の順に選択します。**

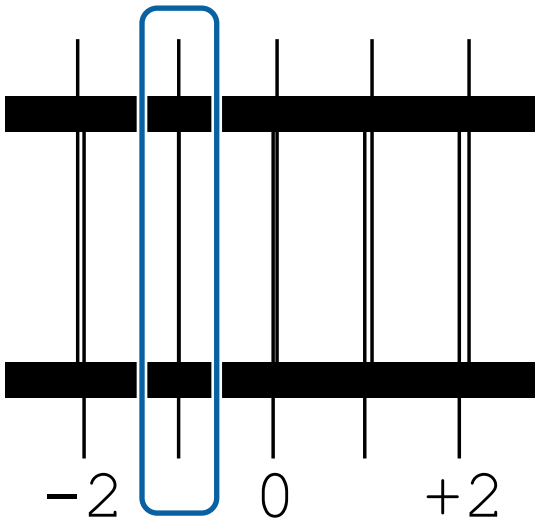
4 **【OK】ボタンを押すと調整パターンが印刷されます。**

印刷が終了するまでお待ちください。

5 **印刷された調整パターンを確認します。**

状態	調整パターン
1 ヘッドモード時	A～D の 4 ブロック
2 ヘッドモード時	A～L の 12 ブロック

いずれも、最も線が細く見える（線が重なっている）パターンを選択します。以下の場合は、「-1」を選びます。



6 **数値入力を求める画面が表示されます。**

【▼】/【▲】ボタンを押して手順 5 で確認した番号を選択し、【OK】ボタンを押します。

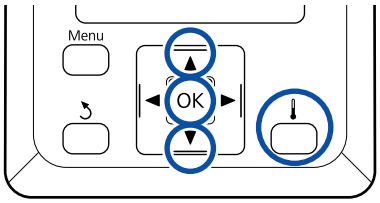
7 **複数チェックパターンが印刷されたときは、チェックパターンの数だけ番号を選択して【OK】ボタンを押します。**

最後の色の設定が終了すると、メディア設定変更のメニューに戻ります。

印刷途中に設定を変更する

ヒーターの温度を変更したいとき

以下の設定で使用するボタン



1 **印刷の途中で【 】ボタンを押します。**

［ヒーター/乾燥設定］メニューが表示されます。

2 **【▼】/【▲】ボタンを押して［ヒーター温度設定］を選択して【OK】ボタンを押します。**

3 **設定値を変更します。**

【▼】/【▲】ボタンを押して温度を設定します。

4 **【OK】ボタンを押すと、現在選択しているメディア設定の設定が更新され、ヒーター/乾燥設定メニューに戻ります。**

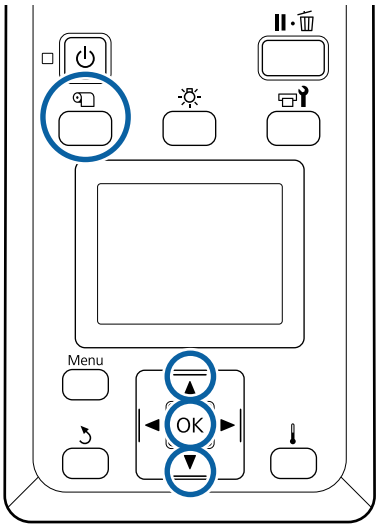
5 **【 】ボタンを押すと、メニューを終了してステータス表示画面に戻ります。**

> 参考
> 室温などにより、設定したヒーター温度になるまでに時間がかかることがあります。

バンディングを補正したいとき

印刷中にバンディングを補正したいときは、メディア送り調整を行います。

以下の設定で使用するボタン



1 **印刷の途中で【 】ボタンを押します。**

現在の調整値が表示されます。

2 **【▼】/【▲】ボタンを押して値を変更します。**

メディア送り量が少なすぎるとブラックバンディング（濃い色のスジ）が発生しますので＋方向に調整します。
逆にメディア送り量が多すぎるとホワイトバンディング（白または薄い色のスジ）が発生しますので－方向に調整します。

3 **印刷結果を確認し、完全に改善されないと感じるときは、さらに【▼】/【▲】ボタンを押して値を変更します。**

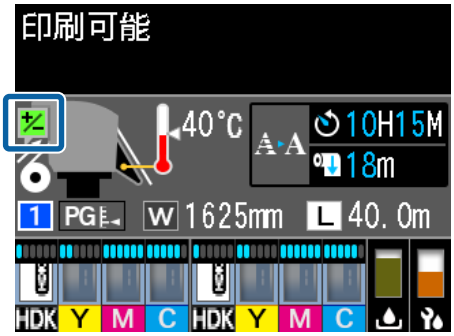
現在選択しているメディア設定の［メディア送り調整］の設定値が更新されます。

4 【OK】ボタンを押すとステータス表示画面に戻ります。

参考

設定を変更すると、操作パネルの画面に下図のアイコンが表示されます。アイコンは、以下の操作を行うと消えます。

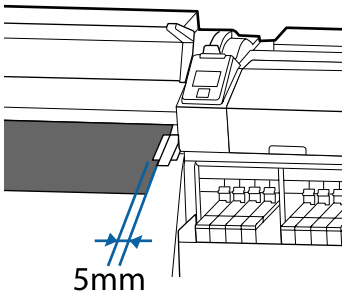
- ［メディア送り調整］をやり直す。
- ［設定初期化］を実行する。



印刷可能領域

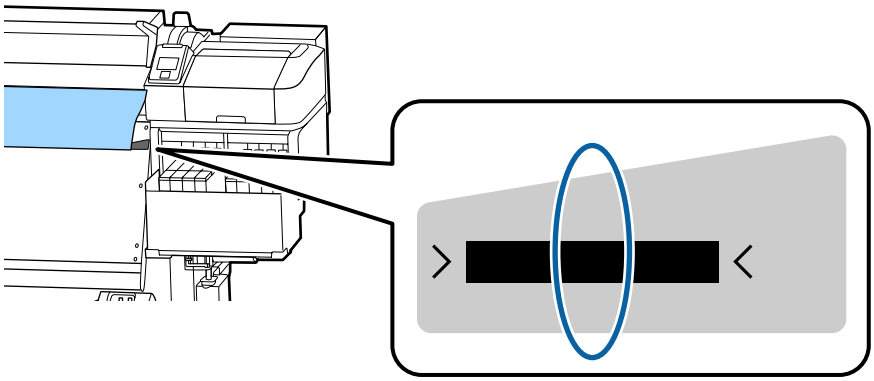
本機が認識するメディア左端・右端は、メディア幅検出の設定により以下の通り異なります。

メディア幅検出［ON］ ：セットしたメディアの左右端を本機が自動検出します。
メディア押さえ板を取り付けたときは、メディアの左右両端から 5mm 内側をメディア端と認識します。

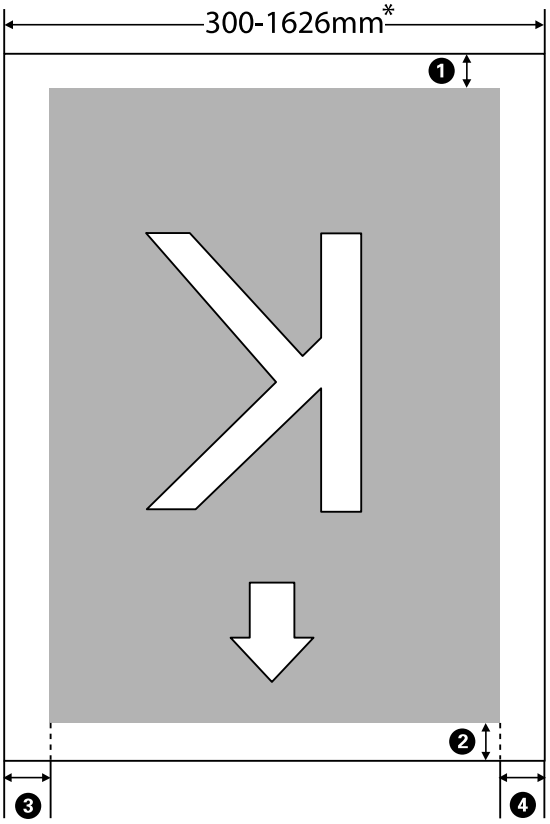


メディア押さえ板を正しく装着していないと、メディア端が正しく検出されません。
「メディアのセット方法」23 ページ

メディア幅検出［OFF］ ：ヒーター上のラベル（下図）の黒い四角の中央をメディア右端基準位置と認識します。メディア左端は、セットしているメディアの幅にかかわらず右端基準位置から 1626mm（64 インチ）の位置と認識します。



下図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排出方向を示しています。



＊ メディア幅検出の設定が［OFF］のときは、セットしているメディアの幅にかかわらず 1626mm（64 インチ）

❶〜❹ は、四辺の余白を示しています。詳細は、下表の通りです。

余白位置	説明	設定有効範囲
❶ 後端＊1、＊2	RIP で設定可能です。メディアの搬送精度を保つため、設定値が 5mm 以下のときは 5mm に、設定値が 17mm 以上のときは 17mm になります。	5〜17mm
❷ 先端＊1	RIP で設定可能です。メディアセット時は、メディアを引き出した長さにより異なります。連続印刷時は、RIP で設定した余白が付加されますが、メディアの搬送精度を保つため、設定値が 5mm 以下のときは 5mm になります。	5 mm以上
❸ 左端＊3、＊4	本機の設定メニューのサイドマージン（左）で設定した値です。メーカー設定値は 5mm です。	3〜25mm
❹ 右端＊3、＊4	本機の設定メニューの印刷開始位置とサイドマージン（右）で設定した値の合計値です。メーカー設定値は印刷開始位置が 0mm、サイドマージン（右）が 5mm です。	3〜825mm

＊1 お使いの RIP の種類によっては、設定値と印刷結果の余白が異なる場合があります。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。

＊2 本機の設定メニューの［ページ間余白］で［余白なし］を選択すると、-10mm から+10mm の範囲で余白を調整できます。

＊3 お使いの RIP の種類によっては、RIP でも設定可能です。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。

＊4 余白を設定する際は、以下の点を守ってください。

- メディア押さえ板を取り付けるときは、余白を 10mm 以上に設定してください。それ以下に設定すると、メディア押さえ板の上に印刷されることがあります。
- 印刷データ幅と左右両端の余白設定の合計が印刷可能領域を超えると、データの一部が印刷されません。

参考

メディア幅検出を［OFF］に設定しているときは、以下の点を守らないと、メディアの左右にはみ出して印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。

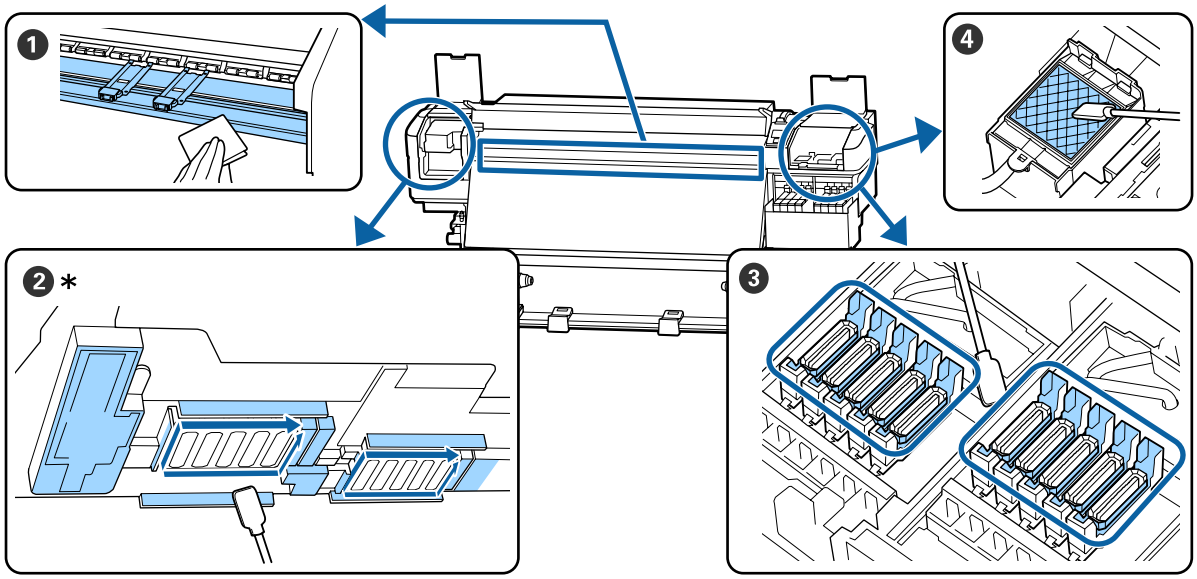
- 印刷データ幅がセットしたメディア幅を超えないようにしてください。
- メディアを右端基準位置より左側にセットするときは、［印刷開始位置］の設定をメディアをセットした位置に合わせてください。
☞「プリンター設定メニュー」93 ページ

メンテナンス

メンテナンスの種類と実施時期

清掃箇所と実施時期

清掃を行わずに使い続けると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となります。

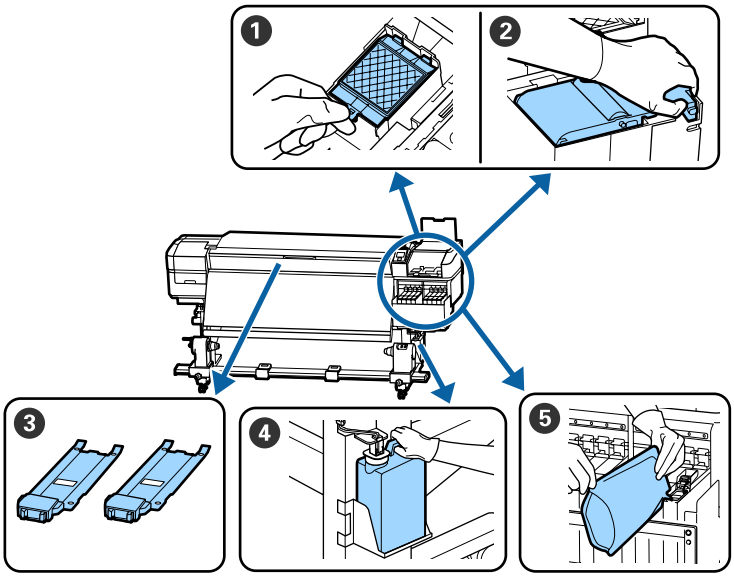


実施時期	清掃箇所
毎日の作業開始時	❶ プラテン・メディア押さえ板 ☞「毎日の清掃」55 ページ
1 ヵ月に 1 回以上	❷ プリントヘッド周辺 ❸ キャップ ❹ フラッシング用吸収材（汚れているとき） ☞「定期清掃の仕方」56 ページ 手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 動画マニュアル

!重要

本機は、精密機器です。プリントヘッドのノズル面は毛羽ゴミやホコリがわずかに付着しただけで印刷品質が低下します。
使用環境や使用メディアによっては、定期清掃の回数を増やしてください。

消耗品の交換・補充



実施時期	交換箇所
操作パネルの画面に準備や交換を促すメッセージが表示されたとき	❶ フラッシング用吸収材 ❷ ワイパーユニット ☞「ヘッドクリーニングセットの交換」70 ページ ❹ 廃インクボトル ☞「廃インク処理」68 ページ
操作パネルの画面にインクの残量警告が表示されたら、できるだけ早く	❺ インクの補充 ☞「インクの補充」60 ページ
変形したり破損したりしたとき	❸ メディア押さえ板 ☞「メディア押さえ板の交換」73 ページ

定期メンテナンス

実施時期	実施事項
1 週間に 1 度	高濃度ブラックインクのかくはん ☞「高濃度ブラックインクのかくはん手順」66 ページ

その他のメンテナンス

実施時期	実施事項
• ノズルが目詰まりしているか確認したいとき • 目詰まりしている色を確認したいとき • 水平方向のスジ/濃淡ムラ（バンディング）が見られるとき	ノズルの目詰まりチェック ☞「ノズルの目詰まりチェック」75 ページ
ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まりが確認されたとき	ヘッドクリーニング ☞「ヘッドクリーニング」76 ページ

実施時期	実施事項
遮熱板の汚れでインクタンク内部が見えにくくなったと感じるとき	遮熱板の清掃 ☞「遮熱板の清掃」78 ページ
操作パネルの画面に注油を促すメッセージが表示されたとき	キャリッジ軸に付属のグリスを塗る ☞「キャリッジ軸へのグリスの塗布」78 ページ

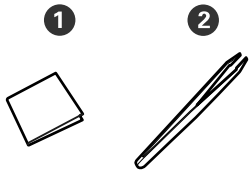
準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。
付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。
インクパックやメンテナンス用の交換パーツは、本機専用のものをご用意ください。
☞「消耗品とオプション」107 ページ
手袋が終了したときは、市販のニトリル手袋をご用意ください。

保護メガネ（市販品）
インクやインククリーナーが目に入らないように保護します。

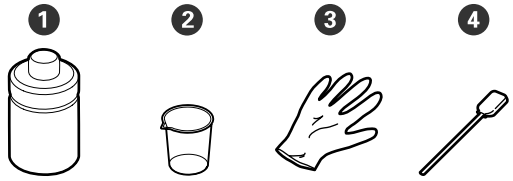
マスク（市販品）
インクやインククリーナーが口や鼻に入らないように保護します。

メンテナンス用品一式（本製品付属）
清掃全般で使用します。
以下の付属品がセットで入っています。



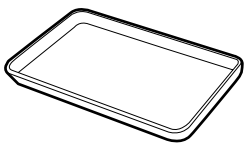
❶ クリーンルーム用ワイパー（100 枚）
❷ ピンセット（1 個）

メンテナンスキット（本製品付属）
インク汚れを拭き取るときに使います。
以下の付属品がセットで入っています。



❶ インククリーナー（1 個）
❷ カップ（1 個）
❸ 手袋（12 枚）
❹ クリーニング棒（25 本）
使い方 ☞「インククリーナーの使い方」56 ページ

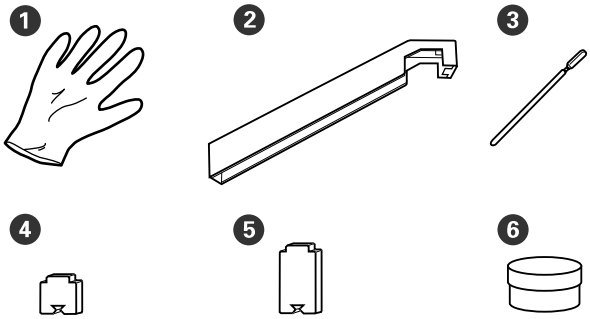
金属トレイ（本製品付属）



清掃用具や取り外した消耗品、付属の容器に移したインククリーナーを置くのに使います。

柔らかい布（市販品）
前面カバー内部の清掃で使用します。毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお使いください。

注油キット（本製品付属）
キャリッジ軸にグリスを塗布する際に使用します。
以下の付属品がセットで入っています。



❶ 手袋（16 枚）
❷ グリス注油ツール（1 個）
❸ クリーニング棒（8 本）
❹ パッド A（16 個）
❺ パッド B（16 個）
❻ グリス（2 個）

作業時のご注意

清掃や交換作業は、以下の注意点を守って行ってください。

⚠注意

- インクパック、インククリーナー、グリス、廃インクは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。
  インクや廃インク、インククリーナー、グリスが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
  - 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
  - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
  - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
  - 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。

- 清掃、ヘッドクリーニングセット交換時は、本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。
- 清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- クリーニング棒は、付属または消耗品のもの以外は使わないでください。毛羽ゴミの出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- プリントヘッド周辺やキャップ周辺などの清掃には、指定のインククリーナー以外は使わないでください。指定以外のものを使うと本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。

毎日の清掃

プラテン上やメディア押さえ板に毛羽ゴミやホコリ、インクが付着していると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となります。
きれいな状態で印刷が行えるように、毎日の作業開始前に清掃することをお勧めします。

⚠注意

- ヒーターは、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

!重要

プラテン、メディア押さえ板の清掃には、インククリーナーを使用しないでください。部品が傷つくおそれがあります。

1 **本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。**

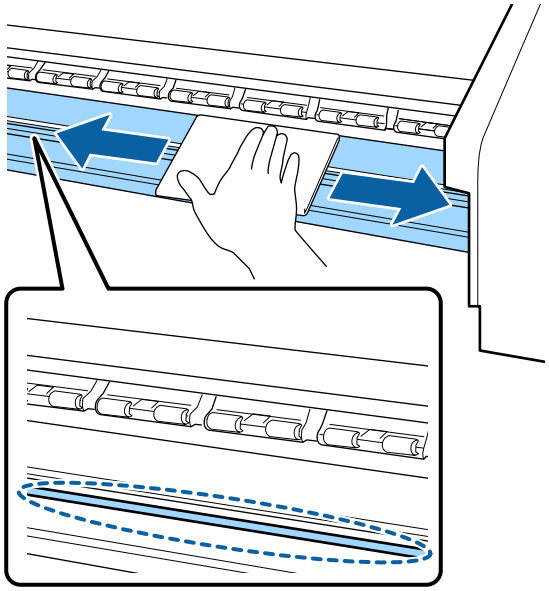
電源プラグは 2 つとも抜きます。

2 **電源プラグを抜いたあと 1 分程放置します。**

3 **前面カバーを開けます。**

4 **水に浸してよく絞った柔らかい布で、プラテンに付着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。**

プラテンの溝に入り込んだ毛羽ゴミやホコリもきれいに取り除いてください。



5 水に浸してよく絞った柔らかい布で、メディア押さえ板の表面に付着した毛羽ゴミやホコリを拭き取ります。

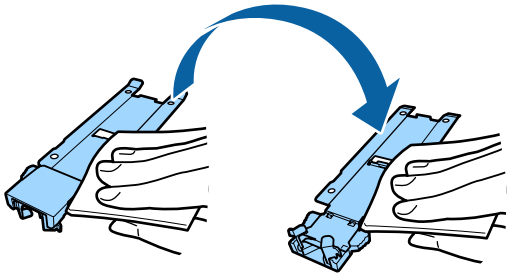
> **重要**
> のり付きメディアを使用したときは、薄めた中性洗剤を使用して拭き取ってください。裏面にのりが固着したまま使用し続けると、ヘッドこすれの原因になることがあります。

のり付きメディアを使用したとき・インクが付着したとき

メディア押さえ板を本機から取り外して、表裏両面の汚れを拭き取ります。

汚れを拭き取ったら、必ず元通りに取り付けてください。

メディア押さえ板の取り外し方・取り付け方 ☞「メディア押さえ板の交換」73 ページ



定期清掃の仕方

定期清掃は、以下の順番で行います。

プリントヘッドの移動

↓

プリントヘッド周辺の清掃

↓

キャップ周辺の清掃

> **重要**
> 1 ヵ月間清掃をしていないと、操作パネルの画面に以下のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、速やかに定期清掃を行ってください。
> ［マニュアルをご覧になり定期清掃を行ってください。］

インククリーナーの使い方

インククリーナーは、マニュアルで指示した清掃箇所に限り使用してください。部品が傷つくため、指示のない箇所ではインククリーナーを使わないでください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞「作業時のご注意」54 ページ

1 インククリーナーに付属の容器を金属トレイに載せてインククリーナーを約 **10ml** 注ぎます。

2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが垂れないように注意してください。

クリーンルーム用ワイパーにインククリーナーを染み込ませるときも、容器に注いだインククリーナーを使用してください。

> **重要**
> - 清掃に使ったインククリーナーを次回清掃時に使わないでください。汚れたインククリーナーを使うと、かえって汚れが付着します。
> - インククリーナーは、蓋をしっかり閉めて高温多湿、直射日光を避けて常温で保管してください。
> - 使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリーンルーム用ワイパーは、産業廃棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。
>
> ☞「使用済み消耗品の処分」75 ページ

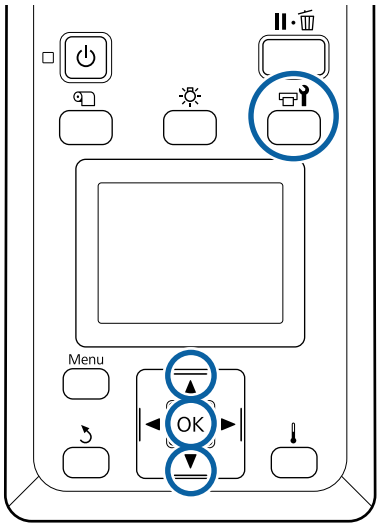
プリントヘッドの移動

プリントヘッドを清掃位置に移動する手順を説明します。

重要

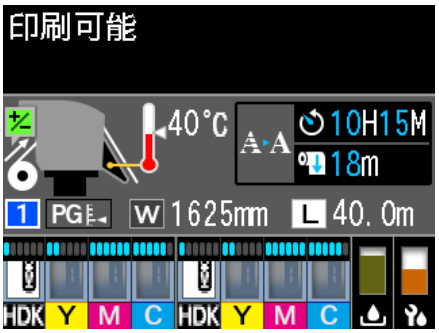
プリントヘッドの移動は、必ず以下の手順で行ってください。プリントヘッドを手で移動すると故障の原因となります。

以下の設定で使用するボタン



1 **以下のステータス画面が表示されていることを確認し、【🔧】ボタンを押します。**

メンテナンスメニューが表示されます。



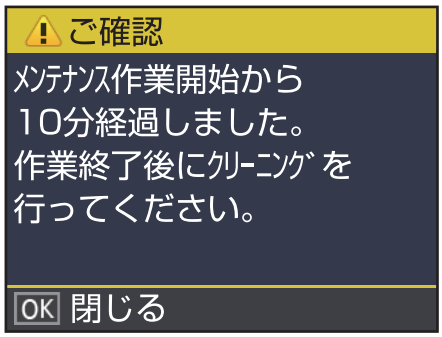
2 **【▼】/【▲】ボタンを押して［ヘッドメンテナンス］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▼】/【▲】ボタンを押して［定期清掃］を選択し、【OK】ボタンを 2 回押します。**

プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

参考

プリントヘッド移動後、10 分経過するとブザーが鳴ります（メーカー設定値）。【OK】ボタンを押して清掃を継続してください。更に 10 分経過すると、再びブザーが鳴ります。



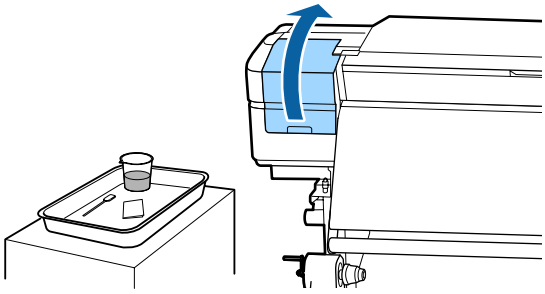
プリントヘッド周辺の清掃

プリントヘッドの周囲を確認し、インクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリが付いているときは、以下の手順で清掃をしてください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞「作業時のご注意」54 ページ

1 **プリントヘッドが左側に移動したことを確認して、左側のメンテナンスカバーを開けます。**



2 **クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。**

クリーニング棒、インククリーナーとも新品をお使いください。

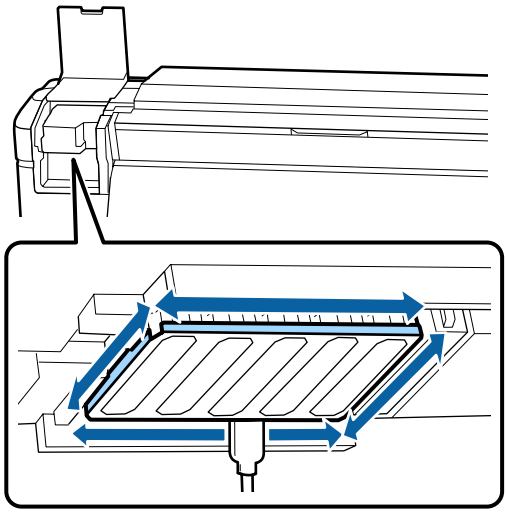
☞「インククリーナーの使い方」56 ページ

重要

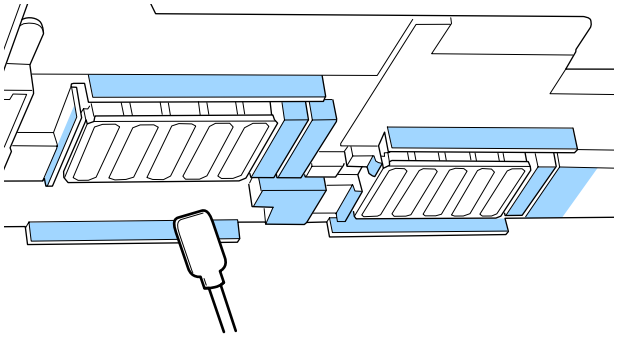
- クリーニング棒は、1 手順ごとにインククリーナーですすいでください。
- クリーニング棒でインクの固まりを取り除いたときは、クリーンルーム用ワイパーで拭き取ってください。

3 矢印部分の固着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

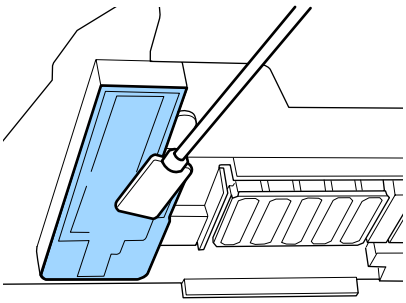
両方のプリントヘッド周辺を拭き取ります。



4 図の▭部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。



5 図の▭部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。



6 左側のメンテナンスカバーを閉めます。

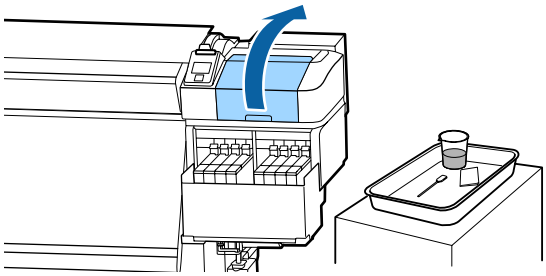
キャップ周辺の清掃

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞「作業時のご注意」54 ページ

キャップの清掃

1 右側のメンテナンスカバーを開けます。



2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

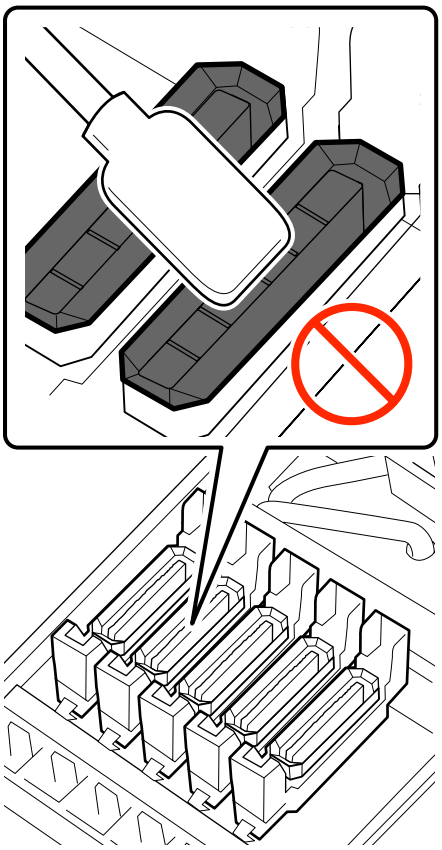
☞「インククリーナーの使い方」56 ページ

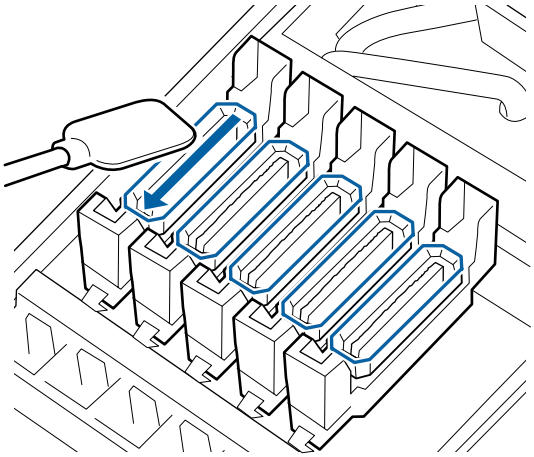
3 クリーニング棒を平らにして、全てのキャップのフチを拭き取ります。

キャップは 2 ブロックあります。全てのキャップを清掃してください。

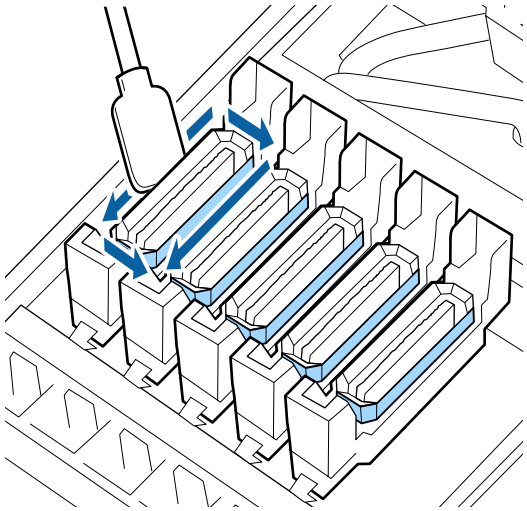
重要

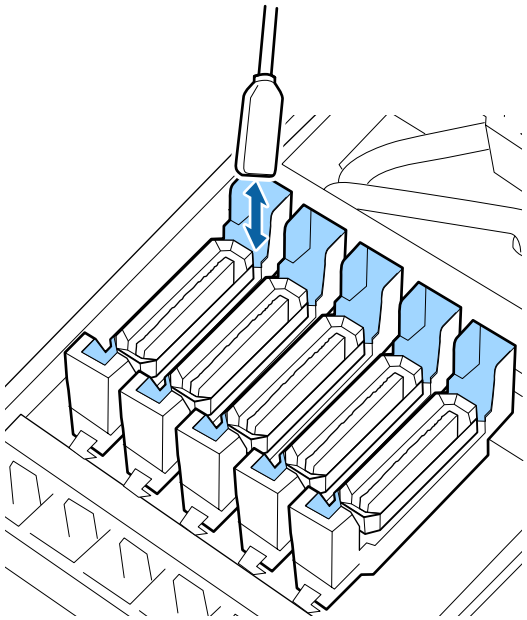
ピンセットやクリーニング棒でキャップのフチや周囲を強く押さえたり、内側に触れたりしないでください。部品が変形して、正常にキャッピングできなくなるおそれがあります。





4 クリーニング棒を縦にして、全てのキャップの外周と全てのガイド部の内側を拭き取ります。





キャップ清掃時に点検する箇所

- キャップ内側に毛羽ゴミが付着していないか。
- フラッシング用吸収材に毛羽ゴミが付着していないか。

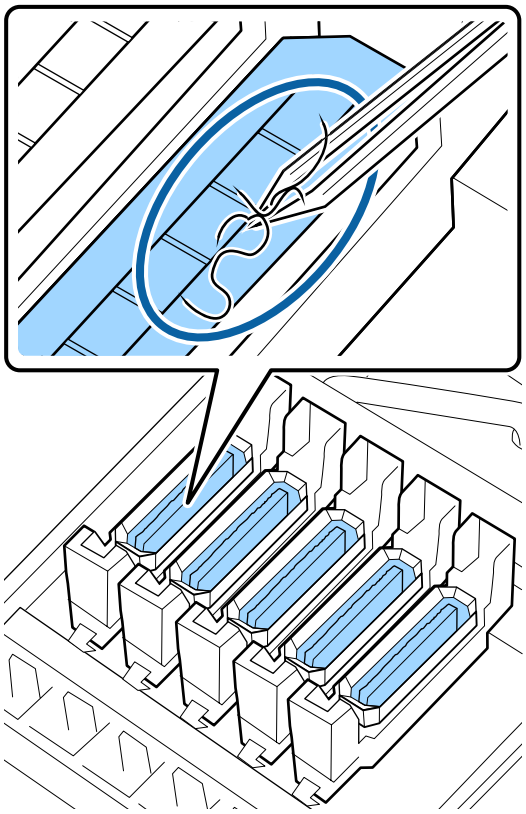
汚れていないとき：清掃終了です。

「清掃の終了」60 ページ

汚れているとき：次項をご覧になり必要な清掃を行います。

キャップ内に毛羽ゴミ、ホコリが付いているとき

クリーニング棒の先端やピンセットで取り除いてください。



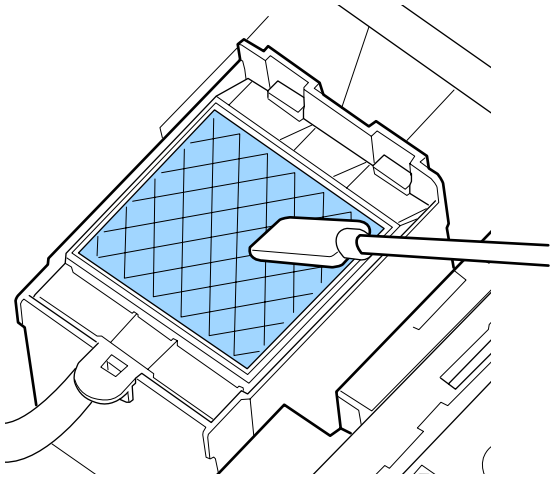
他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。
☞「清掃の終了」60 ページ

フラッシング用吸収材に毛羽ゴミが付いているとき

クリーニング棒の先端で毛羽ゴミやホコリを取り除きます。

!重要

表面の金具を変形させないようにしてください。変形すると、プリントヘッドを傷つけるおそれがあります。



他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。
☞「清掃の終了」60 ページ

清掃の終了

清掃が終了したら、右側のメンテナンスカバーを閉めて、【OK】ボタンを押します。

プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニューが終了します。

続いて印刷するときは、ノズルチェックを行ってください。
☞「チェックパターンの印刷方法」76 ページ
使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリーンルーム用ワイパーの廃棄 ☞「使用済み消耗品の処分」75 ページ

インクの補充

インク補充の時期

操作パネルの画面に、[インク残量を確認してください。]とメッセージが表示されたら、速やかに、次の 2 点を対応してください。

- 対象の色の新しいインクパックをお手元に用意する。
- インク残量を確認してインクタンクの底面から 70mm 以下になったら、チップユニットの交換とインクの補充を行う。

1 色でも、[チャージ時期超過] または [インク残量 限界値以下] になると印刷できません。印刷途中で、[インク残量を確認してください。] のメッセージが表示されたときは、印刷を継続しながらチップユニットの交換とインクの補充が行えます。
本機で使用できるインクパック ☞「消耗品とオプション」107 ページ

重要

本機は、インク残量警告システムを搭載しています。新品のインクパックに付属のチップユニットには、インク 1 パック分の使用可能情報が登録されています。チップユニットを本機に装着すると、この情報が本機に書き込まれます。
インク残量警告システムは、本機に書き込まれたインク 1 パック分の使用可能情報とインクの使用状況からインク残量を推定して、メッセージを表示します。
このシステムの正確性を維持するには、インク残量がインクタンクの底面から 70mm 以下になったら、速やかにチップユニットの交換とインクの補充を行ってください。

チップユニットを本機に装着してインク 1 パック分の使用可能情報を書き込むことを、「チャージ」と呼びます。チャージ後は、本機に装着したチップユニットは不要になります。新品のインクパックに付属のチップユニットと交換すると、必要に応じて自動でチャージが行われます。
自動チャージのために新品のチップユニットを本機に装着しておくことを、「予約」と呼びます。
予約は、推定インク残量のインジケーターの目盛りが 6〜1 の範囲なら、いつでも行えます。
なお予約中は、推定インク残量が少なくったときの警告が表示されません。インクがインクタンクの底面から 70mm 以下になっていたら、インク 1 パックを補充してください。
チップユニットの交換方法は、「インク補充の手順」の手順 2〜6 をご覧ください。
☞「インク補充の手順」62 ページ
予約中かどうかは、チップユニットの状態アイコンで確認できます。
☞「画面の見方」11 ページ

インク補充時のご注意

作業の前に製品安全データシートをお読みください。
製品安全データシートは、エプソンのホームページから入手できます。
http://www.epson.jp/

⚠ 注意

インクを補充するときは、以下の点に注意して作業してください。

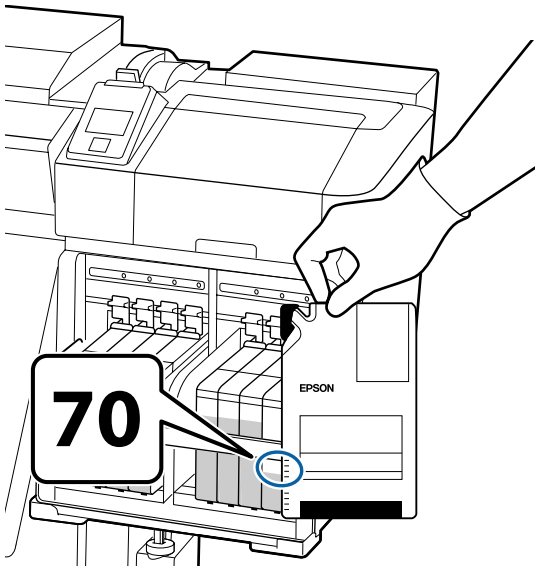
- インクパックのそそぎ口はゆっくり切ってください。
  勢いよく切り取ると、インクが飛び散ることがあります。
- 開封後のインクパックは強く持たないでください。インクが飛び出るおそれがあります。
- インクをインクタンクに注ぐ際は、インクパックをゆっくり傾けて注いでください。

重要

- プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 指定外のエプソン純正品インクパックを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。
  ☞「消耗品とオプション」107 ページ
- インクタンクの上に物などを置いたり、強い衝撃を与えないでください。インクタンクが外れることがあります。インクタンクが外れたときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
  エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☞「お問い合わせ先」125 ページ

インク補充の手順

1 操作パネルの画面に［インク残量を確認してください。］と表示されたら、インクタンクのインク残量をインクパックの目盛りで確認してください。



インク残量がインクタンクの底面から 70mm の位置よりも多いとき

新品のインクパックの全量をインクタンクに補充できるように、インク残量がインクタンク底面から 70mm になるまで使い続けることをお勧めします。

インク残量が 70mm 以下のとき

手順 2 に進んでください。

チップユニットを予約中は、手順 7 に進んでください。

! 重要

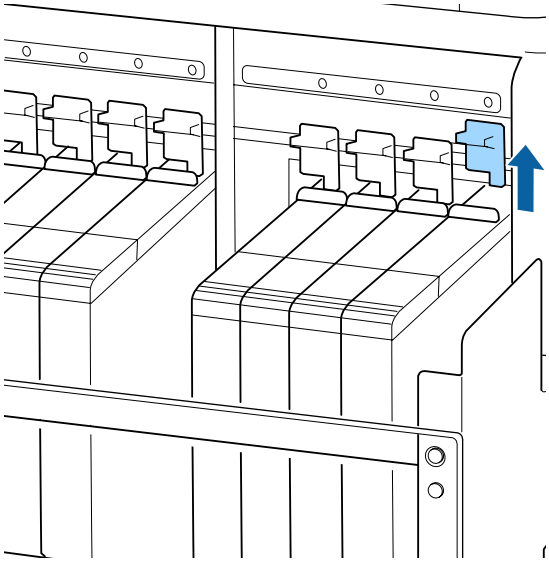
インク残量がインクタンクの底面から 70mm よりも多い状態で、［インク残量 限界値以下］と表示されるときは、インクタンクの交換時期です。インクタンクを交換してください。交換修理は、有償となります。

交換修理時には、インクタンク内のインクは廃棄します。これは、インクタンク内のインクに細かい塵やホコリなどの異物が混入されたことが、インクタンク不具合の原因となっているためです。

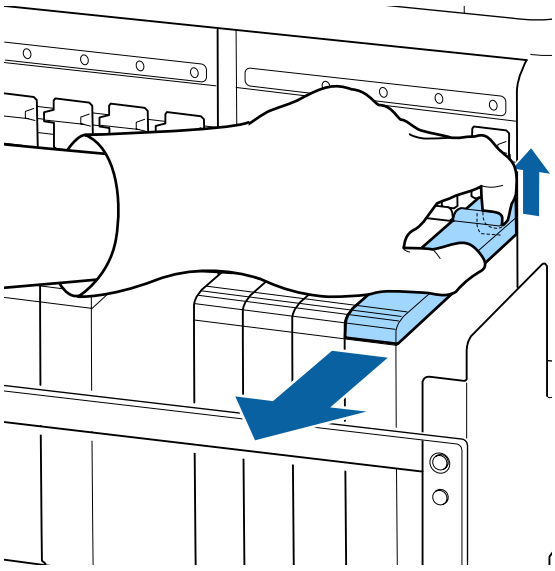
インクタンク交換に至る期間は、使用環境や使用状況により異なります。

交換修理は、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

2 チップユニットを交換するスライダーのロックレバーを引き上げます。



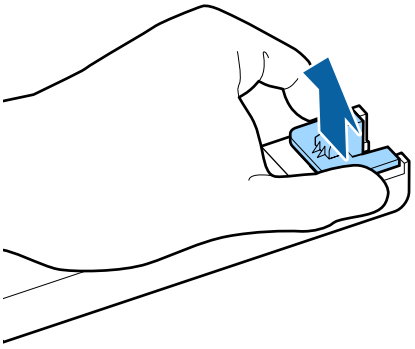
3 スライダー上部のくぼみに指をかけて、まっすぐに引き抜きます。



! 重要

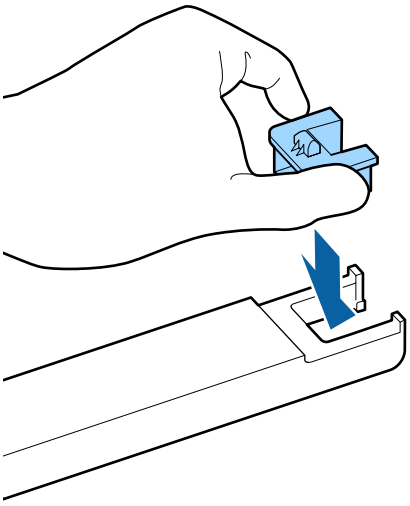
スライダーは傾けないでください。チップユニットが落下すると破損の原因となります。

4 スライダーからチップユニットを取り外します。

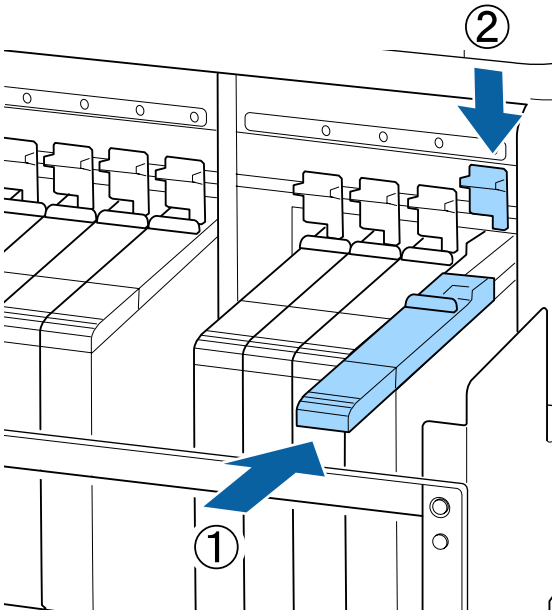


5 新品のインクパックに付属のチップユニットを取り付けます。

取り付け時は、スライダーとチップユニットのラベルの色が一致していることを確認してください。



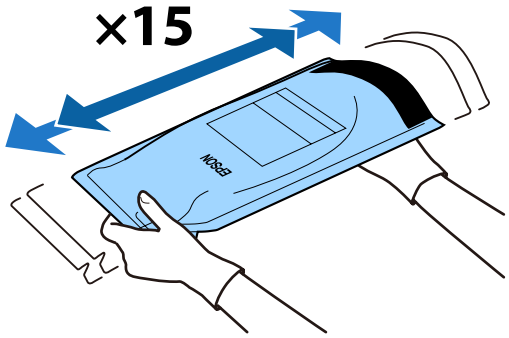
6 スライダーを水平に持って挿入し、ロックレバーを下げます。



重要

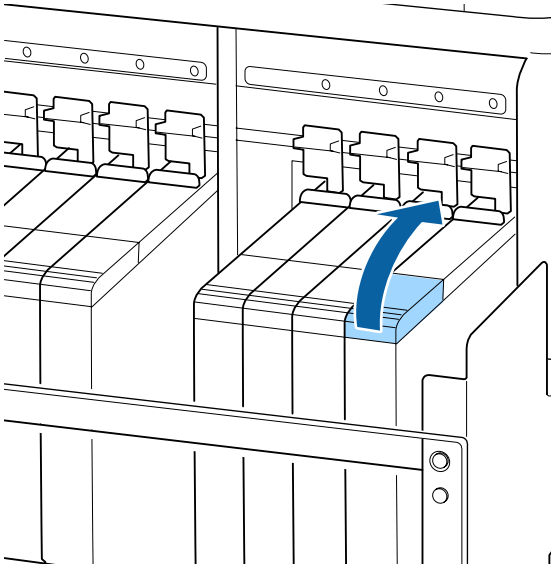
スライダーを勢いよく押し込まないでください。故障の原因となります。

7 新しいインクパックを図のように水平方向に両側約 **5cm** の振り幅で **5** 秒間に **15** 回程度よく振ります。



8 操作パネルの画面にエラーや警告が表示されていないことを確認してからスライダーの注入口カバーを開けます。

エラーや警告が表示されたときは、メッセージに従ってエラー/警告の対応後に以降の作業に進んでください。

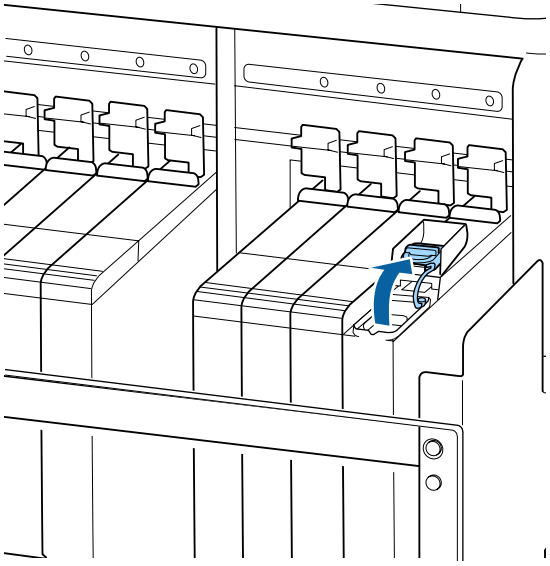


9 インクタンクの注入口キャップを外します。

補充するインクの種類によって注入口キャップの外し方が異なります。

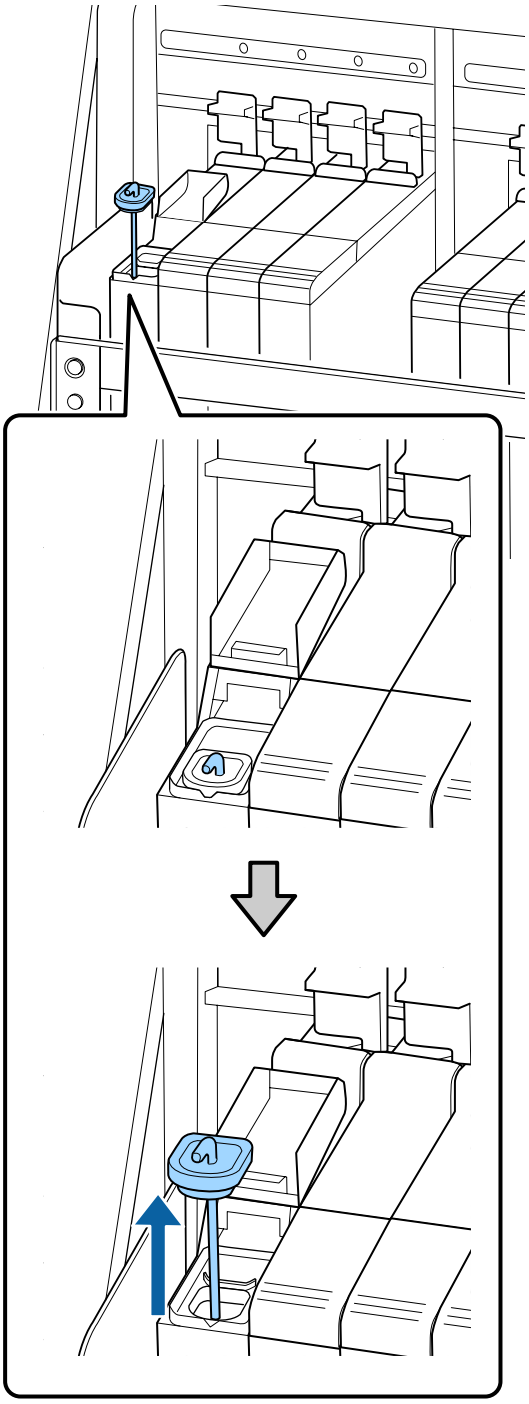
> **重要**
> 注入口キャップをゆっくり外してください。勢いよくキャップを外すとインクが飛び散ることがあります。

高濃度ブラックインク以外

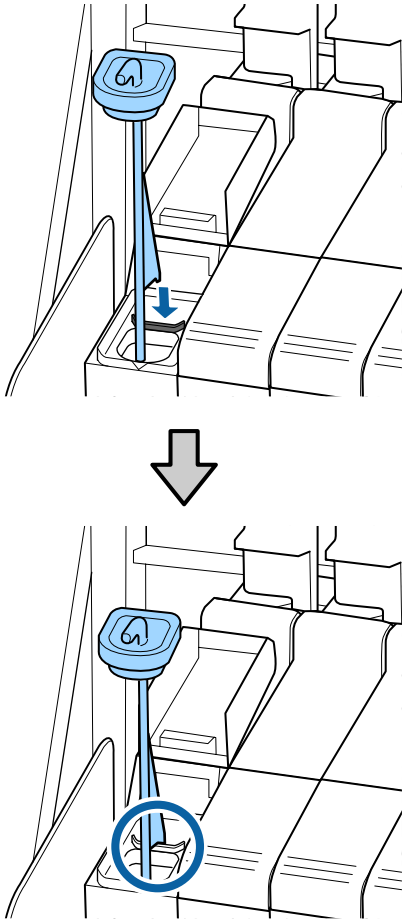


高濃度ブラックインク

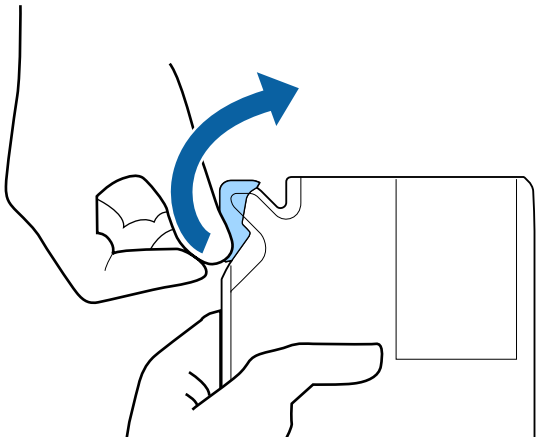
① 注入口キャップの突起部分をつまんで持ち上げます。他の部分を持って注入口キャップを外すと、インクが付着します。



② かくはん棒をインクタンクに引っかけます。

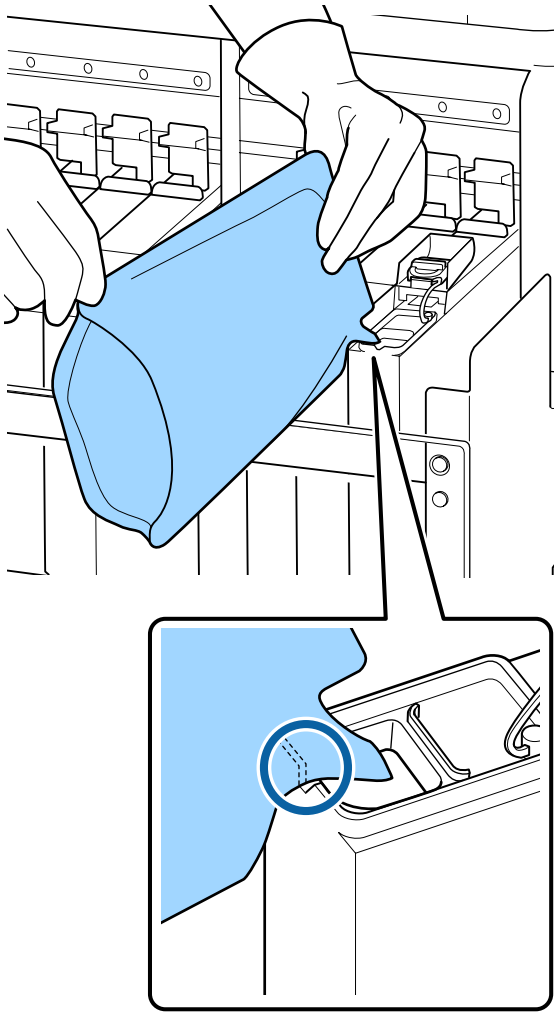


10 インクパックのそそぎ口を切り取ります。



11 インクタンクにインクパックのインクを補充します。

インクパックのそそぎ口をインクタンク注入口の溝に当ててゆっくりと傾けてください。



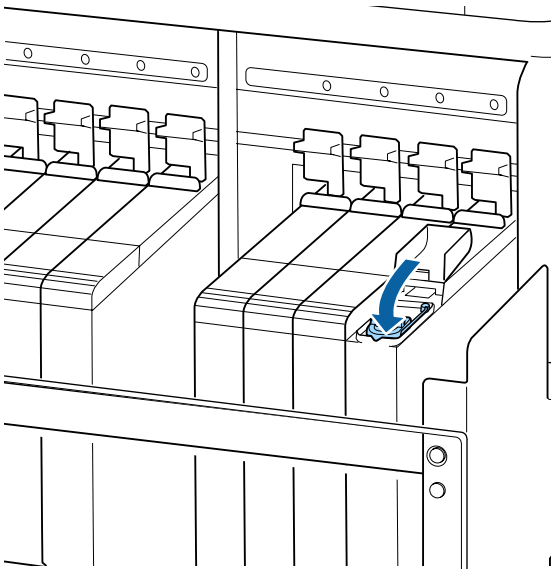
重要

インクパックのインクは残さず、一度で注ぎ切ってください。
インクパックのインクは、複数のインクタンクに注ぎ分けないでください。
インク残量警告システムのメッセージが適切に表示されない原因となります。

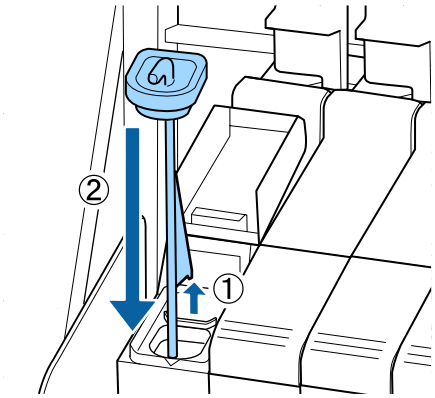
12 インクタンクに注入口キャップを付けます。

インクの種類によって注入口キャップの付け方が異なります。

高濃度ブラックインク以外



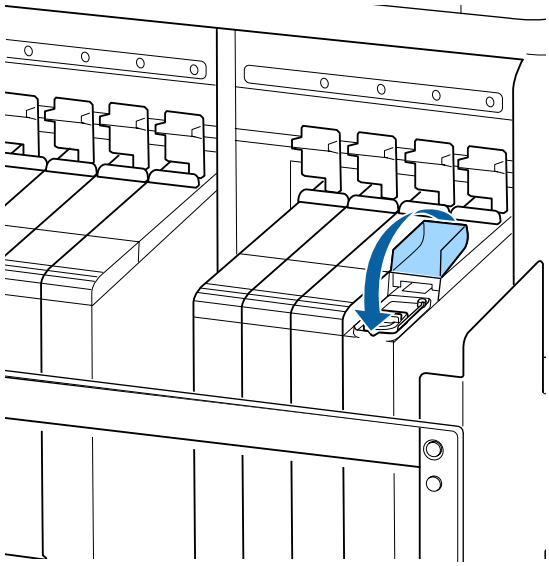
高濃度ブラックインク



重要

注入口キャップは浮かないように確実に押し込んでください。スライダーを引き抜く際に注入口キャップと接触すると破損することがあります。

13 スライダーの注入口カバーを閉めます。



インク補充時に遮熱板が汚れたときは、遮熱板を取り外して清掃してください。

☞「遮熱板の清掃」78 ページ

高濃度ブラックインクのかくはん手順

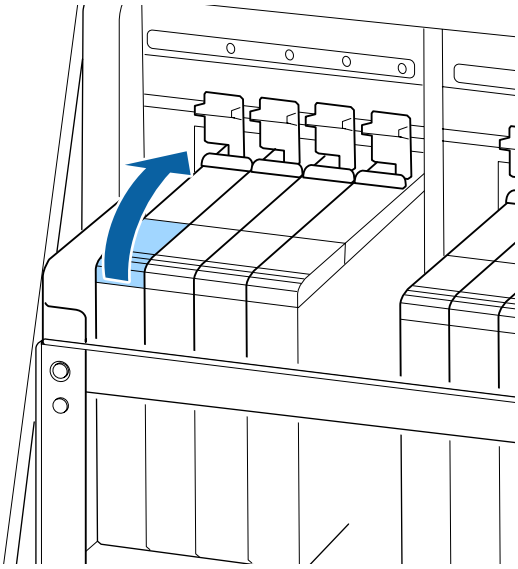
高濃度ブラックインクは沈降しやすい特性があります。インクタンク内のインクは、1 週間に 1 度かくはんしてください。沈降したまま使用すると印刷結果の色味が変わることがあります。

かくはんは、本機の電源の状態や印刷中に関わらず、いつでも行うことができます。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞「作業時のご注意」54 ページ

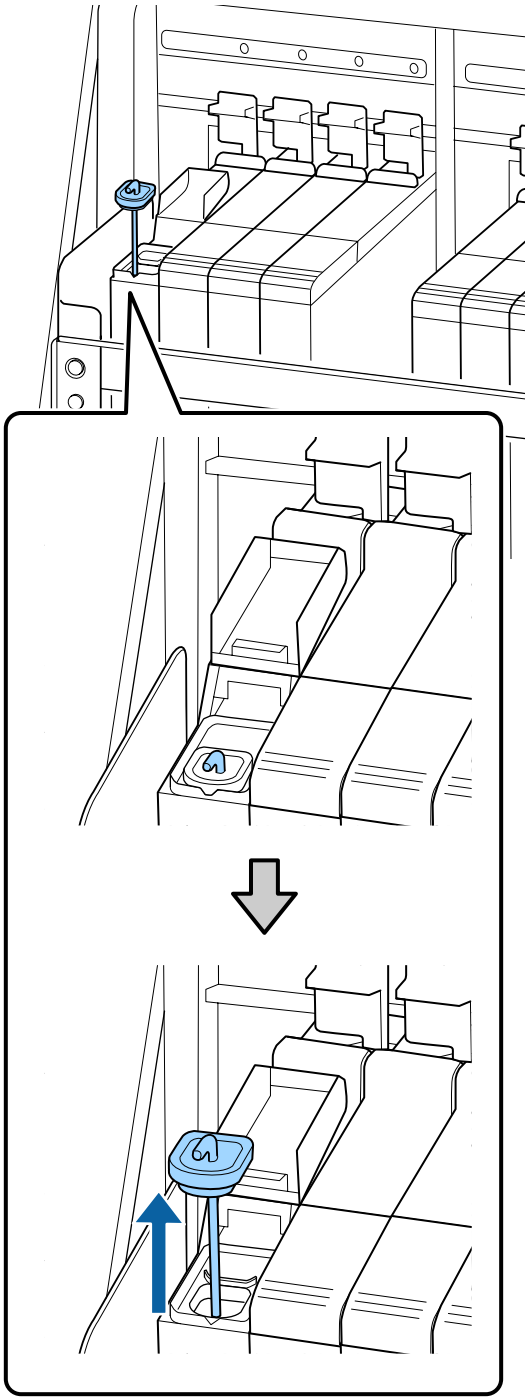
1 **HDK インクラベルが貼られたスライダーの注入口カバーを開けます。**



2 **インクタンクの注入口キャップを外します。**

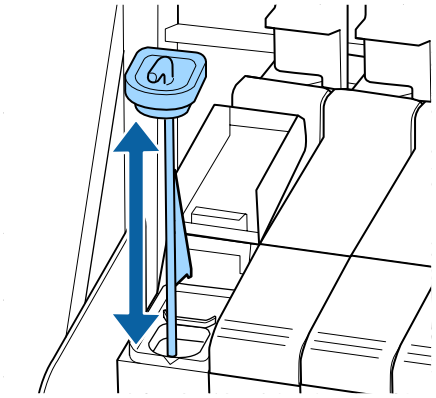
注入口キャップの突起部分をつまんで持ち上げます。他の部分を持って注入口キャップを外すと、インクが付着します。

> **重要**
> 注入口キャップはゆっくり外してください。勢いよくキャップを外すとインクが飛び散ることがあります。



3 **かくはん棒を、1 秒間で上下に 1 往復する動作を 15 回程度繰り返します。**

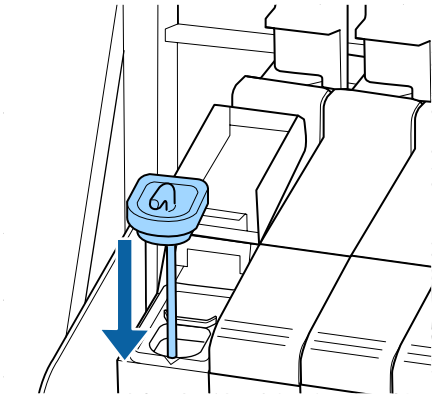
上下動作はかくはん棒の引っかけ部が完全に見えるまで引き上げ、注入口キャップがインクタンクに付くまで下げてください。



重要

かくはん棒はゆっくり動かしてください。勢いよく動かすと、インクが飛び散ることがあります。

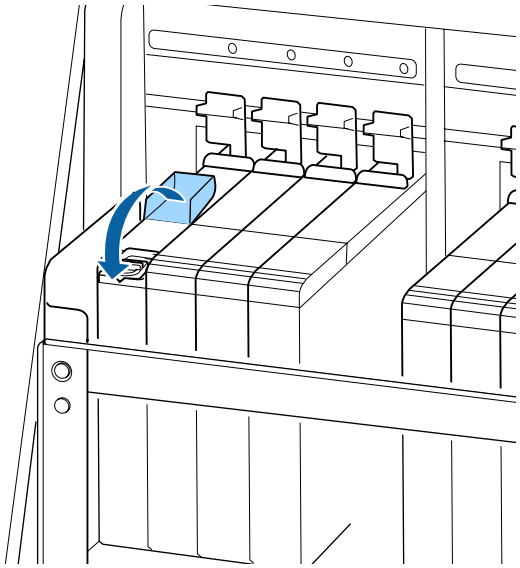
4 **インクタンクに注入口キャップを付けます。**



重要

注入口キャップは浮かないように確実に押し込んでください。スライダーを引き抜く際に注入口キャップと接触すると破損することがあります。

5 **注入口カバーを閉めます。**



廃インク処理

準備と交換時期

［空の廃インクボトルを準備してください。］と表示されたとき

直ちに新しい廃インクボトルを手元に用意してください。夜間稼動などのため、この段階で廃インクボトルを交換するときは、設定メニューから［廃インクボトル交換］を実施して交換作業を行ってください。［廃インクボトル交換］を実施せずに交換すると、廃インクカウンターが正しく働かなくなります。

メンテナンスメニュー ☞「メンテナンスメニュー」96 ページ

廃インクカウンター ☞「廃インクカウンターについて」69 ページ

重要

印刷中やヘッドクリーニング実行中は、画面に指示がない限り、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃インクが漏れることがあります。

［空の廃インクボトルと交換して、OK を押してください。］と表示されたとき

直ちに廃インクボトルを新品と交換してください。

交換方法 ☞「廃インクボトルの交換」69 ページ

廃インクカウンターについて

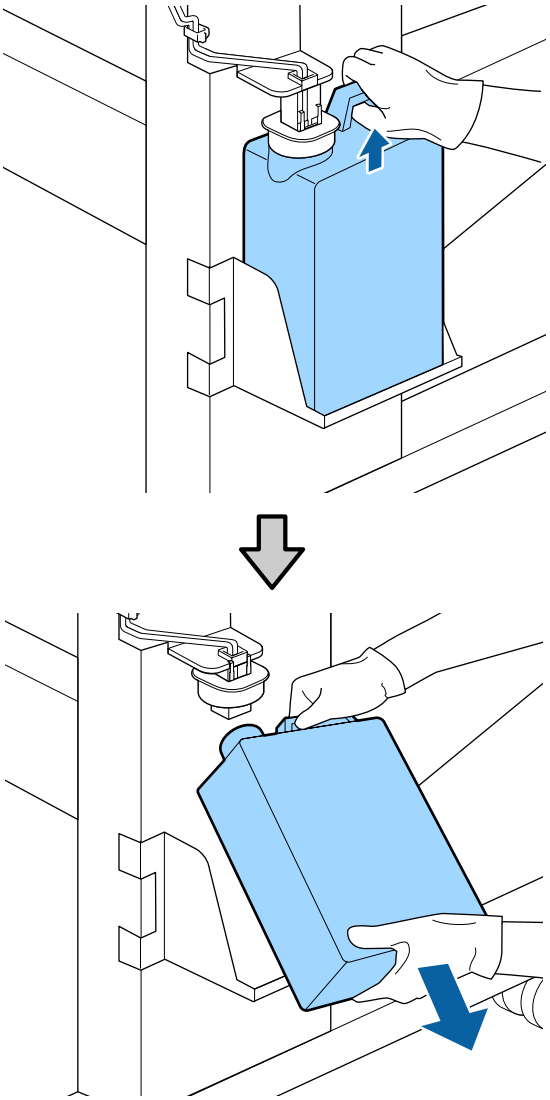
本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。[空の廃インクボトルと交換して、OK を押してください。] のメッセージに従って新しい廃インクボトルに交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。
このメッセージが表示される前に交換するときは、設定メニューの［廃インクボトル交換］を実行してください。
メンテナンスメニュー ☞「メンテナンスメニュー」96 ページ

> **重要**
> メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したときは、必ず廃インクカウンターをクリアしてください。次回から、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくなります。

廃インクボトルの交換

以降の手順に従って、交換作業を行います。
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。
☞「作業時のご注意」54 ページ

1 廃インクボトルを廃インクボトルホルダーから取り出します。



ストッパーの裏側が汚れているときは、拭いてください。

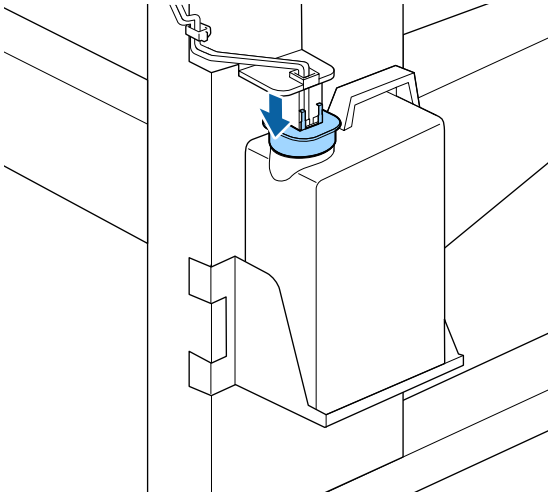
2 新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置します。

使用後の廃インクボトルはしっかり蓋をしてください。

重要

- 必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。
- 新しい廃インクボトルの蓋は、廃インクを廃棄するときに必要となります。捨てずに保管しておいてください。

3 ストッパーを下げます。



重要

ストッパーをボトルの口に密着させてください。隙間があると、廃インクが飛び散り、周囲が汚れることがあります。

4 【OK】ボタンを押します。

5 **再度、新しい廃インクボトルが正しく装着されていることを確認します。【OK】ボタンを押すと、廃インクカウンターがクリアされます。**

廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと廃棄してください。

参考

廃インクを廃インクボトルから別の容器に移すときは、以下の点に留意してください。

- 移し替える側の容器は、PE 製をお使いください。
- 本製品に付属のそそぎ口を廃インクボトルの口に取り付けて廃インクを移してください。
- 慎重に注いでください。勢いよく注ぐと廃インクがこぼれたり飛び散ったりします。
- 廃インクを移し替えた容器は、しっかりと蓋を閉めて保管してください。

使用済み廃インクと廃インクボトルの廃棄 ☞「廃棄」75 ページ

ヘッドクリーニングセットの交換

準備と交換時期

［ヘッドクリーニングセットの交換時期が近づきました］と表示されたとき

直ちに新しいヘッドクリーニングセットを手元に用意してください。

夜間稼動などのため、この段階で交換するときは、設定メニューから［ヘッドクリーニングセット交換］を実施して交換作業を行ってください。［ヘッドクリーニングセット交換］を実施せずに交換すると、ヘッドクリーニングセットカウンターが正しく働かなくなります。

メンテナンスメニュー ☞「メンテナンスメニュー」96 ページ

重要

ヘッドクリーニングセットカウンターについて

本機は、ヘッドクリーニングセットカウンターで使用量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。

［ヘッドクリーニングセット交換時期］のメッセージに従って新しいヘッドクリーニングセットと交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、設定メニューから［ヘッドクリーニングセット交換］を実行してください。

メンテナンスメニュー ☞「メンテナンスメニュー」96 ページ

［ヘッドクリーニングセット交換時期］と表示されたとき

次項をご覧になり、ヘッドクリーニングセットに付属のパーツを一括して交換してください。交換しないと印刷できません。

ヘッドクリーニングセットには、以下のパーツが入っています。

- ワイパーユニット (1 個)
- フラッシング用吸収材 (1 個)
- 手袋（2 枚）

交換用のヘッドクリーニングセットは、必ず本機専用のものをお選びください。

☞「消耗品とオプション」107 ページ

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞「作業時のご注意」54 ページ

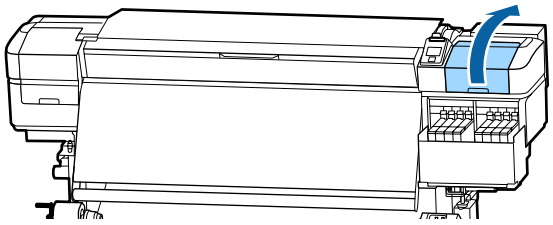
ヘッドクリーニングセットの交換方法

1 ［ヘッドクリーニングセット交換時期］の画面で【OK】ボタンを押します。

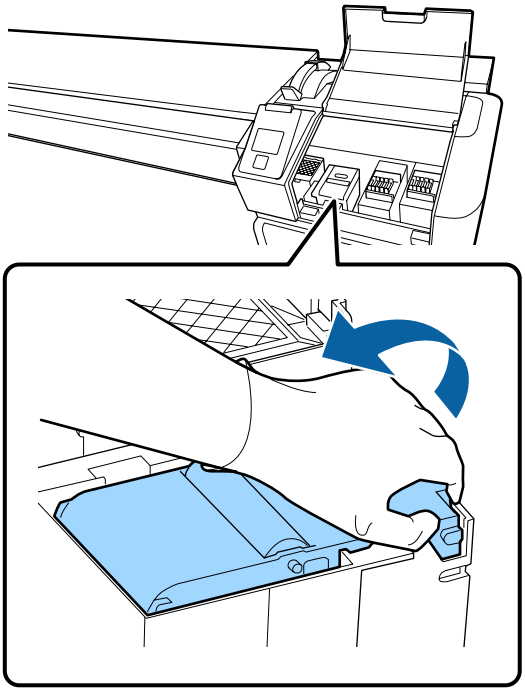
2 確認のメッセージが２回表示されます。

1 画面ずつ内容をよく確認して【OK】ボタンを押します。

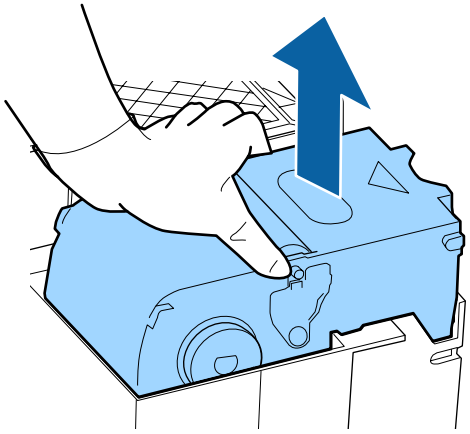
3 プリントヘッドが左側に移動したことを確認して、右側のメンテナンスカバーを開けます。



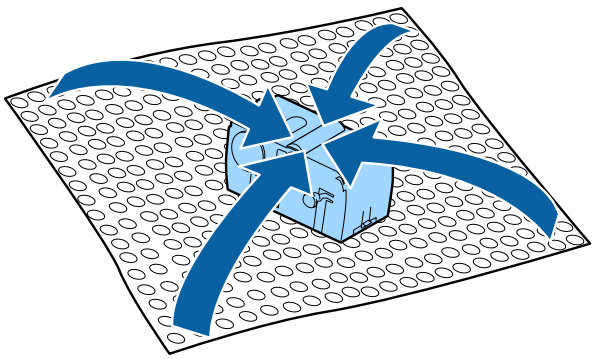
4 ワイパーユニットの奥のくぼみに指を掛けて、少し手前に引き上げます。



5 まっすぐに持ち上げて取り外します。

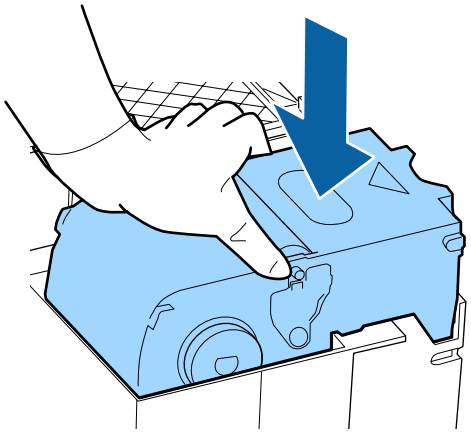


6 使用済みのワイパーユニットは、インクが周りに付かないように、新品のワイパーユニットを包んでいた緩衝材で包みます。



7 **新品のワイパーユニットを取り付けます。**

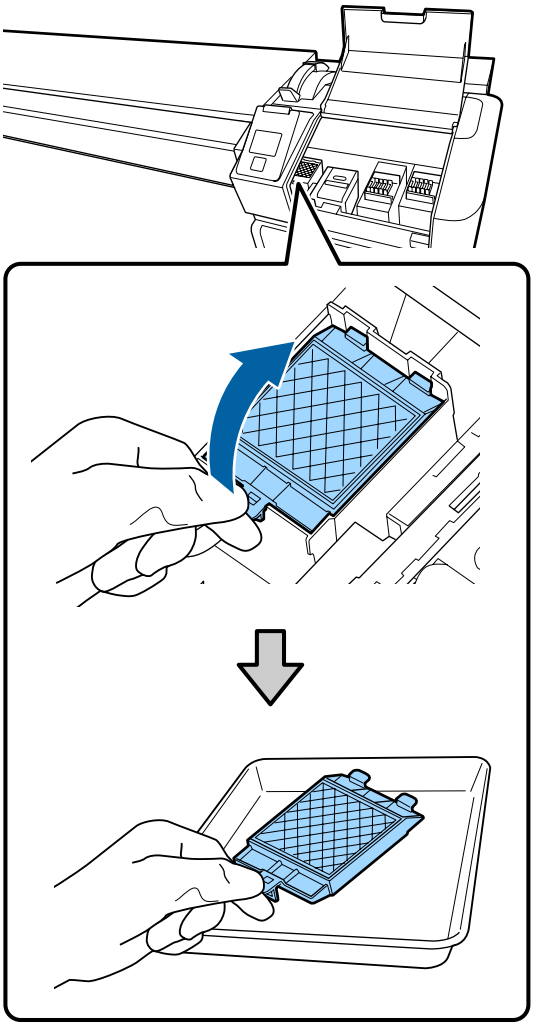
取り付け部に載せて、カチッと音がするまで押し込みます。



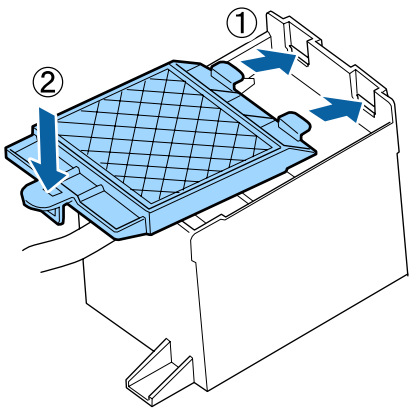
8 **ワイパーユニットの交換が終了したら、【OK】ボタンを押します。**

9 **フラッシング用吸収材は、つまみを持って引き上げて取り外します。**

取り外したフラッシング用吸収材は、金属トレイに載せてください。



10 **新品のフラッシング用吸収材の 2 本のツメを穴に差し込み、つまみの辺りをパチッと音がするまで押し込みます。**



11 フラッシング用吸収材の交換が終了したら、【OK】ボタンを押します。

12 メンテナンスカバーを閉めて【OK】ボタンを押します。

13 画面に確認のメッセージが表示されます。内容を確認して、[はい]を選択し【OK】ボタンを押します。

使用済みヘッドクリーニングセットの廃棄 ☞「廃棄」75 ページ

メディア押さえ板の交換

付属のメディア押さえ板が変形したり破損したりしたときは、必ず新品と交換してください。
交換用のメディア押さえ板については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにお問い合わせください。
☞「お問い合わせ先」125 ページ

!重要

変形したり破損したりしたメディア押さえ板を使い続けると、プリントヘッドが損傷するおそれがあります。

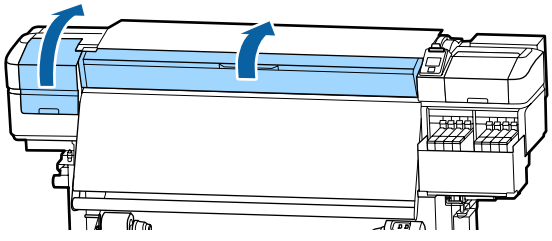
交換方法

1 メディアを取り外してから、本機の電源を切ります。画面の表示が消えたのを確認して電源プラグをコンセントから抜きます。

☞「巻き取ったメディアの取り外し方」38 ページ

電源プラグは 2 つとも抜きます。

2 電源プラグを抜いたあと 1 分程放置して左側のメンテナンスカバーと前面カバーを開けます。

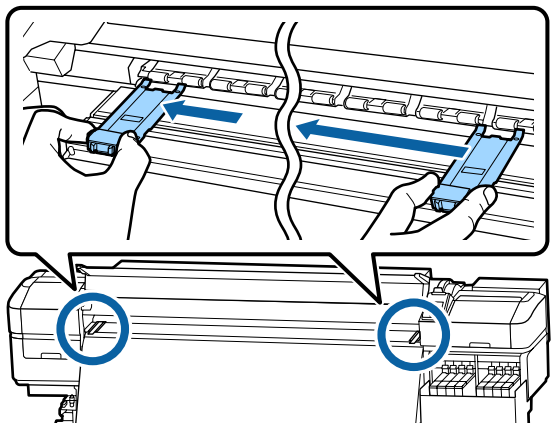


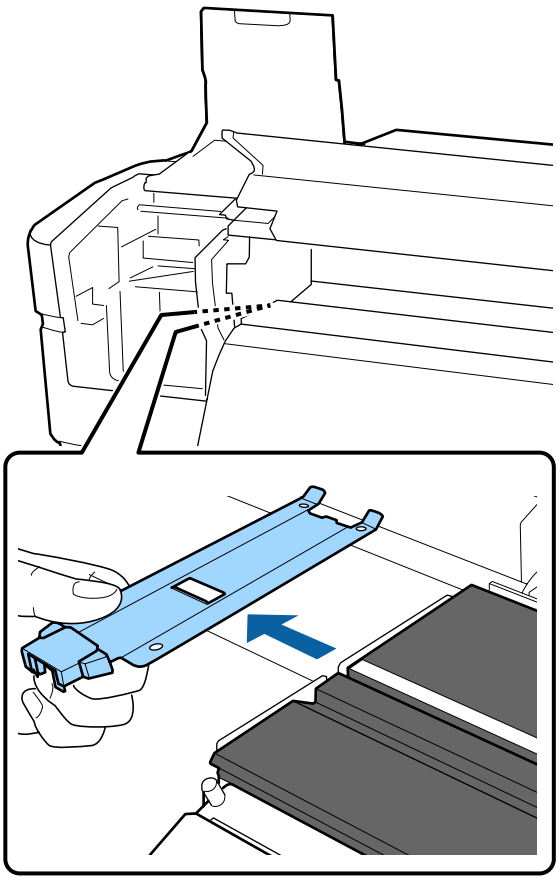
3 メディア押さえ板のツマミを、両側から押さえたままプラテンの左端に移動して取り外します。

右側のメディア押さえ板を交換するときは、左側を取り外してから右側を取り外します。

!重要

メディア押さえ板は、必ずプラテンの左端から取り外してください。右端から取り外すと、メディア押さえ板が本機の内部に落下して不具合の原因となります。



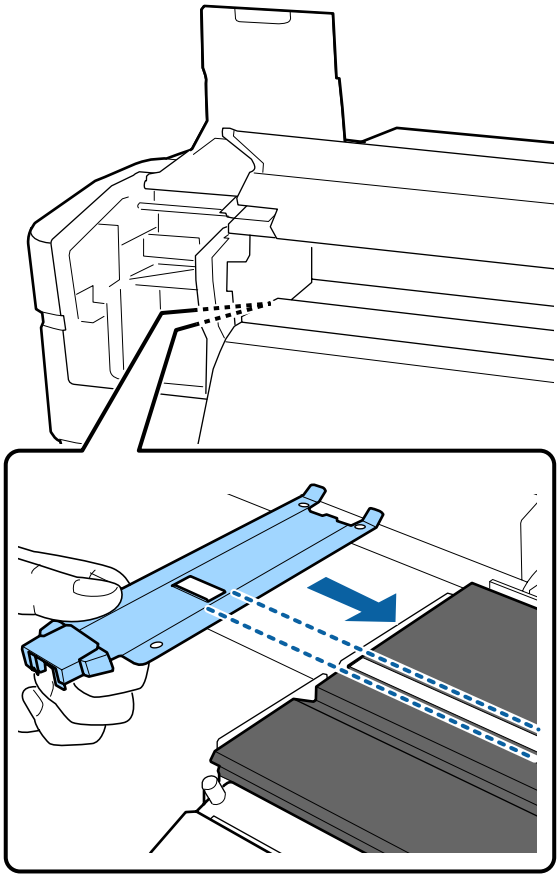


4 プラテンの左端から新品のメディア押さえ板を挿入します。

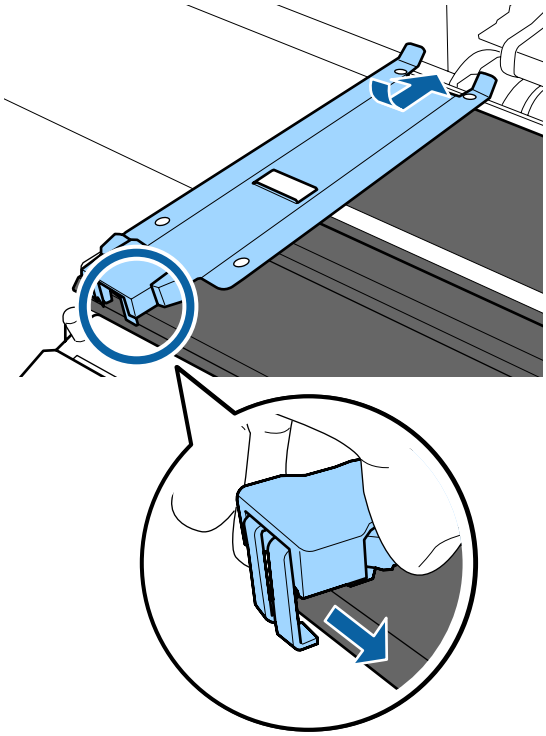
> **重要**
> メディア押さえ板を右端から挿入することはできません。

挿入する際は、以下の２点を確認しながら行います。

① プラテン上の白線とメディア押さえ板の白線が一直線になるように位置を合わせます。



② 金属板の先端をプラテンに押し当てながら、プラテン手前の角にツメを引っ掛けます。

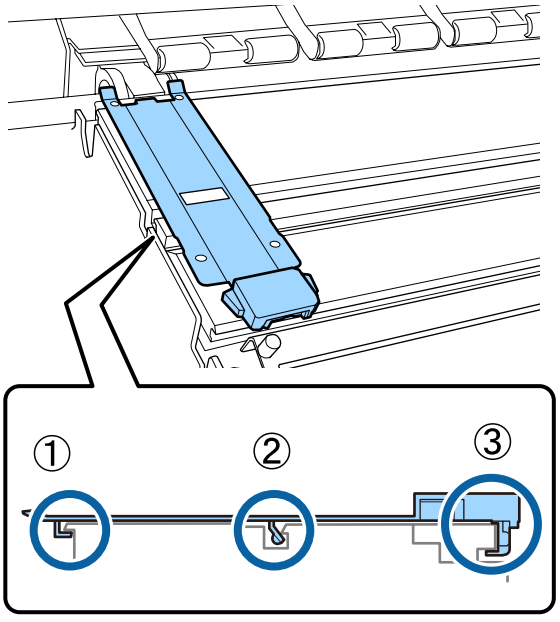


5 メディア押さえ板の裏面の３箇所のツメが下図のように確実に引っ掛かり、プラテンとの間に隙間なく装着されていることを確認します。

① 先端のツメ：プラテン奥の角

② 四角い穴の裏側のツメ：白線の手前の溝

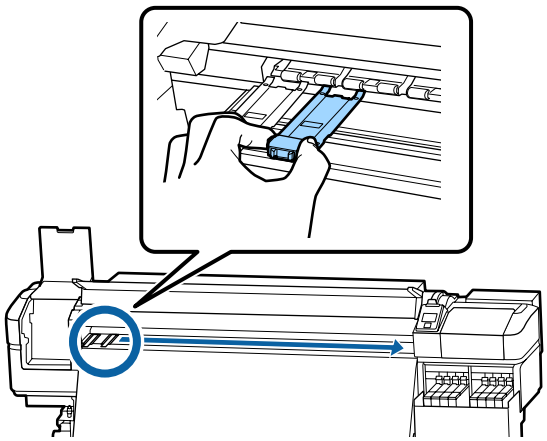
③ ツマミの裏側のツメ：プラテン手前の角



> **重要**
> ツメが正しく引っ掛かっていない箇所があるときは、手順 3 に戻って取り付け直してください。そのまま使用すると、ヘッドが破損するおそれがあります。

6 **メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたまま、プラテンの左端と右端へ移動します。**

ツマミを放すと、メディア押さえ板が固定されます。



7 **左側のメンテナンスカバーと前面カバーを閉めます。**

使用済み消耗品の処分

廃棄

使用済みの以下のインク付着物は産業廃棄物です。

- クリーニング棒
- クリーンルーム用ワイパー
- インククリーナー
- 廃インク
- 廃インクボトル
- ワイパーユニット
- フラッシング用吸収材
- 印刷後のメディア

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時には、製品安全データシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。

製品安全データシートは、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）からダウンロードできます。

ノズルの目詰まりチェック

良好な印刷品質を維持するために、ノズルの目詰まりをチェックしてから印刷することをお勧めします。

目詰まりチェックの種類

ノズルの目詰まりをチェックするには、以下の 2 通りの方法があります。

任意にチェックパターンを印刷する

印刷の前に目詰まりがないか確認したいときや印刷結果にスジやムラが見られるときなど必要に応じてチェックパターンを印刷します。印刷されたチェックパターンを目視で確認してノズルの目詰まりがあるか確認します。チェックパターンの印刷方法は、以下をご覧ください。

☞「チェックパターンの印刷方法」76 ページ

セットしているメディア幅によっては、一度パターン印刷した余白にパターンを並べて印刷できるのでメディアの使用量を節約できます。

- 51 インチ以上～64 インチ未満のとき：右側、中央、左側の最大 3 回まで並べて印刷できます。
- 34 インチ以上～51 インチ未満のとき：右側と左側に 2 回まで並べて印刷できます。
- メディア幅 34 インチ未満のときと［メディア幅検出］を［OFF］に設定しているとき：並べて印刷できません。

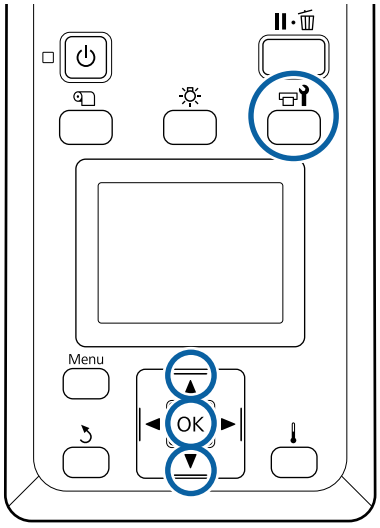
ページ間ノズルチェック - チェックパターン印刷

設定したページ数の印刷が終了するたびに、チェックパターンの印刷を挟んで次ページを印刷します。全ての印刷終了後にチェックパターンを目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷にかすれや欠けがないかを判断します。

☞「プリンター設定メニュー」93 ページ

チェックパターンの印刷方法

以下の設定で使用するボタン



1 **印刷可能状態であることを確認して【🖨】ボタンを押します。**

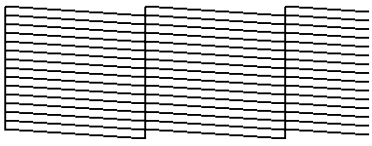
メンテナンスメニューが表示されます。

2 **［ノズルチェック］を選択し、任意の印刷位置を選択して【OK】ボタンを押します。**

チェックパターンが印刷されます。

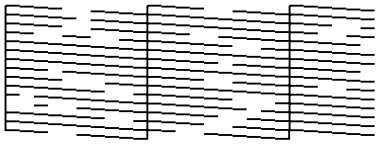
3 **必要に応じてメディアをカットして印刷されたチェックパターンを確認します。**

目詰まりしていないときの例



チェックパターンが欠けていません。

目詰まりしているときの例



チェックパターンが欠けているときは、ヘッドクリーニングを行ってください。

☞「ヘッドクリーニング」76 ページ

重要

必ず全色のノズルの目詰まりを解消してから使用を再開してください。再開後の印刷で使用しない色でも目詰まりしたまま使い続けると、目詰まりが解消できなくなります。

4 **印刷が終了すると、設定メニューが終了します。**

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングの種類

ヘッドクリーニングは、大きく以下の 2 つに分けられます。

任意にヘッドクリーニングを実施する。

印刷されたチェックパターンにかすれや欠けがあるときは、ヘッドクリーニングを行ってから、再度チェックパターンを印刷して目詰まりがあるかを確認します。

ヘッドクリーニングは印刷の途中でも、印刷を一時停止（ポーズ）すれば行えます。ただし、印刷再開時に印刷物の色味が変わることがあります。

ヘッドクリーニングの実施方法は、以下をご覧ください。

☞「ヘッドクリーニングの方法」77 ページ

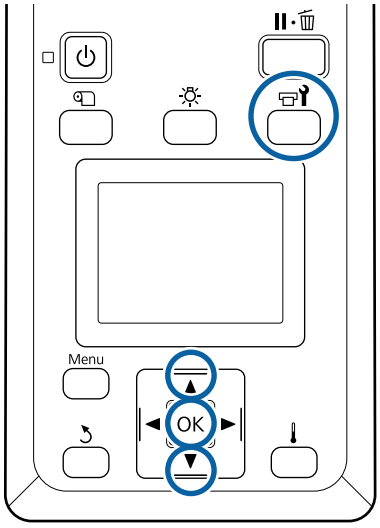
定期クリーニング

定期クリーニングは、実際にノズルの目詰まりが起きる前に予防手段として定期的にヘッドクリーニングを実施します。頻度を印刷時間やメディア使用量で設定します。

定期クリーニング頻度　☞「メディア管理メニュー」89 ページ

ヘッドクリーニングの方法

以下の設定で使用するボタン



1 **印刷可能状態であることを確認して【🖃】ボタンを押します。**

メンテナンスメニューが表示されます。
印刷中にクリーニングをするときは、【⏸】ボタンを押します。

2 **【▼】/【▲】ボタンを押して［クリーニング］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **クリーニングのレベルを選択して【OK】ボタンを押します。**

ヘッドクリーニングには、2 段階のレベルがあります。
最初は、［クリーニング（弱）］を実施します。実施後、印刷したチェックパターンにかすれや欠けがあるときは［クリーニング（強）］を実施してください。

4 **クリーニングを行うノズル列の指定方法を選択します。**

［全列クリーニング］
印刷されたチェックパターンを確認したとき、全てのパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。選択後は、手順 6 に進みます。

［クリーニングする列を選択］
印刷したチェックパターンで特定の番号（ノズル列）のパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。ノズル列は複数選択できます。

5 **ヘッドクリーニングするノズル列を選択します。**

① 【▼】/【▲】ボタンを押してかすれや欠けがあるパターンの番号が含まれているノズル列を選択し、【OK】ボタンを押します。

② ヘッドクリーニングするノズル列を全て選び終わったら選択を決定し実行を選択して【OK】ボタンを押します。

6 **ヘッドクリーニングが開始されます。**

ヘッドクリーニングが終了すると、確認のメッセージが表示されます。
手順 1 で印刷を一時停止（ポーズ）してヘッドクリーニングをしたときは、ヘッドクリーニングが終了すると印刷が再開されるので、印刷結果でノズルの目詰まりが解消されたことを確認します。

7 **チェックパターンを印刷して目詰まりを確認するときは、【▼】/【▲】ボタンを押して［ノズルチェック］を選択し【OK】ボタンを押します。**

すでにチェックパターンを印刷したメディアの余白にチェックパターンを印刷するときは、印刷開始位置が加圧ローラーの位置にくるまで【▲】ボタンを押してメディアを戻してください。
［終了］を選択して【OK】ボタンを押すと、設定メニューが終了します。

数回ヘッドクリーニングを行ってもノズルの目詰まりが解消されないとき

プリントヘッド周辺が汚れているおそれがあります。
以下を実施してください。

① 設定メニューから［自動ヘッドメンテナンス］を実施する。
☞「メンテナンスメニュー」96 ページ
①を行っても目詰まりが解消されないときは②を行います。

② 定期清掃を実施する。
☞「定期清掃の仕方」56 ページ

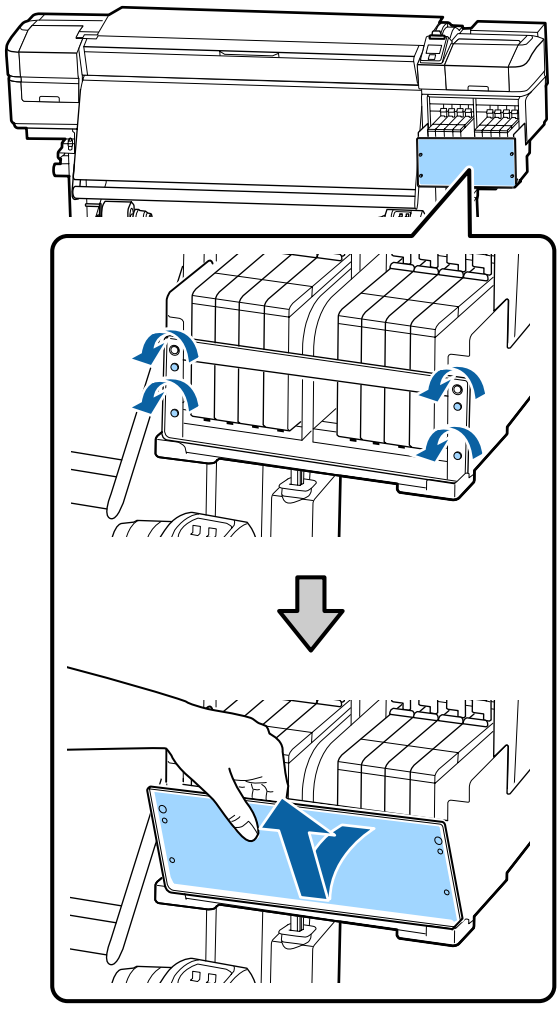
遮熱板の清掃

遮熱板にインクが付着してインクタンクが見えにくいときは、遮熱板を取り外して清掃してください。
以降の作業では、+のドライバーが必要です。事前に手元に用意してから作業を始めてください。

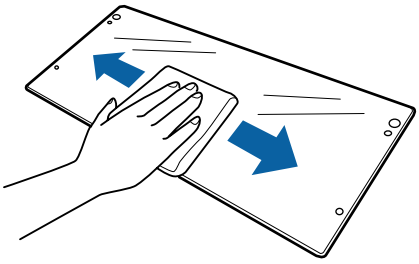
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。
「作業時のご注意」54 ページ

1 **遮熱板を取り外します。**

遮熱板を固定しているネジ 4 本を完全にゆるめて、遮熱板を取り外します。

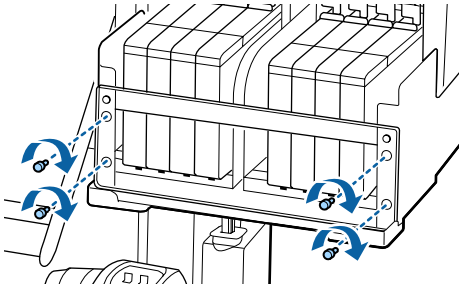


2 **水に浸してよく絞った柔らかい布で遮熱板に付着したインクを拭き取ります。**



3 **遮熱板を取り付けます。**

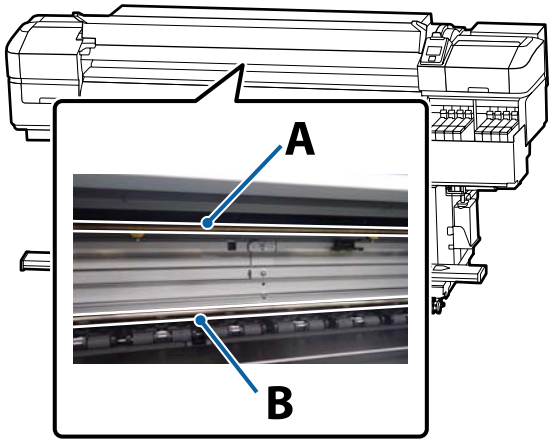
インクタンクホルダーと遮熱板の穴を合わせてネジでしっかり固定します。



キャリッジ軸へのグリスの塗布

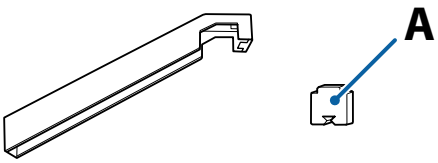
操作パネルの画面に［注油時期です。マニュアルを参照し専用のグリスを塗ってください］と表示されたときは、できるだけ早く以降の手順で、キャリッジ軸にグリスを塗ります。

キャリッジ軸の位置と使用パッド

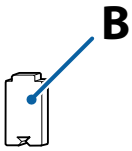


キャリッジ軸は、A 軸と B 軸の 2 本あります。本製品に付属の注油キットを使って両方の軸にグリスを塗ります。軸によって以下の通りグリスを塗布する用具が異なります。

キャリッジ軸 A



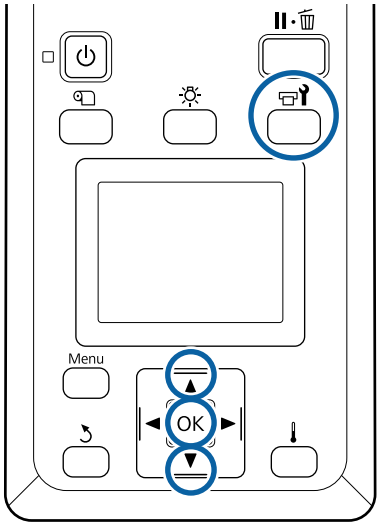
キャリッジ軸 B



作業を行う前に、必ず以下をお読みください。
「作業時のご注意」54 ページ

キャリッジ軸 A への注油手順

以下の設定で使用するボタン



1 印刷可能状態であることを確認して【🔧】ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

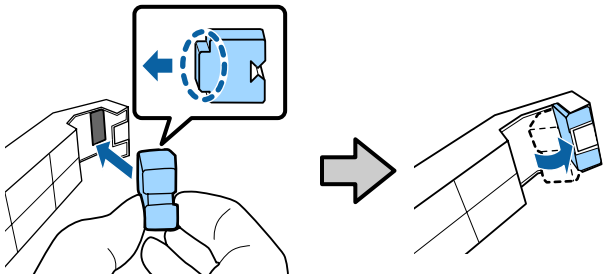
2 【▲】ボタンを押して［その他のメンテナンス］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▲】ボタンを押して［キャリッジ軸注油］を選択し、【OK】ボタンを押します。

［注油キットをお手元にご用意ください。続行しますか？］と表示されます。注油キットがあることを確認してください。

4 ［はい］を選択し、【OK】ボタンを押します。

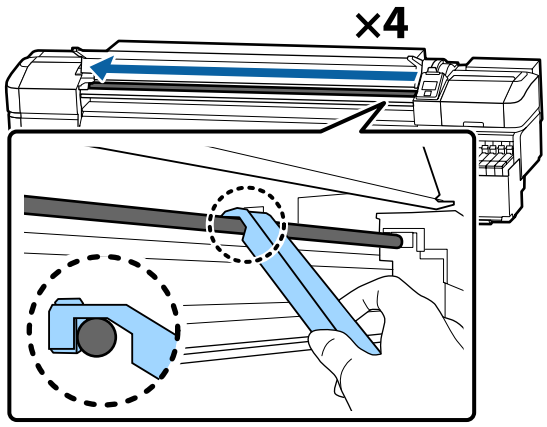
5 グリス注油ツールの四角い穴にパッド A（新品）の凸部を差し込み、しっかり押し込んで固定します。



6 前面カバーを開けます。

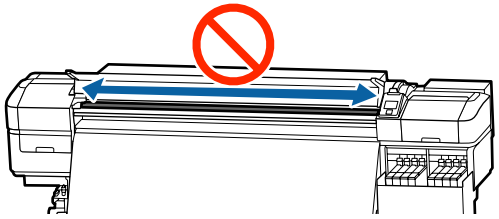
7 キャリッジ軸 A の裏側にツールのパッド部分をしっかりと当てて、軸の右端から左端に滑らせるように移動して汚れを拭き取ります。

この動作を 4 回繰り返します。



重要

ツールは往復させないでください。
往復させるとプリントヘッド側にゴミが移動して故障の原因になります。



8 ツールから汚れたパッドを取り外します。

9 ツールに新品のパッド **A** を取り付けます。

10 新品のクリーニング棒でグリス容器内を **10** 回程かき混ぜて、なじませます。

11 クリーニング棒の先端を容器のフチに押し付けて、余分なグリスを落とします。

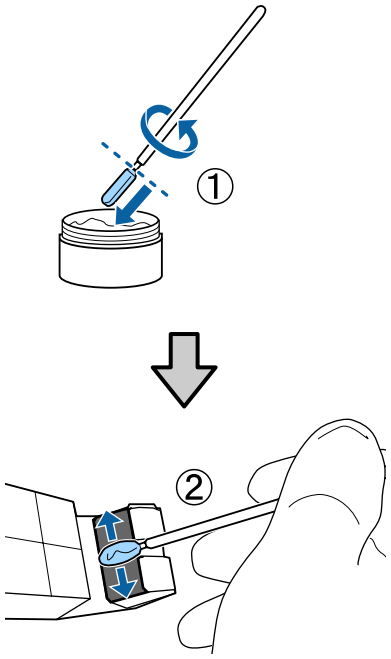
重要

余分なグリスを落とさないと、プラテン上にグリスが落ちてメディアが汚れるおそれがあります。

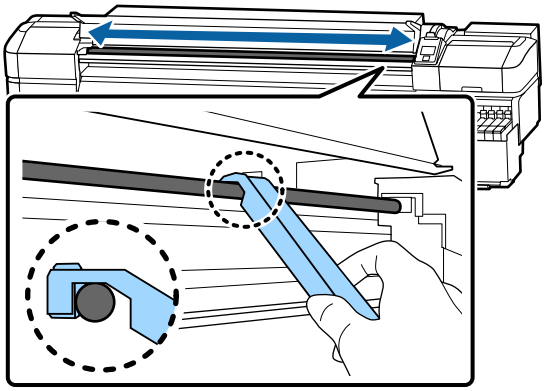
12 以下の手順で、ツールに付けたパッドにクリーニング棒でグリスを塗り付けます。

① クリーニング棒の先端が全て隠れるまで容器に差し入れ、2~3 回転させて引き上げると適量のグリスが付きます。

② ツールのパッド部分にグリスを塗り付けます。



13 手順 **7** と同様にツールのパッド部分を当てて、**2** 往復してグリスを塗ります。

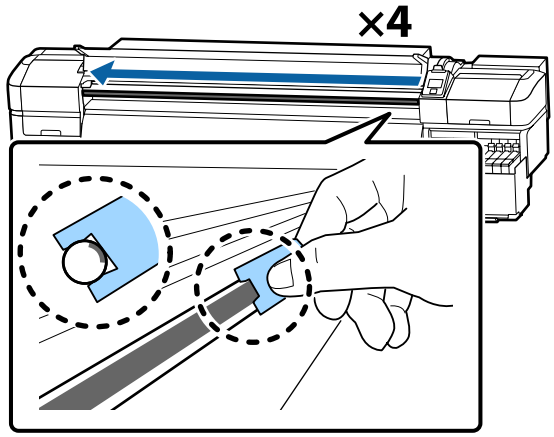


続いて、キャリッジ軸 B にグリスを塗ります。

キャリッジ軸 B への注油手順

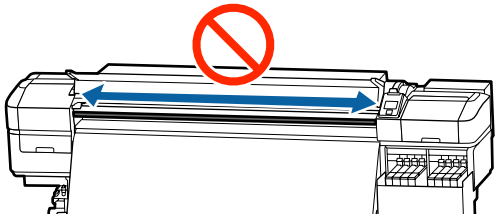
1 新品のパッド **B** を図のように軸のグレーの部分にしっかりと押し当てて、軸の右端から左端に滑らせるように移動して汚れを拭き取ります。

この動作を 4 回繰り返します。



重要

パッド B は往復させないでください。
往復させるとプリントヘッド側にゴミが移動して故障の原因になります。

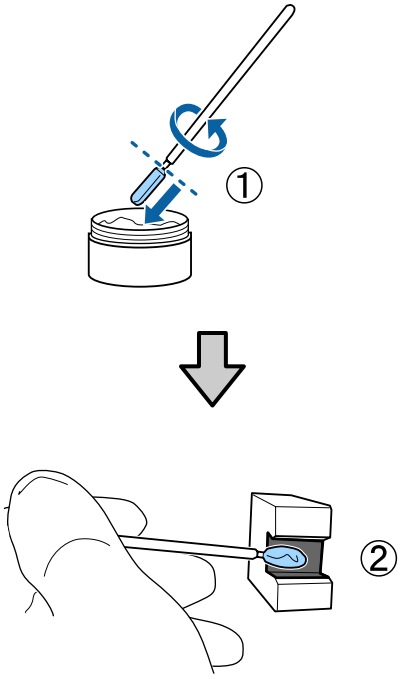


2 新品のパッド **B** に以下の手順でグリスを塗り付けます。

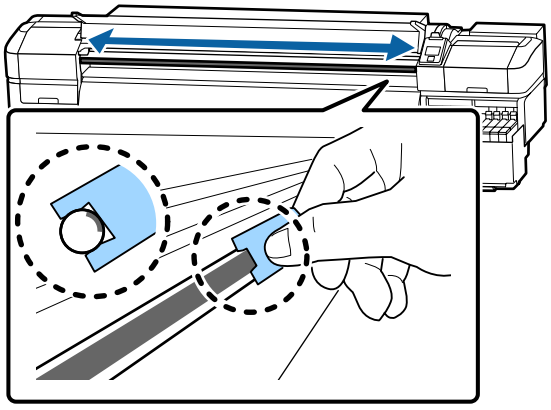
手順 1 で使用したパッド B を使い回さずに、必ず新品と交換してください。

① クリーニング棒の先端が全て隠れるまで容器に差し入れ、2 ～ 3 回転させて引き上げると適量のグリスが付きます。

② 新品のパッド B にグリスを塗り付けます。



3 手順 **1** と同様にパッド **B** を押し当てて、**2** 往復してグリスを塗ります。



4 前面カバーを閉めて【OK】ボタンを押します。

キャリッジが往復します。

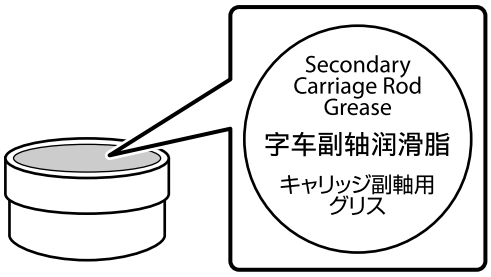
5 グリス注油ツールから汚れたパッドを取り外して、グリス注油ツールとグリスを一緒に保管します。

使用済のパッド、クリーニング棒などグリス付着物の廃棄

「使用済み消耗品の処分」75 ページ

グリス保管時のご注意

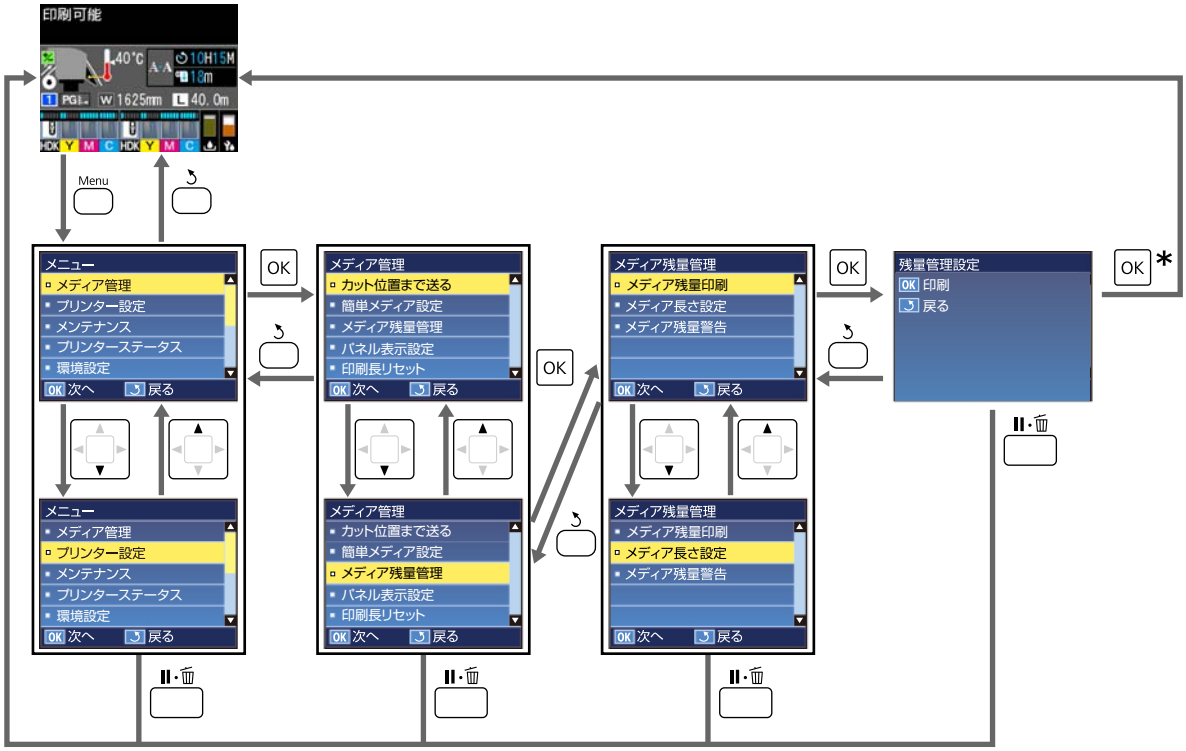
- 使用後は、グリスに異物が入らないように必ず蓋をしてください。
- 蓋を上に向けた状態で、直射日光を避けて常温で保管してください。



操作パネルのメニューの使い方

メニューの操作

メニューの操作は以下の通りです。



＊ 項目を選択して【OK】ボタンを押すと印刷や調整が実行される場合は、その処理が終了するとステータス表示画面に戻ります。
通常は、項目を選択して【OK】ボタンを押すと、選択を確定してひとつ前の画面に戻ります。

設定メニュー一覧

設定メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。

メディア管理

各項目の詳細 ☞「メディア管理メニュー」89 ページ

設定項目	設定値
カット位置まで送る	印刷終端をカッター溝まで送る
簡単メディア設定	新規メディア設定の簡単登録
パネル表示設定	メディア残量を表示、印刷長を表示
メディア残量管理	
メディア残量印刷	印刷
メディア長さ設定	OFF、1.0 ～ 600.0m
メディア残量警告	1～15m
印刷長リセット	
手動リセット	実行
自動リセット	OFF、ジョブごと
メディア設定変更	
現在の設定	
1～30（メディア設定番号）	
設定名の登録	22 文字以内（半角英数字・記号）
メディアタイプ	薄手、中薄、中厚、厚手、のり付き
メディア調整	
自動メディア送り調整	印刷
手動	
メディア送り調整	標準、100mm パターン印刷、250mm パターン印刷、500mm パターン印刷
ギャップ調整	印刷
高度な設定	
プラテンギャップ	1.6、2.0、2.5

設定項目	設定値
ヒーター/乾燥設定	
ヒーター温度設定	OFF、30℃～55℃
パスごとの乾燥時間	0～10 秒
空白のメディア送り	速い、標準、遅い、最も遅い
印刷後の乾燥送り	ON、OFF
乾燥ファン設定	ON、OFF
搬送テンション	Lv1 ～ Lv8
巻き取りテンション	自動、Lv1 ～ Lv9
吸着力	Lv0～Lv10
ヘッド移動量	データ幅、プリンター全幅、メディア幅
重ね描き回数	OFF、2～8 回
メディア送り速度制限	ON、OFF
加圧ローラー荷重	弱、中、強
斜行補正動作	ON、OFF
定期クリーニング頻度	
自動	
マニュアル設定	
印刷時間	
時間を入力	1～240 時間
実行タイミング	ページ間、印刷中
クリーニングレベル	弱、強
メディア使用量	
長さを入力	1～999
実行タイミング	ページ間、印刷中
クリーニングレベル	弱、強
OFF	
貼り付き防止	ON、OFF
ムラ低減調整	OFF、弱、中、強
設定初期化	はい、いいえ
メディア選択	1 ～ 30（メディア設定番号）

プリンター設定

各項目の詳細 「プリンター設定メニュー」93 ページ

設定項目	設定値
余白設定	
サイドマージン（右）	3～25mm
サイドマージン（左）	3～25mm
印刷開始位置	0～800mm
ページ間余白	標準、-10mm ～ +10mm
こすれ回避送り	ON、OFF
メディア検出設定	
メディア幅検出	ON、OFF
メディア終端検出	ON、OFF
斜行エラー検出	ON、OFF
メディア交換後の印刷動作	継続、打ち切り
ページ間ノズルチェック	
OFF	-
チェックパターン印刷	1～10
照明設定	自動、手動
ヘッドモード	2 ヘッドモード、Head1、Head2
スリープモード移行時間	15～240 分
チャージ設定	
自動チャージ時期延長	
対象のインクタンクを選択	ON、OFF
強制チャージ	
対象のインクタンクを選択	実行、戻る
非稼働時間クリーニング設定	
実行タイミング	OFF、1 ～ 240h
クリーニングレベル	弱、強
自動ヘッドメンテナンス頻度	20 ～ 400m
プリンター設定初期化	はい、いいえ

メンテナンス

各項目の詳細 「メンテナンスメニュー」96 ページ

設定項目	設定値
ノズルチェック	
印刷位置（右）	印刷 （設定項目に表示されるメニューは、［メディア幅検出］の設定やセットしているメディア幅によって異なります。）
印刷位置（中央）	
印刷位置（左）	
クリーニング	
クリーニング（弱）	全列クリーニング
クリーニング（強）	クリーニングする列を選択
予防クリーニング	実行、戻る
ヘッドメンテナンス	
自動ヘッドメンテナンス	実行
定期清掃	ヘッド移動
廃インクボトル交換	-
ヘッドクリーニングセット交換	-
その他のメンテナンス	
キャリッジ軸注油	はい、いいえ

プリンターステータス

メニューの詳細 「プリンターステータスメニュー」97 ページ

設定項目	設定値
ファームウェアバージョン	XXXXXXX,X_XX,XXXX

環境設定

メニューの詳細 「環境設定メニュー」97 ページ

設定項目	設定値
ネットワーク設定	
IP アドレス設定	
自動	-
パネル	IP：000.000.000.000 - 255.255.255.255 SM：000.000.000.000 - 255.255.255.255 DG：000.000.000.000 - 255.255.255.255
ネットワーク設定の印刷	印刷
ネットワーク設定初期化	はい、いいえ

設定項目	設定値
表示設定	
日時設定	年/月/日　時:分
表示言語/Language	日本語, English, French, Italian, German, Portuguese, Spanish, Dutch, Russian, Korean, Chinese, Turkish
単位設定	
長さ単位	m、ft/in
温度単位	℃、°F
警告ブザー設定	ON、OFF
アラートランプ設定	ON、OFF
全設定の初期化	はい、いいえ

設定メニューの説明

メディア管理メニュー

メディア管理メニューは、【⏎】ボタンを押して直接呼び出すことができます。
＊はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
カット位置まで送る		印刷終端をカット溝まで送り出します。
簡単メディア設定		メディアのサイズやタイプに合わせて最適な印刷ができるように、ウイザード形式でメディア設定を簡単に素早く登録できます。 ☞「新規にメディア設定を保存する」40 ページ
パネル表示設定		
メディア残量を表示		ステータス画面のメディア情報に表示する項目を選択します。 ［メディア残量を表示］選択時は、L アイコンに続き、ロールメディアの残りの長さが 0.1m 単位で表示されます。 ［印刷長を表示］選択時は、L アイコンに続き、ジョブごとに印刷した長さが 1m 単位表示されます。メディア送りボタンや、印刷後の乾燥送りなどで送られた分は加算されません。 ［メディア残量管理］で［メディア長さ設定］を［OFF］にすると、ステータス画面にメディア残量は表示されません。 印刷長は、次項の［印刷長リセット］で［自動リセット］を［OFF］にすると任意に［手動リセット］を実行するまで印刷長の累計値が表示されます。
印刷長を表示		
メディア残量管理		
メディア残量印刷	印刷	セットされているメディアを別のメディアと交換するときは、［メディア残量印刷］を行い交換するメディアに残量を印刷しておきます。次回そのメディアをセットした際にメディア長さの設定が確実にできて便利です。
メディア長さ設定	OFF 、 1.0 ～ 600.0m（120*）	セットしたメディアの全長を 1.0 ～ 600.0m の範囲で設定します。設定は 0.5m 単位で行えます。［OFF］を選択すると、以下の残量管理は行われません。 • ステータス画面にメディア残量を表示 • メディア残量警告のメッセージを表示
メディア残量警告	1～15m（5*）	メディアの残量がどのくらいになったら、警告を表示するか、その値を 1～15m の範囲で設定します。設定は 1m 単位で行えます。
印刷長リセット		
手動リセット		【OK】ボタンを押した時点で印刷長の値が 0 に戻ります。
自動リセット	OFF	印刷長の値を自動でリセットしない（［OFF］）/次のジョブの印刷開始時にリセットする（［ジョブごと］）を選択します。 ［OFF］選択時は、［手動リセット］を行うまでリセットしません。ただし、値が 9999 に達すると自動でリセットされ 0 に戻ります。 ［ジョブごと］選択時は、次のジョブの印刷開始時に 0 に戻りますので、ジョブごとの印刷長を確認できます。印刷中も、どこまで印刷が終わったか確認できます。
	ジョブごと*	

設定項目	設定値	説明
メディア設定変更		
現在の設定 1 ～ 30（メディア設定番号） XXXXXXXXXX（登録したユーザー用紙名が表示される）		現在選択しているメディア設定の内容を変更するときは、［現在の設定］を選択します。特定のメディア設定を変更するときは、対象のメディア設定番号を選択します。 設定内容は、以下をご覧ください。 ☞「メディア設定項目」90 ページ
メディア選択		
1 ～ 30（メディア設定番号） XXXXXXXXXX（登録したユーザー用紙名が表示される）		印刷で使用するメディア設定を選択します。 設定の新規登録は、［簡単メディア設定］を行うか、付属の Epson Control Dashboard で本機にメディア設定を登録します。 ☞「新規にメディア設定を保存する」40 ページ 設定内容の変更は、［メディア設定変更］で行います。

メディア設定項目

［簡単メディア設定］を行うか、付属の Epson Control Dashboard で本機にメディア設定を登録すると、最適なメディア設定値が設定されます。通常はそのままお使いください。特殊なメディアを使用するときや、印刷結果にヘッドこすれやバンディングのような問題が見られるときなどに設定を変更します。
以下の各項のメーカー設定値は、［メディアタイプ］で設定した内容により異なります。メディアタイプごとのメーカー設定値の詳細は、以下をご覧ください。
☞「メディアタイプごとのメディア設定値一覧」118 ページ

設定項目	設定値	説明
設定名の登録		保存するメディア設定に、半角英数字・記号 22 文字以内で名前を付けられます。区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。
メディアタイプ	薄手 中薄 中厚 厚手 のり付き	セットしたメディアに応じたメディアタイプを選択します。 本機は、メディアタイプに応じた最適なメディア設定値を保持しています。 メディアタイプを変更すると、現在のメディア設定番号に登録されている各メディア設定値が変更後のメディアタイプの値に変わります。 メディアタイプごとの坪量（g/m^2）の目安は以下の通りです。 薄手：60 以下 中薄：61～80 中厚：81～120 厚手：121 以上 のり付き：のり付きのメディアは、坪量にかかわらず［のり付き］を選択してください。
メディア調整		
自動メディア送り調整	印刷	以下の場合に実行します。 • 簡単メディア設定の自動メディア送り調整が終了してから、ギャップ調整を行うとき。 • Epson Control Dashboard で、ダウンロードした EMX ファイルのメディア設定値を本機に登録したとき。 • 一旦メディア調整を行った以降に、次のような事態が生じたとき。 • 自動メディア送り調整を行っても印刷結果にバンディングが見られるとき。 • 同じメディア種類でも幅の違うメディアを使用するとき。 • メディア設定を保存後に［高度な設定］を変更したとき。 調整の種類と実行手順 ☞「メディア調整」43 ページ
手動		
メディア送り調整		
標準	印刷	
100mm パターン印刷	印刷	
250mm パターン印刷	印刷	
500mm パターン印刷	印刷	
ギャップ調整	印刷	

設定項目	設定値	説明
高度な設定		
プラテンギャップ設定	1.6	プラテンギャップ（プリントヘッドとメディアの間隔）を変更します。 通常は、[2.0] のまま使用します。印刷結果がこすれて汚れるときは、[2.5] に設定すると改善されることがあります。ただし、むやみに設定すると、本機の内部がインクで汚れ印刷品質の低下や、本機の寿命に支障をきたすことがあります。
	2.0*	
	2.5	
ヒーター/乾燥設定		
ヒーター温度設定	OFF 、 30 ℃ ～ 55℃（50*）	ヒーターの温度設定ができます。
パスごとの乾燥時間	0～10 秒（0*）	プリントヘッドの移動（パス）を停止させてインクの乾燥を補助するための時間を 0.0～10.0 秒の範囲で設定します。インク濃度やメディアによっては、インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが起きるときは、乾燥時間を長めに設定してください。 時間を長く設定するほど、印刷時間が長くなります。 印刷幅が変わっても一定の乾燥時間を保ちたいときは、セットしているメディア幅に応じて以下の値に設定してください。 64 インチ：2.3 秒 52 インチ：2.0 秒 44 インチ：1.8 秒 42 インチ：1.7 秒 36 インチ：1.6 秒 24 インチ：1.3 秒
空白のメディア送り	速い	ジョブの中で印刷データが存在しない部分（空白エリア）があると、その部分はメディアが速く送られます。 ［速い］に設定すると、空白エリアをスキップします。このときインクが十分に乾燥されない場合は、印刷時のパス数に応じて以下の設定値を推奨します。 1～3 パス：[標準] 4 パス：[遅い] 6 パス以上：[最も遅い]
	標準*	
	遅い	
	最も遅い	
印刷後の乾燥送り	ON	印刷後、アフターヒーターの位置まで印刷終端部を送る（[ON]）/送らない（[OFF]）を選択します。 メディアをカット後、次の印刷をするときは［ON］が適しています。ただし、余白が大きくなります。
	OFF*	
搬送テンション	Lv1 ～ Lv8（Lv6*）	印刷中にメディアにしわが寄るときには、テンションを高めるように設定を変更してください。設定値を大きくするほどテンションが高くなります。
巻き取りテンション		
自動*	-	通常は［自動］で使用します。印刷中にメディアにしわが発生するときは［手動］に設定し、設定値を小さくすることをお勧めします。 巻き取ったメディアの裏側にインクが付着するときも同様に設定してください。厚いメディアがうまく巻き取れないときは、［手動］に設定し、設定値を大きくすることをお勧めします。設定値を大きくするほどテンションが高くなります。
手動	Lv1 ～ Lv9	
吸着力	0～10（8*）	プラテン上でメディアが波打っているときには、[吸着力] を強くしてください。設定値を大きくするほど吸着力が強くなります。 薄いメディアや柔らかいメディアで、印刷結果に粒状感やピントのズレが見られたり、正しくメディアが搬送できないと感じたりするときには［吸着力］を弱くしてください。

設定項目	設定値	説明
ヘッド移動量	データ幅*	印刷時にプリントヘッドが移動する範囲を以下の通り設定できます。 ［データ幅］:印刷データ幅の範囲でプリントヘッドが移動します。プリントヘッドの移動範囲が狭くなるため、印刷速度が向上します。 ［プリンター全幅］:本機の最大メディア幅の範囲でプリントヘッドが移動します。印刷品質が均一で、よりムラのない印刷品質をお求めのときは、こちらに設定します。 ［メディア幅］:セットしているメディア幅の範囲でプリントヘッドが移動します。
	プリンター全幅	
	メディア幅	
重ね描き回数	OFF*	1 行あたりの重ね描き回数を設定できます。 電飾フィルムなどに高濃度印刷したいときは、回数を増やしてください。
	2～8 回	
メディア送り速度制限	ON	通常は［OFF］のまま使用します。 薄いメディアを印刷中にメディアが張り付く、しわが寄る、破れるときは［ON］に設定します。 ［ON］に設定すると、印刷速度がゆっくりになります。
	OFF*	
加圧ローラー荷重	弱	印刷中に以下が発生したときは、加圧ローラー荷重を下げる方向（例:［中］ →［弱］）に変更すると解消できることがあります。 • 加圧ローラー付近にしわが寄るとき。 • ヘッドこすれによる汚れが付くとき。 • メディアにローラーの跡が付くとき。
	中*	
	強	
斜行補正動作	ON*	メディアセット時に本機が行う斜行補正動作を行う（［ON］）/行わない（［OFF］）を選択します。通常は、［ON］のまま使用します。斜行補正動作でメディアにローラーの痕が付くときは［OFF］に設定します。
	OFF	
定期クリーニング頻度		
自動		メディア設定に応じた最適なタイミングで定期的にヘッドクリーニングを行います。 印刷中に定期クリーニングのタイミングになったときは、印刷が終了してから行われます。
手動		印刷時間または メディア使用量で定期クリーニングの頻度を設定します。 ［印刷時間］選択時は、［時間を入力］で印刷時間の累計が何時間になったらヘッドクリーニングするかを設定します。 ［メディア使用量］選択時は、［長さを入力］で印刷や乾燥送りなどのメディア送りで使用されたメディアの長さが何メートルになったらヘッドクリーニングするかを設定します。 ［実行タイミング］は、定期クリーニングのタイミングになったときに印刷中でもヘッドクリーニングを実施するか、印刷中のページが終わり次のページの印刷が始まる前に実施するかを設定します。［印刷中］に設定すると、印刷途中でクリーニングが実施されるため印刷の乱れやヘッドこすれが生じることがあります。 ［クリーニングレベル］は、ヘッドクリーニングの強度を設定します。
印刷時間		
時間を入力	1～240 時間	
実行タイミング	ページ間	
	印刷中	
クリーニングレベル	弱	
	強	
メディア使用量		
長さを入力	1～999	
実行タイミング	ページ間	
	印刷中	
クリーニングレベル	弱	
	強	
OFF*		定期クリーニングは自動、手動とも行われません。

設定項目	設定値	説明
貼り付き防止	ON	本機の電源を入れたときや印刷開始時などにメディアの貼り付き防止動作を実行する（[ON]）/しない（[OFF]）を選択します。 通常は、[OFF] のまま使用します。メディアの種類によっては、プラテンに貼り付きやすいものがあります。メディアがプラテンに貼り付いた状態で動作を開始すると、メディアが正常に送られずメディア詰まりの原因となります。そのときは、[ON] に設定しくてください。[ON] に設定すると、動作時間が長くなります。
	OFF*	
ムラ低減調整	OFF*	通常は、OFF のまま使用します。 印刷結果に縦や斜め方向の濃淡ムラが発生したときに設定すると、ムラが目立たなくなることがあります。
	弱	
	中	
	強	
設定初期化	はい	[はい] を選択すると、選択したメディア設定の設定内容をメーカー設定値に戻します。
	いいえ	

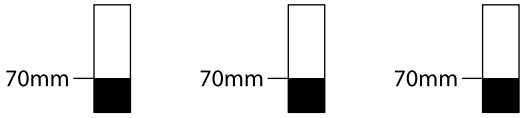
プリンター設定メニュー

＊はメーカー設定値です。

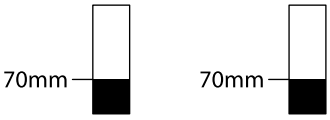
設定項目	設定値	説明
余白設定		
サイドマージン（右）	3～25 mm （5*）	本機にメディアをセットしたときの、メディア右端からの余白を設定します。詳細は以下をご覧ください。 ☞「印刷可能領域」48 ページ
サイドマージン（左）	3～25 mm （5*）	本機にメディアをセットしたときの、メディア左端からの余白を設定します。詳細は以下をご覧ください。 ☞「印刷可能領域」48 ページ
印刷開始位置	0～800mm （0*）	メディア幅の中央よりに印刷したいなど、[サイドマージン（右）] の設定値よりも左に寄せて印刷したいときなどに設定します。メディア右端から［印刷開始位置］で設定した値が余白となります。[サイドマージン（右）] を設定していると、そこからさらに［サイドマージン（右）］で設定した値が余白となります。詳細は以下をご覧ください。 ☞「印刷可能領域」48 ページ
ページ間余白		
標準*	-	印刷ページ間の余白を詰めることができます。一度補正を実施してもお使いのメディアや環境によっては、余白の大きさが変わることがあります。 +方向の数値を大きくすると余白が大きくなり、-方向の数値を小さくすると余白が小さくなります。 ☞「印刷可能領域」48 ページ
余白なし	-10mm ～ +10mm	
こすれ回避送り	ON	通常は［OFF］のまま使用します。 メディアを放置してヒーター上に発生したしわが原因でプリントヘッドがこすれるときは［ON］に設定します。 ［ON］にすると、ジョブの印刷が連続しないときにメディアを 200mm 送り、しわの部分を避けて印刷します。以下の場合は［ON］にしても送りません。 • ジョブを連続して印刷するとき。 • [ページ間余白] を［余白なし］に設定しているとき。
	OFF*	

設定項目	設定値	説明
メディア検出設定		
メディア幅検出	ON*	メディア幅を検出する（[ON]）/しない（[OFF]）を選択します。メディアを正しくセットしていても、［メディアサイズエラー］が表示されるときは［OFF］に設定して印刷してみてください。ただし、［OFF］で印刷するとメディア外に印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。通常は［ON］で使用することをお勧めします。 変更した設定は、メディアをセットし直すと反映されます。
	OFF	
メディア終端検出	ON*	メディア終端を検出する（[ON]）/しない（[OFF]）を選択します。メディアを正しくセットしていても、［メディアなしエラー］が表示されるときは［OFF］に設定して印刷してみてください。通常は［ON］で使用することをお勧めします。
	OFF	
斜行エラー検出	ON*	メディアが斜めにセットされたときに、操作パネルの画面にエラーを表示して印刷を中止する（[ON]）/中止せずに続行する（[OFF]）を選択します。斜めにセットされると、メディア詰まりの原因となりますので、通常は［ON］で使用することをお勧めします。
	OFF	
メディア交換後の印刷動作	継続*	印刷途中でメディアを交換したとき、交換後のメディアに残りのデータを印刷する（[継続]）/印刷しない（[打ち切り]）を選択します。
	打ち切り	
ページ間ノズルチェック		
OFF	-	定期的に行うノズルチェックを設定します。 ［OFF］にするとページ間ノズルチェックは行いません。 ［チェックパターン印刷］は、設定したページ数の印刷が終了するたびに、チェックパターンの印刷を挟んで次ページを印刷します。全ての印刷終了後にチェックパターンを目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷にかすれや欠けがないかを判断します。
チェックパターン印刷	1～10 (1*)	
照明設定	自動*	前面カバー内にある照明の点灯/消灯を自動で行う（[自動]）/必要に応じてパネルのボタン操作で行う（[手動]）かを選択します。 ［自動］は、印刷中など照明が必要な動作になると自動で点灯し、動作が終了すると消灯します。 ［手動］は、操作パネルの【☼】ボタンを押して点灯/消灯を操作します。点灯不可の動作中にボタンを押したときは、点灯可能になってから点灯します。
	手動	
ヘッドモード	2 ヘッドモード*	通常は［2 ヘッドモード］のまま使用します。 片方のプリントヘッドにノズルの目詰まりが発生し、ヘッドクリーニングを繰り返しても目詰まりが解消されないときなどに、目詰まりしていないプリントヘッドで印刷を継続できます。作業時間内は印刷を中断せずに、作業時間後に［自動ヘッドメンテナンス］などのメンテナンスを行うときなどに便利です。 ［ノズルチェック］で印刷したチェックパターンを確認して、目詰まりしていない方のプリントヘッドを選択します。
	Head1	
	Head2	
スリープモード移行時間	15～240 分(15*)	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信がない状態が続いたとき、スリープモードに移行します。スリープモードになると、ヒーターがオフになり、操作パネルの画面表示が消え、内部のモーター等がオフになり消費電力が抑えられます。 操作パネルのボタン操作（【⏻】ボタンを除く）をすると、操作パネルの画面表示が復帰します。ただし、この状態でまた何も操作しないと約 30 秒後に再び画面表示は消えます。完全にスリープモードが解除され通常の状態に復帰するのは、印刷ジョブを受信したり、メディアセットレバーを操作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をしたときです。 スリープモードを解除して、すぐにヒーターの余熱を開始したいときは、【🌡】ボタンを押して［ヒーター予熱開始］を実行します。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定値</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="3">チャージ設定</td></tr>
<tr><td>自動チャージ時間延長</td><td></td><td rowspan="3">チップユニットを予約して使い続けるうちに、インクの補充時期（インクがインクタンクの底面から 70mm になる時期）と画面の推定インク残量を示すインジケーターの状態にズレが生じたときは、以下の設定を行うとズレを修正できます。
インク補充時期にインジケーターの目盛りが 2 つ以上減っているとき（下図参照）は、［ON］に設定します。
インジケーター

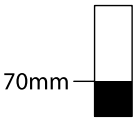
インクタンク
 

インク補充時期にインジケーターの目盛りが満杯か 1 つ減っている状態（下図参照）になったら［OFF］に設定します。
インジケーター

インクタンク
 

［ON］のまま使い続けると［強制チャージ］が必要になることがあります。

インク補充時期にインジケーターの目盛りが 1 つ残っているときは、本設定では修正できません。次項の［強制チャージ］を行ってください。</td></tr>
<tr><td>対象のインクタンクを選択</td><td>ON</td></tr>
<tr><td></td><td>OFF*</td></tr>
<tr><td>強制チャージ</td><td></td><td rowspan="2">チップユニットを予約して使い続けるうちに、インク補充時期にインジケーターの目盛りが 1 つ残っている状態（下図参照）のズレが生じたときに行います。
インジケーター

インクタンク
 

本設定は、事前に新品のチップユニットを対象のインクタンクのスライダーにセットして本機に装着してから行ってください。本設定で対象インクタンクを選択して【OK】ボタンを押すとチャージが廃棄されて、事前に装着したチップユニットから新たにチャージされます。廃棄したチャージは、再チャージなど元に戻すことはできません。
本設定は、インジケーターの目盛りが 2 つ以上ある状態では実施できません。</td></tr>
<tr><td>対象のインクタンクを選択</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">非稼働時間クリーニング設定</td></tr>
<tr><td>実行タイミング</td><td>OFF、1 ～ 240h（72*）</td><td rowspan="3">本機が非稼働中に、定期的にヘッドクリーニングをするタイミングを設定します。
［OFF］にすると、ヘッドクリーニングは行われません。
［クリーニングレベル］は、ヘッドクリーニングの強度を設定します。</td></tr>
<tr><td>クリーニングレベル</td><td>弱</td></tr>
<tr><td></td><td>強*</td></tr>
<tr><td>自動ヘッドメンテナンス頻度</td><td>20～400m (400*)</td><td>印刷したメディアの長さの累計が本設定の設定値に達すると自動で、自動ヘッドメンテナンスが行われます。印刷中に設定値の長さに達したときは、次回印刷開始前に自動ヘッドメンテナンスが行われます。</td></tr>
</table>

設定項目	設定値	説明
プリンター設定初期化	はい	［はい］を選択すると、［プリンター設定］メニューの各設定値をメーカー設定値に戻します。
	いいえ	

メンテナンスメニュー

メンテナンスメニューは、【🖨】ボタンを押して直接呼び出すことができます。

設定項目	設定値	説明
ノズルチェック		
印刷位置（右）	印刷	チェックパターンが印刷されます。印刷されたチェックパターンを目視で確認し、かすれや欠けがあるときはヘッドクリーニングを行います。 ☞「チェックパターンの印刷方法」76 ページ 設定項目に表示されるメニューは、［メディア幅検出］の設定やセットしているメディア幅によって異なります。
印刷位置（中央）		
印刷位置（左）		
クリーニング		
クリーニング(弱)		ヘッドクリーニングのレベルを、2 種類から設定できます。 最初は、［クリーニング（弱）］を行います。［クリーニング（弱）］を行っても、目詰まりが解消されないときは、［クリーニング（強）］を行います。 ［クリーニング（強）］選択時は、印刷したチェックパターンでかすれや欠けがあるパターンの番号を確認し、その番号が含まれているノズル列を指定してヘッドクリーニングできます。 ☞「ヘッドクリーニング」76 ページ
全列クリーニング		
クリーニング(強)		
クリーニングする列を選択	Head1 XX/XX Head2 XX/XX 選択を決定し、実行（XX にはインク色の略号が表示されます。）	
予防クリーニング	実行	操作パネルの画面に表示された、定期/自動クリーニングの実施時期予告から作業途中でヘッドクリーニングが実施されると想定されるときは、事前に本設定を行うことでヘッドクリーニングによる中断を防ぎ、計画的に作業を進められます。 本設定を実施すると、操作パネルの画面の定期/自動クリーニングの実施時期予告も解除されます。 ［クリーニング（強）］を実施したときも、定期/自動クリーニング実施時期予告が解除されることがあります。
ヘッドメンテナンス		
自動ヘッドメンテナンス	実行	ヘッドクリーニングを行っても、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちが解消されないときに行います。 ☞『操作ガイド』(冊子/PDF)
定期清掃	ヘッド移動	1 ヵ月に 1 回以上、または操作パネルの画面に、［マニュアルをご覧になり、定期清掃を行ってください。］と表示されたときに行います。 ☞「定期清掃の仕方」56 ページ
廃インクボトル交換		操作パネルの画面に、廃インクボトルの交換時期を示すメッセージが表示される前に廃インクボトルを交換するときは、このメニューから行います。
ヘッドクリーニングセット交換		操作パネルの画面に、ヘッドクリーニングセットの交換時期を示すメッセージが表示される前にヘッドクリーニングセットを交換するときは、このメニューから行います。

設定項目	設定値	説明
その他のメンテナンス		
キャリッジ軸注油	はい いいえ	操作パネルの画面に、[注油時期です。マニュアルを参照し専用のグリスを塗ってください] と表示されたときは、このメニューから [はい] を選択して注油してください。 ☞「キャリッジ軸へのグリスの塗布」78 ページ

プリンターステータスメニュー

設定項目	設定値	説明
ファームウェアバージョン	XXXXXXX,X_XX,XXXX	本機のファームウェアバージョンを表示します。

環境設定メニュー

＊はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
ネットワーク設定		
IP アドレス設定		
自動	-	IP アドレスの設定を DHCP を使用して行う（[自動]）/手動で行う（[パネル]）を選択します。[パネル] では、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。それぞれの値は、システム管理者にお尋ねください。
パネル	IP：XXX.XXX.XXX.XXX	
	SM：XXX.XXX.XXX.XXX	
	DG：XXX.XXX.XXX.XXX	
ネットワーク設定の印刷	印刷	現在のネットワーク設定の一覧を印刷します。ネットワーク設定の個々の情報を一括して確認できます。
ネットワーク設定初期化	はい いいえ	[はい] を選択すると、ネットワーク設定メニューの各設定値をメーカー設定値に戻します。
表示設定		
日時設定	年/月/日　時：分	内蔵時計の日時を設定します。ここで設定した時間は、ジョブ履歴や Epson Control Dashboard でプリンターステータスを表示させるときに使用されます。

設定項目	設定値	説明
表示言語/Language	日本語*	操作パネルの画面の表記言語を設定します。
	English	
	French	
	Italian	
	German	
	Portuguese	
	Spanish	
	Dutch	
	Russian	
	Korean	
	Chinese	
	Turkish	
単位設定		
長さ単位	m*	操作パネルの画面の表記やパターン印刷時に使用する長さの単位を設定します。
	ft/in	
温度単位	℃*	操作パネルの画面の表記で使用する温度の単位を設定します。
	°F	
警告ブザー設定	ON*	エラーが発生したときに、ブザー音を鳴らす（[ON]）/鳴らさない（[OFF]）を設定します。
	OFF	
アラートランプ設定	ON*	エラーが発生したときに、大型アラートランプを点灯する（[ON]）/点灯しない（[OFF]）を設定します。
	OFF	
全設定初期化	はい	［はい］を選択すると、[表示設定]の各項目を除く環境設定メニューの全設定をメーカー設定値に戻します。
	いいえ	

困ったときは

メッセージが表示されたとき

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
空の廃インクボトルを準備してください。	廃インクボトルの空き容量が残り少なくなりました。新しい廃インクボトルを用意してください。 ☞「消耗品とオプション」107 ページ
チップユニットエラー 正しく認識できません。 チップユニットを交換してください。	• 以下のどれかの状態です。チップユニットをセットし直すか、正しいチップユニットと交換してください。 • チップユニットが正しく装着されていない。 • インクタンクと異なる色のインクパックのチップユニットを装着している。 • 本機で非対応のインクパックのチップユニットを装着している。 • 結露している可能性があります。4 時間以上室温で放置してから装着し直してください。 ☞「インクパック・インクタンク取り扱い上のご注意」16 ページ
チップユニットエラー 正しく認識できません。 チップユニットを取り外すか、交換してください。	
チップユニットエラー 正しく認識できません。インクパック上の対応製品名を確認してから注入しましたか?	
チップユニットエラー 本機に対応したチップユニットと交換してください。	
インク残量を確認してください。 チップユニットを交換しないと、印刷が一時停止します。	インクが残り少なくなっています。速やかに次の 2 点を対応してください。 • 対象の色の新しいインクパックをお手元に用意する。 ☞「消耗品とオプション」107 ページ • インク残量を確認してインクタンクの底面から 70mm 以下になったら、チップユニットの交換とインクの補充を行う。 ☞「インク補充の手順」62 ページ
ウォーミングアップ中 OK で強制印刷をします。	ヒーターの温度が設定した温度に達していないため、ウォーミングアップしています。ヒーター温度が低くても印刷を開始するときは【OK】ボタンを押してください。
ノズル目詰まり検出 クリーニングをお勧めします。	印刷結果を確認いただき、目詰まりの度合いが問題であれば、印刷を中止してヘッドクリーニングを行ってください。 ☞「ヘッドクリーニング」76 ページ
ファームウェア アップデート エラー アップデートに失敗しました。 電源を入れ直してください。	電源を切り、しばらくたってから電源を入れてください。 Epson Control Dashboard で、再びファームウェアをアップデートしてください。 再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。
ヘッドの寿命が近づいています。	プリントヘッドの交換時期が近づきました。 お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。
巻取りユニットが停止しました。	自動巻取りユニットに正しくメディアが取り付けられていません。 【⏸/🗑】ボタンを押して［ジョブキャンセル］を選択して印刷を中止してください。 自動巻取りユニットの Auto スイッチを一旦 Off にしてから、元の設定に戻して、自動巻取りユニットにメディアを取り付けてください。 ☞「外巻きでの巻き取り方」35 ページ ☞「内巻きでの巻き取り方」33 ページ

メッセージ	対処方法
機内温度上昇 室温を下げてください。	室内の温度を、「仕様一覧」に記載の温度範囲まで下げてください。 ☞「仕様一覧」121 ページ
機内温度上昇 電源を切り十分に冷めるまで待って、電源を入れ直してください。	本機の電源を切って、室内の温度を「仕様一覧」に記載の温度範囲まで下げてください。 室温が下がったら、本機の電源を入れます。 温度が下がりきらないうちは、電源を入れても同じエラーが発生します。 ☞「仕様一覧」121 ページ
メディアサイズエラー 正しいサイズのメディアをセットしてください。	不適切な幅のメディアをセットしました。メディアセットレバーを上げて、メディアを取り除いてください。 本機で使用可能な最小メディア幅は 300mm です。それ以上の幅のメディアをセットしてください。 適切な幅のメディアをセットしているにもかかわらずエラーメッセージが表示されるときは、設定メニューの［メディア幅検出］を［OFF］にすると印刷を実行できることがあります。 ☞「プリンター設定メニュー」93 ページ
メディア読み取りエラー メディアまたはセンサーに問題があります。 エラーの対処はマニュアルをご覧ください。 メディア読み取りエラー エラーの対処はマニュアルをご覧ください。 手動調整を実行しますか？	【II·🗑】ボタンを押すと、エラーが解除されます。 簡単メディア設定の自動メディア送り調整や［メディア調整］の自動メディア送り調整は、以下のメディアや設定、環境では実行できません。 • 表面が凸凹したメディア • にじみが多いメディア • メディア設定で［プラテンギャップ設定］を［2.5］に設定している。 • 直射日光が当たるなど外乱光の影響を受ける場所で本機を使用している。 このようなときは、手動メニューを実行してください。 ☞「メディア調整」43 ページ 外乱光の影響を受けているときは、遮光して再度実行すると成功することがあります。遮光しても実行できなかったときは、手動メニューを実行してください。 簡単メディア設定やメディア調整の自動メディア送り調整実行時で上記に該当しないときは、こんなときには（オンラインマニュアル）をご覧ください。
ロール巻き仕様設定エラー メディアセットレバーをセットし直して、ロール巻き仕様設定をメディアの仕様に合わせて変更してください。	• メディアセット時に設定した［ロール巻き仕様設定］は、実際の巻き仕様と一致していますか？ メディアセットレバーを上げるとエラーが解除されます。再度メディアセットレバーを下げ、本機の画面の指示に従って［ロール巻き仕様設定］を正しく設定し直してください。
マニュアルをご覧になり定期清掃を行ってください。	1 ヵ月以上定期清掃を行わないと、このメッセージが表示されます。そのまま使い続けると、インクのボタ落ちやノズルの目詰まりが発生したり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。 ☞「定期清掃の仕方」56 ページ

メンテナンスコール/サービスコールが発生したときは

エラーメッセージ	対処方法
メンテナンスコール 部品寿命間近/部品寿命到達　XXXXXXXX	本機の交換部品の交換時期が近付きました。 すぐにお買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」（メンテナンスコール番号）を必ず伝えてください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☞「お問い合わせ先」125 ページ メンテナンスコールは部品を交換しないと解除されません。そのまま使い続けると、サービスコールが発生します。

エラーメッセージ	対処方法
サービスコール XXXX 系エラー　XXXX 電源を入れ直しても復帰しないときは、上記番号をサービスコールセンターに連絡してください。	サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。 • 電源コードが正しく接続されていないとき • 解除できないエラーが発生したとき サービスコールが発生すると、本機は自動的に印刷を停止します。電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機の電源を数回入れ直します。 再び同じ番号のサービスコールが表示されるときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXX」（サービスコール番号）を必ず伝えてください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☞「お問い合わせ先」125 ページ

トラブルシューティング

印刷できない（プリンターが動かない）

電源が入らない

■ **電源プラグがコンセントまたは本機から抜けていませんか？**
差し込みが浅くないか、斜めになっていないかを確認し、しっかりと差し込んでください。

■ **電源コンセントに問題がありませんか？**
ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

プリンターとコンピューターの接続に異常がある

■ **ケーブルが外れていませんか？**
プリンター側のコネクターとコンピューター側のコネクターにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

■ **コンピューターの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか？**
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピューターの種類や本機の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。
☞「仕様一覧」121 ページ

■ **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？**
USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機はコンピューターに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いのハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB ポートに USB ケーブルを直接接続してください。

■ **USB ハブが正しく認識されていますか？**
コンピューターで USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピューターの USB ポートから、USB ハブを全て外してから、本機の USB ポートとコンピューターの USB ポートに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境下で印刷ができない

■ **ネットワークの設定は正しいですか？**
ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

■ **本機とコンピューターを USB 接続して、印刷してみてください。**
USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの環境に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムのマニュアルをご覧ください。USB 接続で印刷ができないときは、本書の該当項目をご覧ください。

プリンター側でエラーが発生している

■ **操作パネルのランプ表示と画面のメッセージで確認します。**
☞「操作パネル」10 ページ
☞「メッセージが表示されたとき」99 ページ

プリンターは動くが印刷されない

プリントヘッドは動くが印刷しない

■ **本機の動作確認をしてください。**
チェックパターンを印刷してください。チェックパターンはコンピューターと接続していない状態で印刷できるため、本機の動作や印刷状態を確認できます。
☞「チェックパターンの印刷方法」76 ページ
チェックパターンが正しく印刷されなかったときは、次項をご確認ください。

チェックパターンが正常に印刷できない

■ **ヘッドクリーニングを行ってください。**
ノズルが目詰まりしている可能性があります。ヘッドクリーニングを行ってから再度チェックパターンを印刷してください。
☞「ヘッドクリーニング」76 ページ

■ **本機を長期間使用していなかったのではありませんか？**
本機を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。本機を長期間使用しなかったときの処置 ☞「使用しないときのご注意」16 ページ

印刷品質/印刷結果のトラブル

印刷品質が悪い/ムラがある/薄い/濃い/粒状感が目立つ/色みが異なる

■ **プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？**
プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。チェックパターンを印刷してみてください。
☞「チェックパターンの印刷方法」76 ページ

■ **ギャップ調整をしてください。**
プリントヘッドとメディアの間には、わずかな距離があるため、温度や湿度、プリントヘッドの移動による慣性力、プリントヘッドの移動方向の違い（右から左と左から右）、2 つのプリントヘッド使用などによって、各インクの着弾位置が合わなくなることがあります。その結果、粒状感が目立ったりピントのズレが生じたような印刷結果になることがあります。
メディア設定の［メディア調整］-［ギャップ調整］を行って印刷時のプリントヘッドのズレを調整してください。
☞「ギャップ調整」45 ページ

■ **メディア送り調整をしてください。**
メディア送り量が大きくずれると、印刷結果にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が発生します。メディア設定の［メディア調整］-［メディア送り調整］を行って使用するメディアに応じた調整を行ってください。
☞「メディア送り調整」44 ページ

■ **インクパックは推奨品（当社純正品）を使用していますか？**
本機は、純正インクの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インク残量が正常に検出できなくなったりして色合いが変わることがあります。必ず正しいインクパックを使用してください。

■ **古くなったインクを使用していませんか？**
古くなったインクを使用すると、印刷品質が悪くなります。インクは、インクパックに記載された推奨使用期限か、インクタンクに補充した日から 25 日以内に使い切ってください。

■ **ヒーターの温度は適切ですか？**
印刷がにじんで汚れたり、インクがだまになったりするときは、ヒーターの温度を上げます。ただし、温度を高くしすぎると、メディアが縮んでしわが寄ったり、変質したりします。
なお、室温が低いとヒーターが設定温度まで達するのに時間がかかることがあります。また、ヒーターは温まっていても、メディアが冷えすぎているとヒーターの効果が出ないことがあります。メディアを室温になじませてから使用してください。

■ **メディア選択は正しいですか？**
ソフトウェア RIP の設定または本機のメディア選択が実際に印刷するメディアと合っているか確認してください。

■ **［ヘッド移動量］を［データ幅］に設定して印刷していませんか？**
設定メニューで［ヘッド移動量］を［データ幅］に設定すると、速度と引き替えに印刷品質が多少低下することがあります。より高品質な印刷を行うときは、［ヘッド移動量］を［プリンター全幅］に設定してください。
☞「プリンター設定メニュー」93 ページ

■ **ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？**
ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

■ **印刷中にカバーを開けませんでしたか？**
印刷中に前面カバーやメンテナンスカバーを開けると、プリントヘッドが緊急停止するために濃淡ムラが発生します。印刷中はカバーを開けないでください。

印刷位置がずれる/はみ出す

■ **メディアのセット位置やマージンの設定は正しいですか？**
メディアを正しくセットしていないと印刷位置がずれたり、データの一部が印刷されなかったりします。また、設定メニューの［サイドマージン］や［印刷開始位置］の設定が適切かを確認してください。
☞「メディアのセット方法」23 ページ
☞「プリンター設定メニュー」93 ページ

■ **メディアが斜行していませんか？**
設定メニューの［斜行エラー検出］が［OFF］になっているとメディアが斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。設定メニューで［斜行エラー検出］を［ON］に設定してください。
☞「プリンター設定メニュー」93 ページ

■ **印刷データはメディア幅に納まっていますか？**
印刷イメージがメディア幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、設定メニューの［メディア幅検出］が［OFF］になっているとメディア幅を超えて印刷してしまいます。設定メニューで［メディア幅検出］を［ON］に設定してください。
☞「プリンター設定メニュー」93 ページ

罫線が左右にガタガタになる

■ **メディアが波打っていませんか？**
メディアによっては使用環境（温度や湿度）により、本機にセットしたままにしていると波打つことがあります。メディアが波打ったときは、操作パネルの【▼】ボタンを押してメディアを送り、波打っている部分を避けて印刷してください。メディアが波打つのを避けるために、温度と湿度を下げることをお勧めします。

■ **プリントヘッドにズレ（ギャップ）が生じていませんか？**
プリントヘッドのズレ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。縦の罫線がずれるときは、メディア設定の［メディア調整］-［ギャップ調整］を行って印刷時のプリントヘッドのズレを調整してください。
☞「ギャップ調整」45 ページ

メディアのトラブル

メディア詰まりが起きる

■ **メディアにカールや折れ、曲がり、しわ、波打ちが見られませんか？**
カールやしわ、波打ち、折れ曲がった部分をカットし、取り除いてお使いください。
☞「メディアのカット」38 ページ

■ **メディアは、印刷直前にセットしましたか？**
メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付いたり、メディアが波打ったり、反ったりします。

■ **メディアが厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？**
- 本機で使用できる仕様のメディアか確認してください。
☞「使用可能なメディア」108 ページ
- ソフトウェア RIP を使用して印刷するときの設定方法は、RIP の製造元にお問い合わせください。

■ **吸着力が強くないですか？**
メディア設定で吸着力（メディア経路にメディアを吸着する力）を下げてみてください。
☞「メディア設定項目」90 ページ

メディアが終了しても印刷が停止しない

■ **本機がメディア終了を検知する設定項目が［OFF］になっていませんか？**
プリンター設定メニューの［メディア終端検出］の設定を［OFF］にしていると、メディアの終了を検知できません。
☞「プリンター設定メニュー」93 ページ

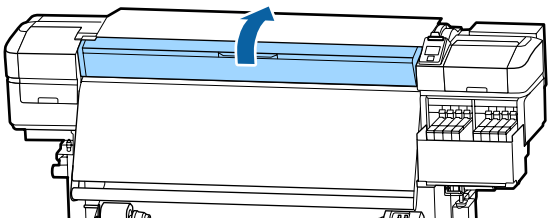
詰まったメディアの取り除き方

以下の手順で詰まったメディアを取り除いてください。

⚠注 意
前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

1 **本機の電源を切ります。**
画面にメッセージが表示され、電源が切れないときは電源プラグを 2 つとも、コンセントから抜いてください。

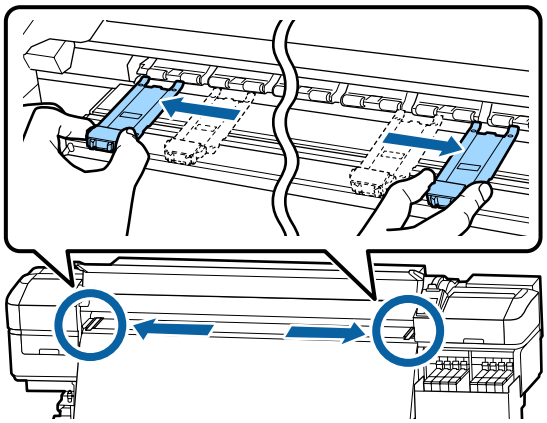
2 **前面カバーを開けます。**



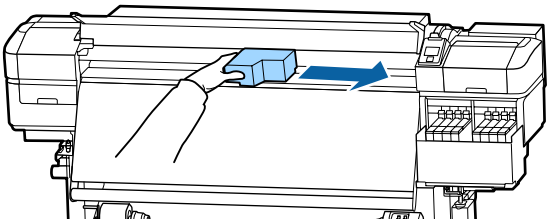
3 メディア押さえ板のツマミを両側から押さえながらプラテンの左右両端へ移動します。

重要

メディア押さえ板が変形したときは、本機の使用を停止してください。メディア押さえ板が変形したまま使い続けると、加圧ローラーやプリントヘッドが損傷する原因となります。
お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにお問い合わせください。
☞「お問い合わせ先」125 ページ



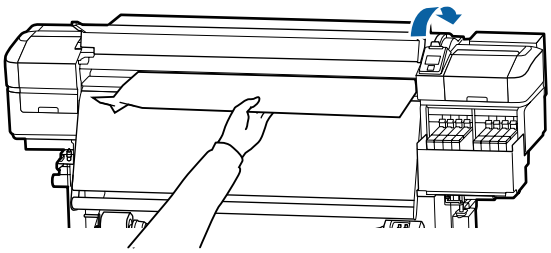
4 プリントヘッドがメディア上にあるときは、メディアが詰まっていない方に移動します。



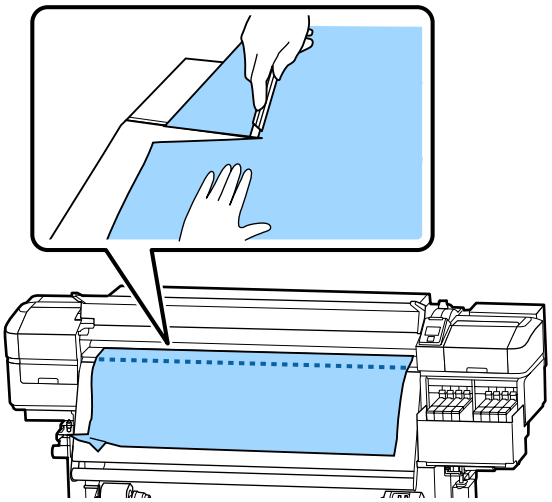
重要

プリントヘッドは、必ずメディア押さえ板を退避させてから移動してください。変形したメディア押さえ板にプリントヘッドが触れると、プリントヘッドが損傷することがあります。

5 メディアセットレバーを上げます。



6 メディアをカッター溝まで引き出し、破れたりしわになっている部分をカッターでカットします。



7 切り離したメディアを手で巻き戻します。

8 メディアの一部がプリンター内に残っているときは、取り除きます。

9 本機の電源を入れます。

重要

電源を切った状態で放置すると、プリントヘッドがキャッピングされていないために乾燥して目詰まりを起こし、印刷再開時に正しく印刷できません。
電源を入れると、自動的にキャッピングが行われます。

メディアをセットし直して印刷を再開してください。
☞「メディアのセット方法」23 ページ

印刷開始時にメディアが外れてしまう

■ **［印刷後の乾燥送り］を［短い・巻き戻す］、［長い・巻き戻す］に設定し、メディアを途中でカットしていませんか？**

印刷終了後のメディアをそのままの位置でカットすると、次回の印刷開始時にメディアが巻き戻されて加圧ローラーから外れるため正しく印刷できません。
印刷終了後にカットするときは、【▲】ボタンを押し続けて印刷終端部をカッター溝まで戻してからカットしてください。

その他

チャージ状態の表示とインク補充時期がズレる

■ **使用環境および使用状態によりズレることがあります。**
［プリンター設定］メニューの［チャージ設定］を実施することで、ズレを解消できることがあります。詳細は以下をご覧ください。
☞「プリンター設定メニュー」93 ページ
［チャージ設定］を実施しても解消されないときは、チップユニットを予約しないで使い続けてズレを解消してください。

自動的にヒーターが OFF になる

■ 本機にエラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信が何も行われない状態が続いたときは、ヒーターがオフになります。ヒーターを OFF に移行するまでの時間は、設定メニューの［スリープモード移行時間］で変更できます。☞「プリンター設定メニュー」93 ページ
印刷ジョブを受け付けたり、メディアセットレバーを操作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をするとヒーターは復帰します。

操作パネルの画面表示が消える

■ **スリープモードになっていませんか？**
設定メニューの［スリープモード移行時間］で設定している時間を超えて本機で作業しないとスリープモードになります。スリープモードに移行する時間はプリンター設定メニューで変更できます。
☞「プリンター設定メニュー」93 ページ
印刷ジョブを受け付けたり、メディアセットレバーを操作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をするとヒーターが復帰し、連動してスリープモードも解除されます。

ネットワーク設定保護のパスワードを忘れた

■ **エプソンサービスコールセンターにご相談ください。**
☞「お問い合わせ先」125 ページ

本体内部が赤く光っている

■ **この状態は故障ではありません。**
プリンター内部のランプです。

お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくと解消できることがあります。

エプソンのホームページの Q&A

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）では最新のファームウェアのバージョンアップ情報を提供しています。
ファームウェアのアップデートは Epson Control Dashboard で簡単に行えます。詳細は Epson Control Dashboard のヘルプをご覧ください。

トラブルが解消されないときは

オンラインマニュアルの「こんなときには」や本書の「困ったときは」やエプソンのホームページで確認をしても、トラブルが解消されないときは、本機の動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先に連絡ください。
☞「サービス・サポートのご案内」123 ページ

付録

最新の情報は、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）をご覧ください。（2017 年 5 月現在）

消耗品とオプション

プリンター型番	商品名		型番
SC-F9350	インクパック	高濃度ブラック	SC5HDK100P
		シアン	SC5C100P
		マゼンタ	SC5M100P
		イエロー	SC5Y100P

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

商品名	型番	備考
ヘッドクリーニングセット	SC5HCS	以下のメンテナンス用消耗品がセットになっています。 • ワイパーユニット（1 個） • フラッシング用吸収材（1 個） • 手袋（2 枚）
メンテナンスキット	SC5MKIT3	以下のメンテナンス用消耗品がセットになっています。 • インククリーナー（1 個） • カップ（1 個） • 手袋（12 枚） • クリーニング棒（25 本）
廃インクボトル	SC2WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。
クリーニング棒	SC2CS	製品付属のメンテナンスキットに付属のものと同等品です。
クリーンルーム用ワイパー	SC2CRW	

使用可能なメディア

本機で使用できるメディアの仕様は、以下の通りです。メディアの種類および品質は、印刷結果に大きく影響します。用途に合った適切なメディアをお使いください。また、使用の際の注意事項はそのメディアに付属のマニュアルをご覧になるか、メーカーに詳細をお問い合わせください。メディアを大量に購入する際は、事前にそのメディアに印刷したときの仕上がり具合を確認しておくことをお勧めします。

⚠注意

メディアは重いので、1 人で運ばないでください。
40kg 以上のメディアは、リフターの使用をお勧めします。

!重要

しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるメディアは使用しないでください。

ロールメディア

紙管サイズ（芯径）	2 インチ、3 インチ
ロール外径	最大 250mm
メディア幅	300～1626mm（64 インチ）
メディア厚さ	最小 0.04mm～最大 1.00mm
ロール重量	最大 45kg*

* 40Kg 以上のメディアをリフターを使ってセットする際に使用可能なリフターの仕様は、次の通りです。
・フォークや台の厚み：28mm 以下
・フォークや台の面が床から約 190mm まで下げられる。

移動と輸送

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明します。

移動の方法

ここでは、段差のない同一フロア内を移動する方法を説明します。別の階や建物に移動する方法は、以下をご覧ください。
☞「輸送の方法」109 ページ

⚠注意

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。

移動の準備

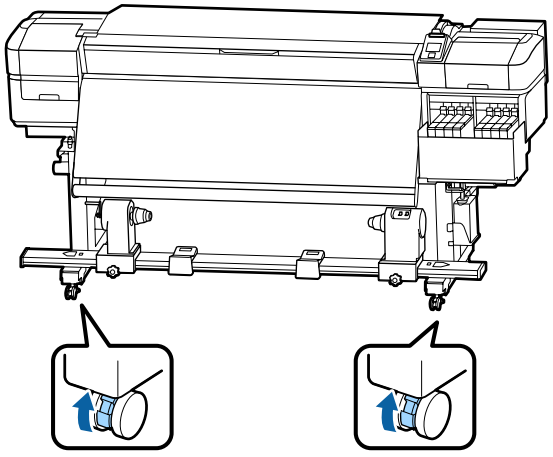
1 本機の電源が切れていることを確認します。

2 廃インクボトルを取り外します。
☞「廃インクボトルの交換」69 ページ

3 電源コードなど、全ての配線を取り外します。

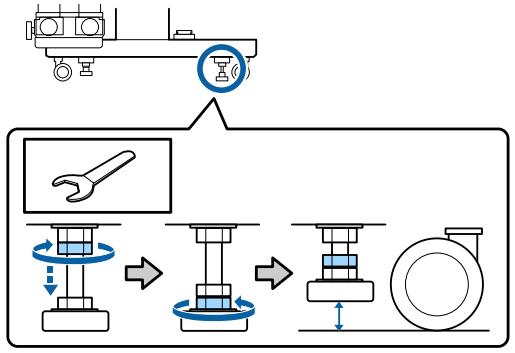
4 メディア搬送ユニットと自動巻取りユニットからメディアを取り外します。

5 前方 2 箇所のキャスターのロックを解除します。



重要

アジャスターで水平調整を行っているときは、必ずアジャスターをキャスターよりも上がった状態に戻してから本機を移動してください。アジャスターを戻さずに移動すると故障の原因となります。アジャスターの調整には付属のスパナーが必要です。
①アジャスターの上側のナットを緩めます。
②下側のナットを反時計回りに回します。
③キャスターよりも上がっていることを確認します。



6 本機を移動します。

重要

専用スタンドのキャスターは、室内の平らな床を短い距離だけ移動するために使用します。輸送のためには、使用できません。

移動後の本機の設定

移動後は、次の手順に従い使用可能な状態にします。

1 設置に適した場所か確認して、セットアップを行います。

☞『セットアップガイド』（冊子）

お手元に『セットアップガイド』がないときは、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）からダウンロードしてください。

2 自動巻取りユニットの平行調整を行います。

☞「自動巻取りユニットの平行調整」110 ページ

3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

☞『セットアップガイド』（冊子）

4 ノズルチェックを実行して、ノズルの目詰まりがないか確認します。

☞「チェックパターンの印刷方法」76 ページ

5 設定メニューで［メディア調整］を実行して、印刷品質を確認します。

☞「メディア調整」43 ページ

輸送の方法

本機を輸送するときは、お買い求めの販売店またはエプソンインフォメーションセンターにご相談ください。
エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☞「お問い合わせ先」125 ページ

自動巻取りユニットの平行調整

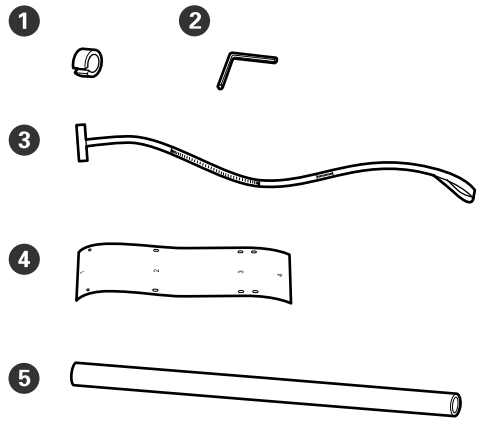
以下の場合は、自動巻取りユニットの平行調整を行います。

- 巻きずれが大きくなるなどの巻き取り不良が発生したとき
- 本機を移動した後

平行調整は、本機の前面と背面で同時に行う作業があるので、2 人で作業してください。

平行調整時に準備するもの

平行調整は、付属の短い方の紙管と調整ツールで行います。調整を始める前に、以下のものを準備してください。



❶	カウンターウェイト
❷	六角レンチ
❸	フィルム a
❹	フィルム b（2 枚）
❺	紙管（短い方）

参考

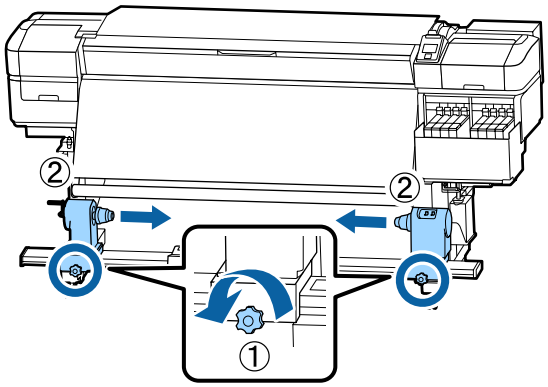
一度使ったフィルムを再使用するときは、粘着面が汚れていることがあります。毛羽の出ない布を水に濡らして固く絞り、裏面に付着したゴミや毛羽を取り除いてください。

調整の方法

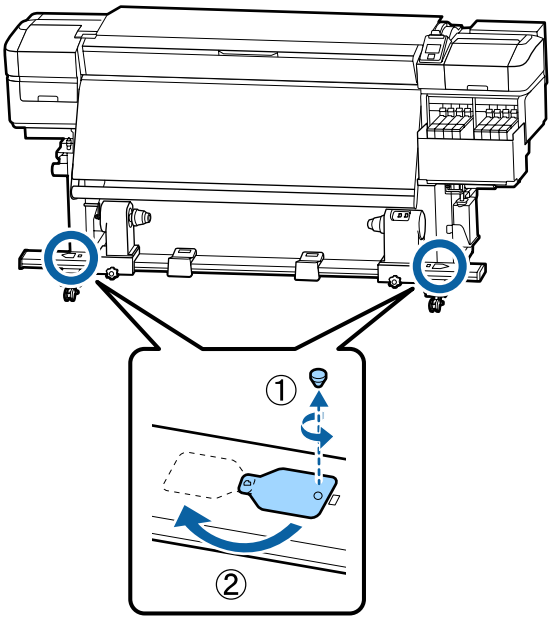
平行度の確認

1 本機の電源が切れていることを確認します。

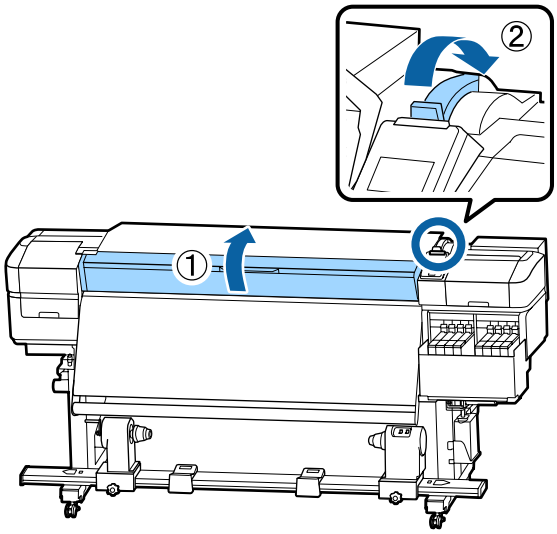
2 紙管ホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、紙管ホルダーを内側に移動します。



3 下図のネジを外して、カバーを回して開けます。



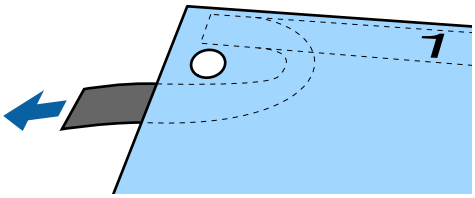
4 前面カバーを開け、メディアセットレバーを上げます。



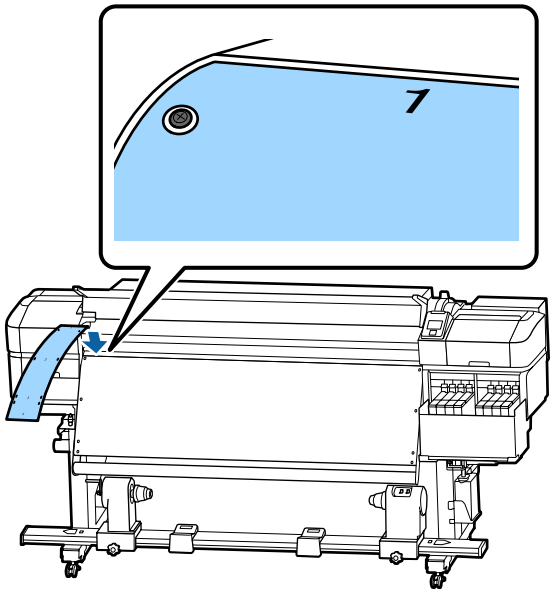
5 図のように、フィルム **b** の **1** の穴をヒーター上部にあるネジに合わせて貼り付けます。

参考

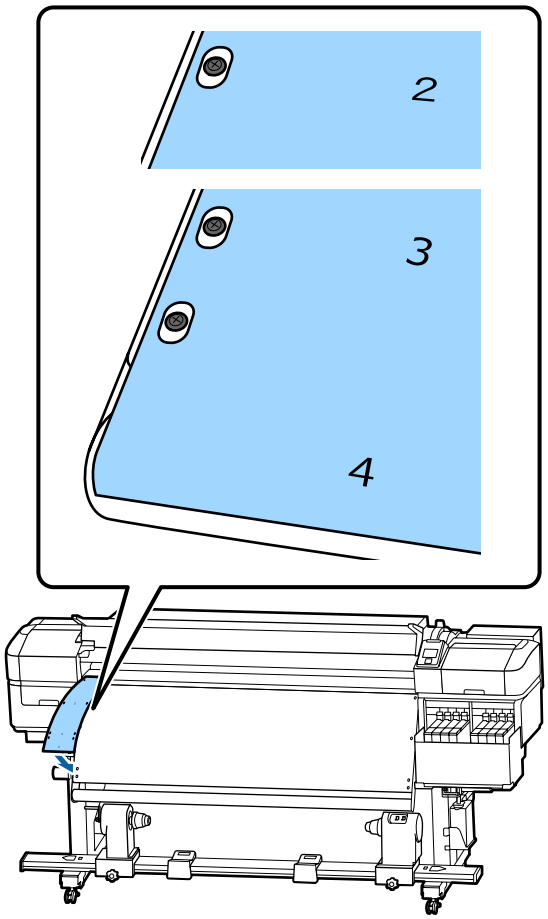
- 裏面に保護フィルムがあるときは剥がしてください。



- 一度使ったフィルムを再使用するときは、粘着面が汚れていることがあります。毛羽の出ない布を水に濡らして固く絞り、裏面に付着したゴミや毛羽を取り除いてください。

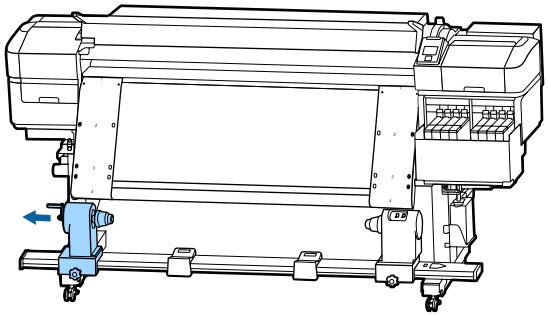


6 図のように、フィルム **b** の **2**、**3**、**4** の穴をヒーター左端にあるネジに合わせて貼り付けます。



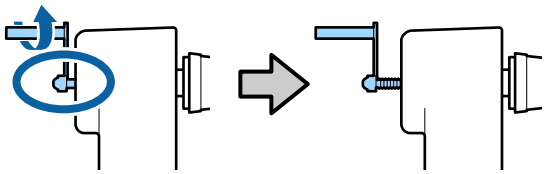
7 手順 **5** と **6** を繰り返してヒーターの右側にもフィルム **b** を貼り付けます。

8 左側の紙管ホルダーを外側に移動します。

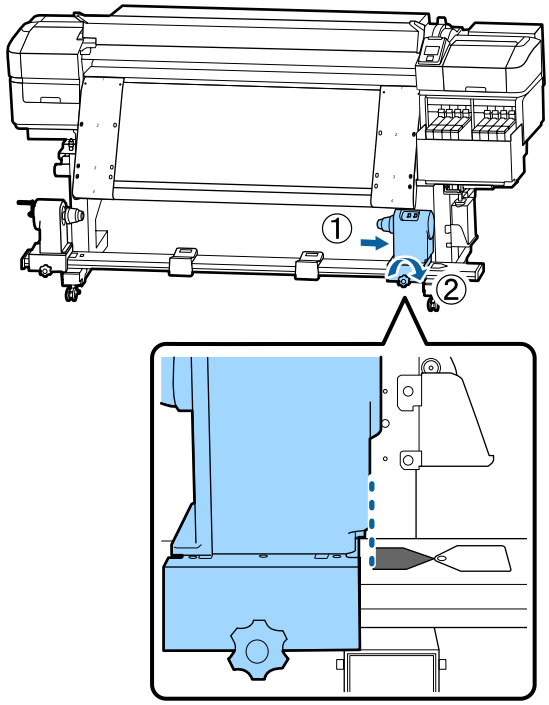


重要

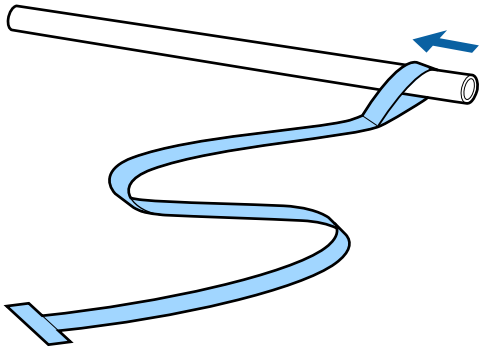
左側の紙管ホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、下図のようにハンドルが回らなくなるまで回します。ハンドルの軸が見えていないと、紙管を正しく取り付けられません。



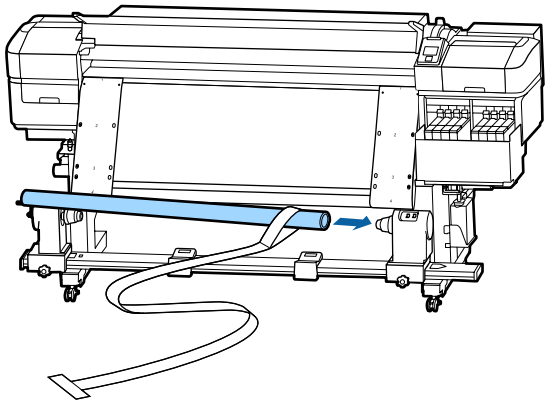
9 右側の紙管ホルダーを破線の位置に合わせ、紙管ホルダー固定ネジを締めます。



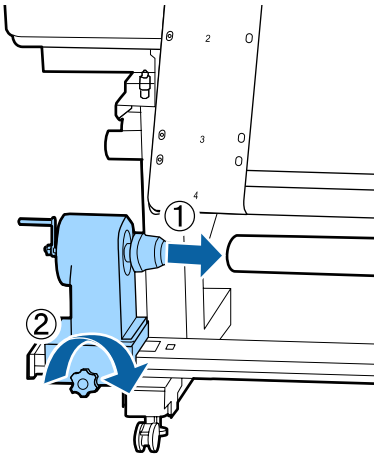
10 フィルム **a** を紙管に通します。



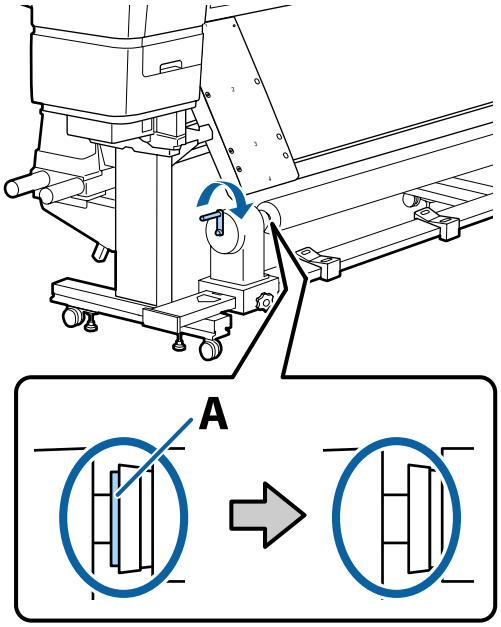
11 紙管を右側の紙管ホルダーに差し込みます。



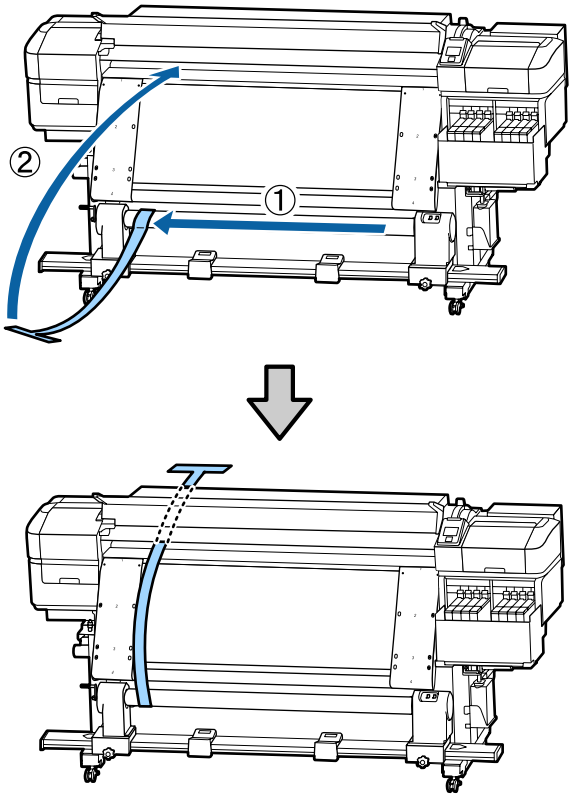
12 左側の紙管ホルダーを押し込み、紙管ホルダー固定ネジを締めます。



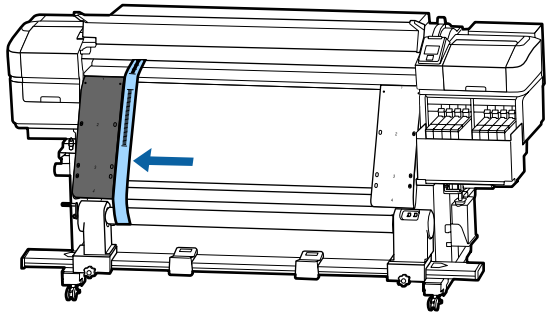
13 下図の **A** の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。



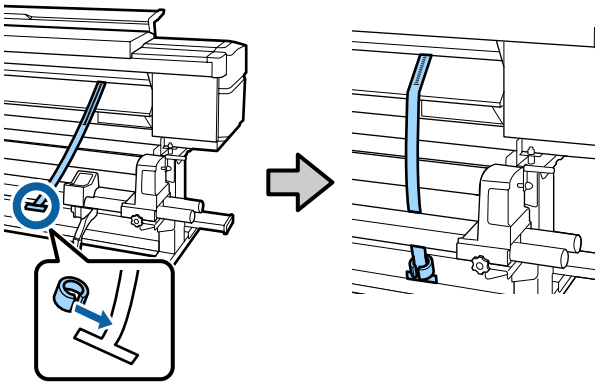
14 フィルム **a** を左側のフィルム **b** に寄せて、フィルム **a** の先端を本機に挿入します。



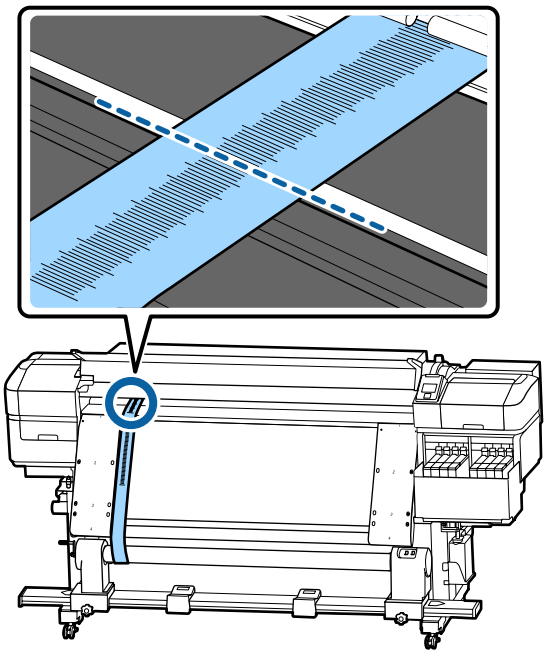
15 フィルム **a** を左側のフィルム **b** にぴったり沿わせます。



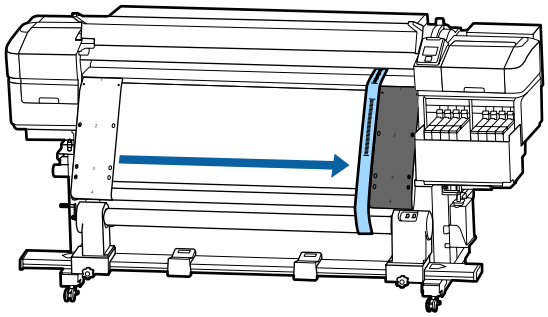
16 本機背面でフィルム **a** にカウンターウェイトを取り付け、下図の位置にぶら下げます。



17 フィルム **a** の振れが収まったら、プラテン上の白線の手前側とフィルム **a** の目盛りが重なった数値を記録します。

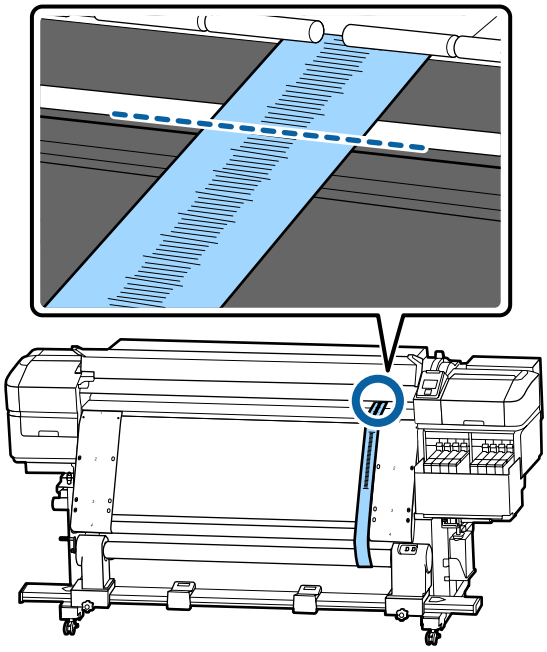


18 本機の前後でフィルム **a** を持ち上げて、右側のフィルム **b** にぴったりと沿うように移動します。



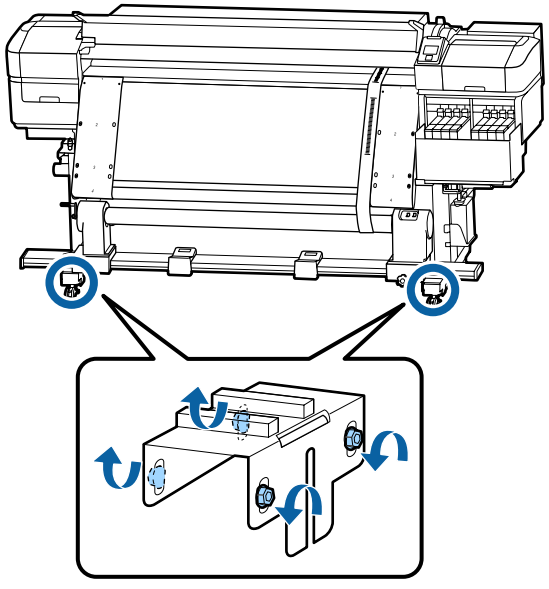
19 フィルム **a** の振れが収まったら、プラテン上の白線の手前側とフィルム **a** の目盛りを記録します。

左右の数値の差が 0.5mm 以上のときは、次項の調整に進みます。
0.5mm 未満のときは調整は不要です。以下をご覧になりフィルムを取り外します。
「調整の終了」116 ページ

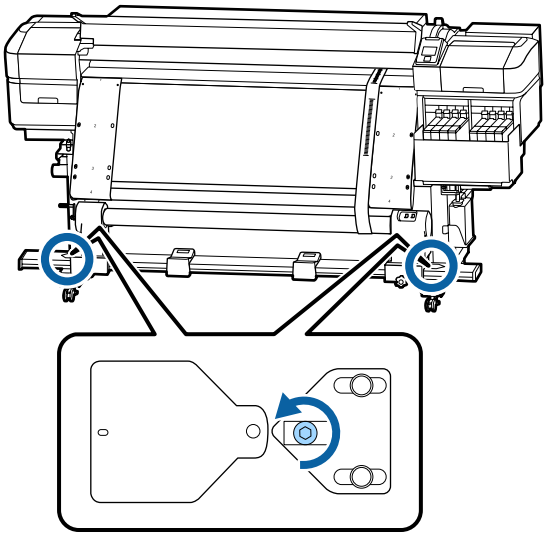


調整

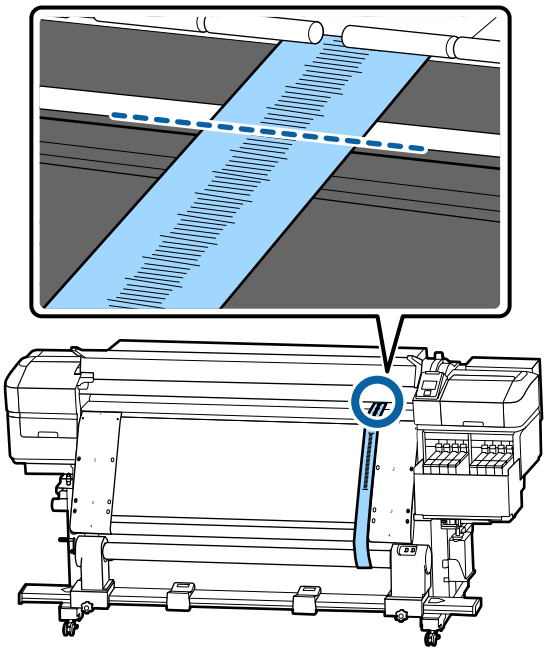
1 下図の固定金具のネジを全て緩めます。



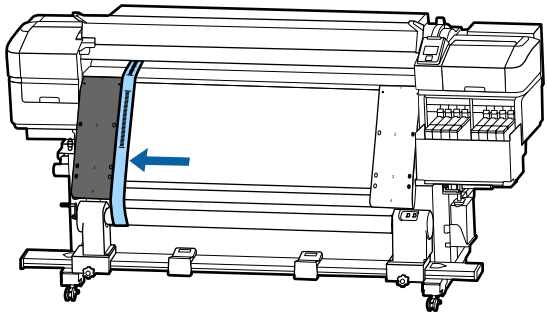
2 下図の左右の調整ネジを完全に緩めます。



3 フィルム **a** がフィルム **b** にぴったりと沿っていることを確認し、プラテン上の白線の手前側とフィルム **a** の目盛りが重なった数値を記録します。

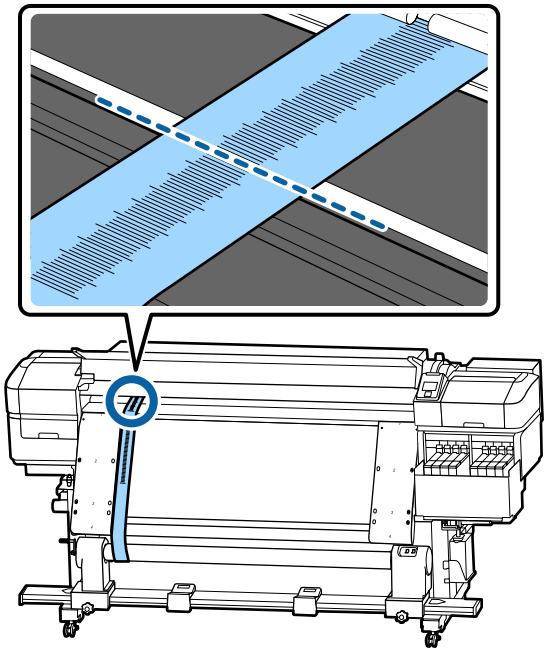


4 フィルム **a** を左側のフィルム **b** にぴったりと沿うように移動します。



5 フィルム **a** の振れが収まったら、プラテン上の白線の手前側とフィルム **a** の目盛りを記録します。

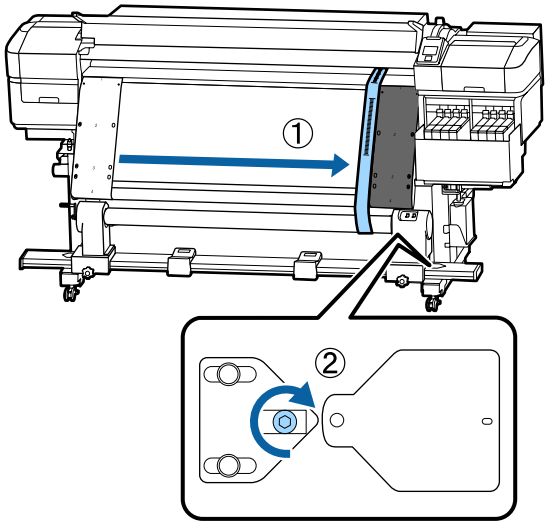
左右の数値の差が 0.5mm 以上のときは、手順 6 に進み、数値が大きい方のネジを調整します。
0.5mm 未満のときは、手順 7 に進みます。



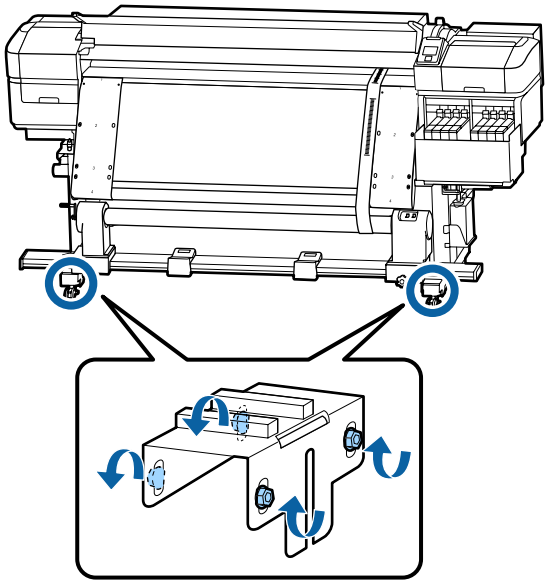
6 調整する側のフィルム **b** にフィルム **a** をピッタリ沿わせます。
目盛りを確認しながら調整ネジを時計回りに回し、左右の数値の差を **0.5mm** 未満にします。

ネジを回して抵抗があるところから目盛りは動きます。
ネジ 1 回転で、約 0.6mm 数値が小さくなります。

右側の数値が大きいときの例



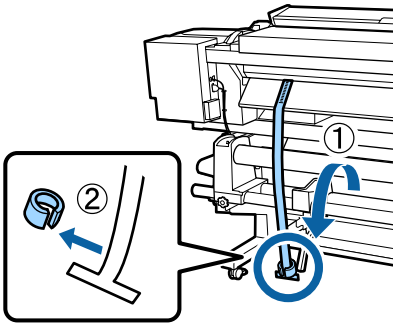
7 下図の全てのネジをしっかり締めます。



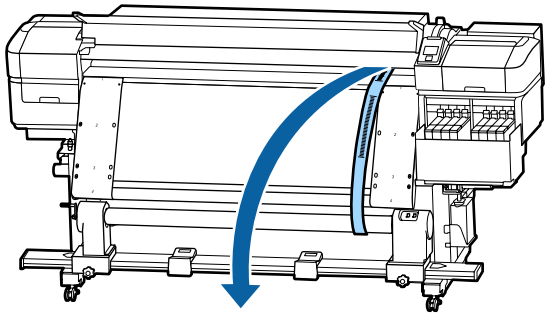
続けて、次項の調整の終了に進んでください。

調整の終了

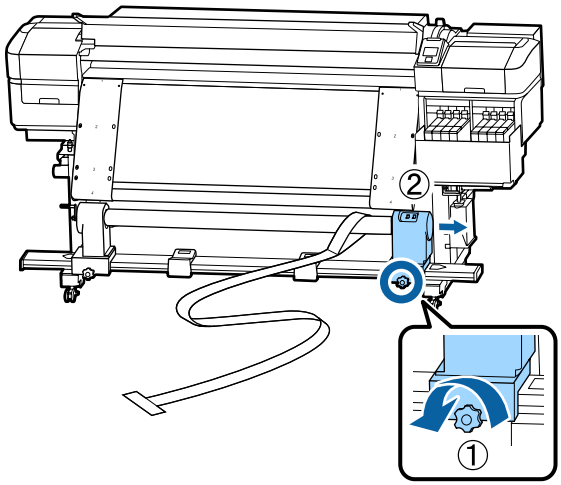
1 本機背面でフィルム **a** に付けたカウンターウェイトを取り外します。



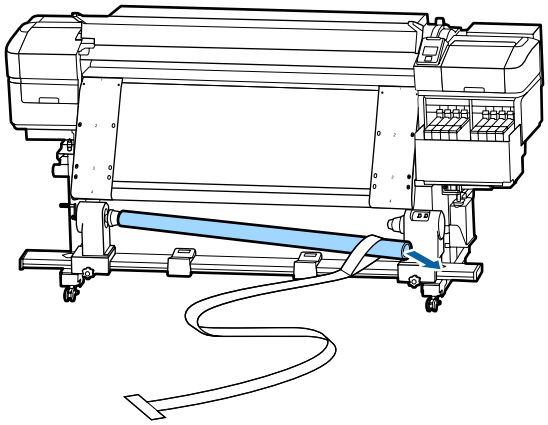
2 本機前面からフィルム **a** を引き抜きます。



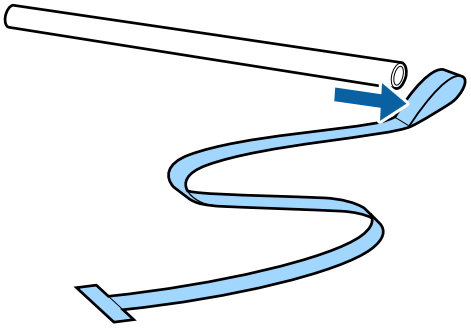
3 右側の紙管ホルダー固定ネジを緩め、紙管ホルダーを引き抜きます。



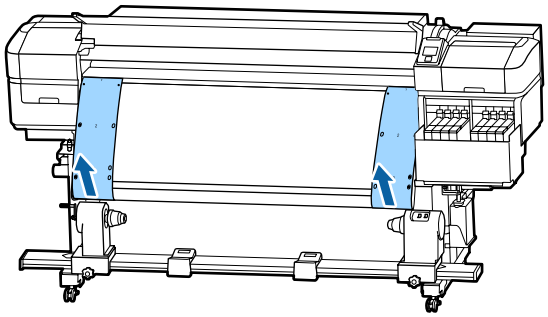
4 紙管を取り外します。



5 紙管からフィルム **a** を取り外します。



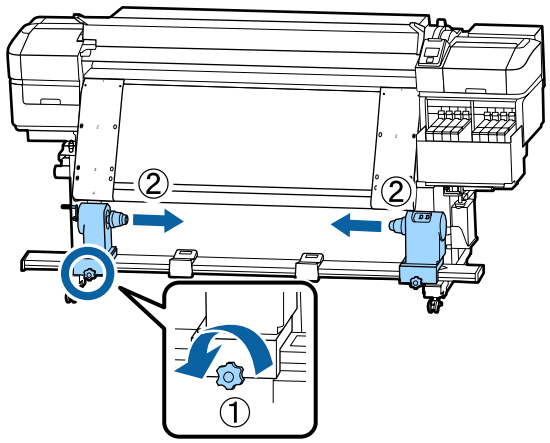
6 フィルム **b** を本機から取り外します。



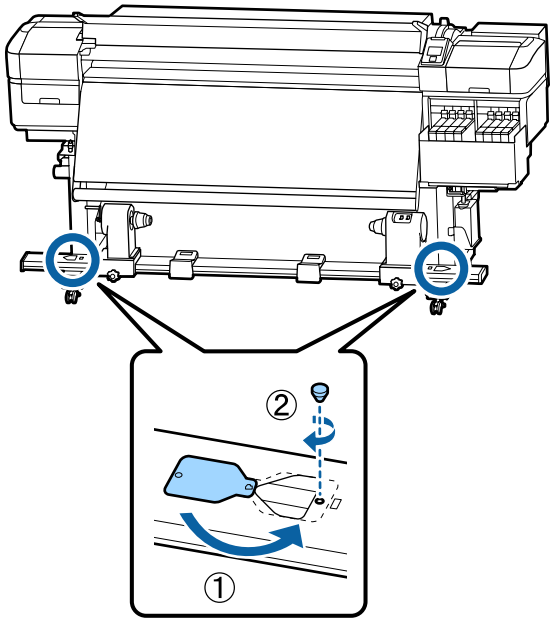
参考

取り外したフィルム a・b は、カウンターウェイトと一緒に折り目が付かないように保管してください。再び使用するときは、ホコリなどを除去し、きれいに伸ばしてお使いください。

7 左側の紙管ホルダー固定ネジを緩め、左右の紙管ホルダーを内側に移動します。



8 下図のカバーを回して閉め、ネジを締めます。



メディアタイプごとのメディア設定値一覧

メディアタイプを選択すると登録されるメディア設定値は下表の通りです。

設定項目	メディアタイプ				
	薄手	中薄	中厚	厚手	のり付き
プラテンギャップ	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
ヒーター温度	50℃	50℃	50℃	50℃	50℃
パスごとの乾燥時間	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒
印刷後の乾燥送り	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
空白のメディア送り	標準	標準	標準	標準	標準
搬送テンション	Lv6	Lv6	Lv6	Lv6	Lv6
巻き取りテンション	Lv1	Lv6	Lv6	Lv6	Lv6
吸着力	Lv2	Lv8	Lv8	Lv8	Lv8
ヘッド移動量	データ幅	データ幅	データ幅	データ幅	データ幅
重ね描き回数	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
メディア送り速度制限	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
加圧ローラー荷重	中	中	中	中	中
斜行補正動作	ON	ON	ON	ON	ON
定期クリーニング頻度	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
貼り付き防止	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
ムラ低減調整	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

システム条件

各ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。（2017 年 7 月現在）
対応 OS 等は、変更されることがあります。
最新の情報は、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）をご覧ください。

Epson Control Dashboard

Epson Control Dashboard は、次の環境で使用できます。

重要

Epson Control Dashboard をインストールしたコンピューターは、以下の条件でお使いください。
条件が守られないと正しくプリンターの監視が行えません。

- 休止状態（ハイバネーション）機能を設定しないでください。
- スリープ状態にならないようにスリープ機能を無効に設定してください。

Windows

オペレーティングシステム	Windows Vista SP2 / Windows Vista x64 SP2 Windows 7 SP1 / Windows 7 x64 SP1 Windows 8 / Windows 8 x64 Windows 8.1 / Windows 8.1 x64 Windows 10 / Windows 10 x64
CPU	Intel Core2Duo 2.0GHz 以上
空きメモリー領域	1GB 以上
ハードディスク （インストール時空き容量）	300MB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T
ブラウザー	Windows Internet Explorer 最新のバージョンをお使いください。（Internet Explorer 9 以降）

Mac OS X

オペレーティングシステム	Mac OS X v10.6.8 以降
CPU	Intel Core2Duo 2.0GHz 以上
空きメモリー領域	1GB 以上
ハードディスク （インストール時空き容量）	300MB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T
ブラウザー	Safari 5.1 以降

Linux

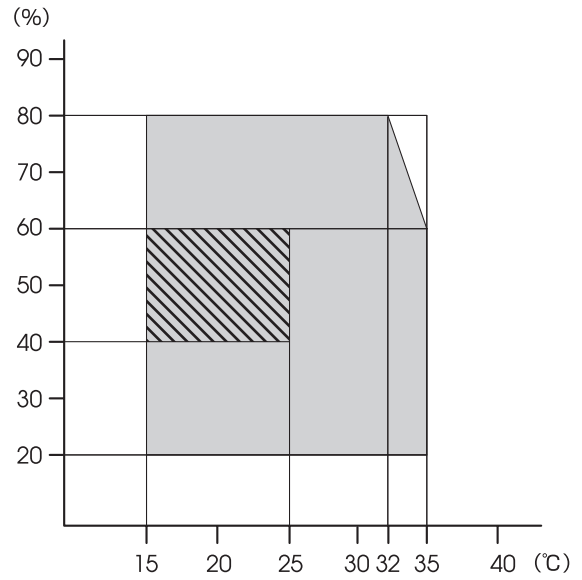
ディストリビューション	Caldera Debian 2.2 以降 Debian 8.6 64bit (MATE desktop environment only)
CPU	Intel Core2Duo 2.0GHz 以上
空きメモリー領域	1GB 以上
ハードディスク （インストール時空き容量）	300MB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T
ブラウザー	Firefox 17 以降（IceWeasel 含む）

Epson Edge Print

オペレーティングシステム（OS）	Windows 7 SP1 / Windows 7 SP1 x64 Windows 8 / Windows 8 x64 Windows 8.1 / Windows 8.1 x64 Windows 10/ Windows 10 x64 ※64bit を推奨
CPU	Core2Duo 3.0GHz 以上
空きメモリー領域	2GB 以上
ハードディスクドライブ （インストール時空き容量）	50GB 以上
ディスプレイ解像度	1280 x 1024 以上
通信インターフェイス	Hi-Speed USB Ethernet 100Base-TX/1000Base-T

仕様一覧

本体仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	360 ノズル×2×2 列×4 色（高濃度ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）
解像度（最大）	720×1440dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター（コマンドは非公開）
メディア送り方式	フリクションフィード
内蔵メモリー	メイン用 512MB ネットワーク用 128MB
インターフェイス	High Speed USB 100Base-TX/1000Base-T*1 （10Base-T には対応していません）
定格電圧 （#1、#2）	AC100-120V AC200-240V
定格周波数（#1、#2）	50/60Hz
定格電流（#1、#2）	10A（AC100-120V） 5A （AC200-240V）
消費電力 （#1、#2 の合計）	動作時：約 570W レディー時：約 340W スリープモード時：約 14W 電源オフ時：約 1.0W
温度・湿度（結露しないこと）	
印刷時	15～25℃、40～60%
メディアセット・メンテナンスなど	15～35℃、20～80%
保管時 （開梱前）	-20～60℃、5～85% （60℃の場合 120 時間以内、40℃の場合 1 ヵ月以内）
保管時 （インク充填前）	-20～40℃、5～85% （40℃の場合 1 ヵ月以内）

本体仕様	
温度・湿度範囲 グレー部：メディアセット、メンテナンス時など 斜線部：印刷時  	
外形サイズ	収納時：幅 2620×奥行き 934×高さ 1332mm 最大時：幅 2620×奥行き 1109×高さ 1670mm
質量*2	約 290kg

*1 シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5e 以上）を使用してください。
*2 インク含まず。

!重要

本機は、標高 2000m 以下でお使いください。

インク仕様	
形態	専用インクパック
昇華染料インク	高濃度ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
有効期限	インクパックに記載された期限（常温で保管）
印刷品質保証期限	25 日（インクパックからインクタンクに補充した日から）
保管温度	5～35 ℃
容量	1000 ml

参考

安定した色合いで印刷したいときは、15 ～ 25 ℃の環境下で一定の室温に保ち、使用してください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。
☞「お問い合わせ先」125 ページ

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。
☞「困ったときは」99 ページ

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。
改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター
  ☞「お問い合わせ先」125 ページ

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	• 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 （出張料＋技術料+部品代） 修理完了後そのつどお支払いください。

＊ 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は、保守対象外です。

重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。
エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先（エプソンソリューションコールセンター）

050-3155-8690

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8380

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8413へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8801　東京都新宿区新宿四丁目1番6号　JR新宿ミライナタワー 29階
【開館時間】月曜日～金曜日　10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**http://myepson.jp/**	▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/support）にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8801　東京都新宿区新宿四丁目1番6号　JR新宿ミライナタワー 29階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和三丁目3番5号

商業（捺染） 2016.03

製品に関する諸注意と適合規格

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

プリンター本体の廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。
一般家庭でお使いのときは、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

Info-ZIP copyright and license

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.
The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html indefinitely and a copy at http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html.

Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "P ocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

Bonjour

This printer product includes the open source software programs which apply the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version ("Bonjour Programs").
We provide the source code of the Bonjour Programs pursuant to the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version until five (5) years after the discontinuation of same model of this printer product. If you desire to receive the source code of the Bonjour Programs, please see the "Contacting Customer Support" in Appendix or Printing Guide of this User's Guide, and contact the customer support of your region.
You can redistribute Bonjour Programs and/or modify it under the terms of the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version

These Bonjour Programs are WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
The Apple Public Source License Version1.2 is as follows.
You also can see the Apple Public Source License Version1.2 at
http://www.opensource.apple.com/apsl/.

APPLE PUBLIC SOURCE LICENSE
Version 2.0 - August 6, 2003

1. General; Definitions. This License applies to any program or other work which Apple Computer, Inc. ("Apple") makes publicly available and which contains a notice placed by Apple identifying such program or work as "Original Code" and stating that it is subject to the terms of this Apple Public Source License version 2.0 ("License"). As used in this License:

1.1 "Applicable Patent Rights" mean: (a) in the case where Apple is the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to Apple and (ii) that cover subject matter contained in the Original Code, but only to the extent necessary to use, reproduce and/or distribute the Original Code without infringement; and (b) in the case where You are the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to You and (ii) that cover subject matter in Your Modifications, taken alone or in combination with Original Code.

1.2 "Contributor" means any person or entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.3 "Covered Code" means the Original Code, Modifications, the combination of Original Code and any Modifications, and/or any respective portions thereof.

1.4 "Externally Deploy" means: (a) to sublicense, distribute or otherwise make Covered Code available, directly or indirectly, to anyone other than You; and/or (b) to use Covered Code, alone or as part of a Larger Work, in any way to provide a service, including but not limited to delivery of content, through electronic communication with a client other than You.

1.5 "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.6 "Modifications" mean any addition to, deletion from, and/or change to, the substance and/or structure of the Original Code, any previous Modifications, the combination of Original Code and any previous Modifications, and/or any respective portions thereof. When code is released as a series of files, a Modification is: (a) any addition to or deletion from the contents of a file containing Covered Code; and/or (b) any new file or other representation of computer program statements that contains any part of Covered Code.

1.7 "Original Code" means (a) the Source Code of a program or other work as originally made available by Apple under this License, including the Source Code of any updates or upgrades to such programs or works made available by Apple under this License, and that has been expressly identified by Apple as such in the header file(s) of such work; and (b) the object code compiled from such Source Code and originally made available by Apple under this License

1.8 "Source Code" means the human readable form of a program or other work that is suitable for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an executable (object code).

1.9 "You" or "Your" means an individual or a legal entity exercising rights under this License. For legal entities, "You" or "Your" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with, You, where "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Permitted Uses; Conditions & Restrictions. Subject to the terms and conditions of this License, Apple hereby grants You, effective on the date You accept this License and download the Original Code, a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, to the extent of Apple's Applicable Patent Rights and copyrights covering the Original Code, to do the following:

2.1 Unmodified Code. You may use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy verbatim, unmodified copies of the Original Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance:
(a) You must retain and reproduce in all copies of Original Code the copyright and other proprietary notices and disclaimers of Apple as they appear in the Original Code, and keep intact all notices in the Original Code that refer to this License; and
(b) You must include a copy of this License with every copy of Source Code of Covered Code and documentation You distribute or Externally Deploy, and You may not offer or impose any terms on such Source Code that alter or restrict this License or the recipients' rights hereunder, except as permitted under Section 6.

2.2 Modified Code. You may modify Covered Code and use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy Your Modifications and Covered Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance You also meet all of these conditions:
(a) You must satisfy all the conditions of Section 2.1 with respect to the Source Code of the Covered Code;
(b) You must duplicate, to the extent it does not already exist, the notice in Exhibit A in each file of the Source Code of all Your Modifications, and cause the modified files to carry prominent notices stating that You changed the files and the date of any change; and
(c) If You Externally Deploy Your Modifications, You must make Source Code of all Your Externally Deployed Modifications either available to those to whom You have Externally Deployed Your Modifications, or publicly available. Source Code of Your Externally Deployed Modifications must be released under the terms set forth in this License, including the license grants set forth in Section 3 below, for as long as you Externally Deploy the Covered Code or twelve (12) months from the date of initial External Deployment, whichever is longer. You should preferably distribute the Source Code of Your Externally Deployed Modifications electronically (e.g. download from a web site).

2.3 Distribution of Executable Versions. In addition, if You Externally Deploy Covered Code (Original Code and/or Modifications) in object code, executable form only, You must include a prominent notice, in the code itself as well as in related documentation, stating that Source Code of the Covered Code is available under the terms of this License with information on how and where to obtain such Source Code.

2.4 Third Party Rights. You expressly acknowledge and agree that although Apple and each Contributor grants the licenses to their respective portions of the Covered Code set forth herein, no assurances are provided by Apple or any Contributor that the Covered Code does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Apple and each Contributor disclaim any liability to You for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, You hereby assume sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow You to distribute the Covered Code, it is Your responsibility to acquire that license before distributing the Covered Code.

3. Your Grants. In consideration of, and as a condition to, the licenses granted to You under this License, You hereby grant to any person or entity receiving or distributing Covered Code under this License a non-exclusive, royalty-free, perpetual, irrevocable license, under Your Applicable Patent Rights and other intellectual property rights (other than patent) owned or controlled by You, to use, reproduce, display, perform, modify, sublicense, distribute and Externally Deploy Your Modifications of the same scope and extent as Apple's licenses under Sections 2.1 and 2.2 above.

4. Larger Works. You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In each such instance, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code or any portion thereof.

5. Limitations on Patent License. Except as expressly stated in Section 2, no other patent rights, express or implied, are granted by Apple herein. Modifications and/or Larger Works may require additional patent licenses from Apple which Apple may grant in its sole discretion.

6. Additional Terms. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations and/or other rights consistent with the scope of the license granted herein ("Additional Terms") to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf and as Your sole responsibility, and not on behalf of Apple or any Contributor. You must obtain the recipient's agreement that any such Additional Terms are offered by You alone, and You hereby agree to indemnify, defend and hold Apple and every Contributor harmless for any liability incurred by or claims asserted against Apple or such Contributor by reason of any such Additional Terms.

7. Versions of the License. Apple may publish revised and/or new versions of this License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number. Once Original Code has been published under a particular version of this License, You may continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Original Code under the terms of any subsequent version of this License published by Apple. No one other than Apple has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

8. NO WARRANTY OR SUPPORT. The Covered Code may contain in whole or in part pre-release, untested, or not fully tested works. The Covered Code may contain errors that could cause failures or loss of data, and may be incomplete or contain inaccuracies. You expressly acknowledge and agree that use of the Covered Code, or any portion thereof, is at Your sole and entire risk. THE COVERED CODE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT WARRANTY, UPGRADES OR SUPPORT OF ANY KIND AND APPLE AND APPLE'S LICENSOR(S) (COLLECTIVELY REFERRED TO AS "APPLE" FOR THE PURPOSES OF SECTIONS 8 AND 9) AND ALL CONTRIBUTORS EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES AND/OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES AND/OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, OF SATISFACTORY QUALITY, OF FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OF ACCURACY, OF QUIET ENJOYMENT, AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. APPLE AND EACH CONTRIBUTOR DOES NOT WARRANT AGAINST INTERFERENCE WITH YOUR ENJOYMENT OF THE COVERED CODE, THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN THE COVERED CODE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS, THAT THE OPERATION OF THE COVERED CODE WILL BE UNINTERRUPTED OR ERROR-FREE, OR THAT DEFECTS IN THE COVERED CODE WILL BE CORRECTED. NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY APPLE, AN APPLE AUTHORIZED REPRESENTATIVE OR ANY CONTRIBUTOR SHALL CREATE A WARRANTY. You acknowledge that the Covered Code is not intended for use in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation, communication systems, or air traffic control machines in which case the failure of the Covered Code could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage.

9. LIMITATION OF LIABILITY. TO THE EXTENT NOT PROHIBITED BY LAW, IN NO EVENT SHALL APPLE OR ANY CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF OR RELATING TO THIS LICENSE OR YOUR USE OR INABILITY TO USE THE COVERED CODE, OR ANY PORTION THEREOF, WHETHER UNDER A THEORY OF CONTRACT, WARRANTY, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), PRODUCTS LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF APPLE OR SUCH CONTRIBUTOR HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES AND NOTWITHSTANDING THE FAILURE OF ESSENTIAL PURPOSE OF ANY REMEDY. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE LIMITATION OF LIABILITY OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU. In no event shall Apple's total liability to You for all damages (other than as may be required by applicable law) under this License exceed the amount of fifty dollars ($50.00).

10. Trademarks. This License does not grant any rights to use the trademarks or trade names "Apple", "Apple Computer", "Mac", "Mac OS", "QuickTime", "QuickTime Streaming Server" or any other trademarks, service marks, logos or trade names belonging to Apple (collectively "Apple Marks") or to any trademark, service mark, logo or trade name belonging to any Contributor. You agree not to use any Apple Marks in or as part of the name of products derived from the Original Code or to endorse or promote products derived from the Original Code other than as expressly permitted by and in strict compliance at all times with Apple's third party trademark usage guidelines which are posted at http://www.apple.com/legal/guidelinesfor3rdparties.html.

11. Ownership. Subject to the licenses granted under this License, each Contributor retains all rights, title and interest in and to any Modifications made by such Contributor. Apple retains all rights, title and interest in and to the Original Code and any Modifications made by or on behalf of Apple ("Apple Modifications"), and such Apple Modifications will not be automatically subject to this License. Apple may, at its sole discretion, choose to license such Apple Modifications under this License, or on different terms from those contained in this License or may choose not to license them at all.

12. Termination.

12.1 Termination. This License and the rights granted hereunder will terminate:
(a) automatically without notice from Apple if You fail to comply with any term(s) of this License and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of such breach;
(b) immediately in the event of the circumstances described in Section 13.5(b); or
(c) automatically without notice from Apple if You, at any time during the term of this License, commence an action for patent infringement against Apple; provided that Apple did not first commence an action for patent infringement against You in that instance.

12.2 Effect of Termination. Upon termination, You agree to immediately stop any further use, reproduction, modification, sublicensing and distribution of the Covered Code. All sublicenses to the Covered Code which have been properly granted prior to termination shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, should remain in effect beyond the termination of this License shall survive, including but not limited to Sections 3, 5, 8, 9, 10, 11, 12.2 and 13. No party will be liable to any other for compensation, indemnity or damages of any sort solely as a result of terminating this License in accordance with its terms, and termination of this License will be without prejudice to any other right or remedy of any party.

13. Miscellaneous.

13.1 Government End Users. The Covered Code is a "commercial item" as defined in FAR 2.101. Government software and technical data rights in the Covered Code include only those rights customarily provided to the public as defined in this License. This customary commercial license in technical data and software is provided in accordance with FAR 12.211 (Technical Data) and 12.212 (Computer Software) and, for Department of Defense purchases, DFAR 252.227-7015 (Technical Data -- Commercial Items) and 227.7202-3 (Rights in Commercial Computer Software or Computer Software Documentation). Accordingly, all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

13.2 Relationship of Parties. This License will not be construed as creating an agency, partnership, joint venture or any other form of legal association between or among You, Apple or any Contributor, and You will not represent to the contrary, whether expressly, by implication, appearance or otherwise.

13.3 Independent Development. Nothing in this License will impair Apple's right to acquire, license, develop, have others develop for it, market and/or distribute technology or products that perform the same or similar functions as, or otherwise compete with, Modifications, Larger Works, technology or products that You may develop, produce, market or distribute.

13.4 Waiver; Construction. Failure by Apple or any Contributor to enforce any provision of this License will not be deemed a waiver of future enforcement of that or any other provision. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter will not apply to this License.

13.5 Severability. (a) If for any reason a court of competent jurisdiction finds any provision of this License, or portion thereof, to be unenforceable, that provision of the License will be enforced to the maximum extent permissible so as to effect the economic benefits and intent of the parties, and the remainder of this License will continue in full force and effect. (b) Notwithstanding the foregoing, if applicable law prohibits or restricts You from fully and/or specifically complying with Sections 2 and/or 3 or prevents the enforceability of either of those Sections, this License will immediately terminate and You must immediately discontinue any use of the Covered Code and destroy all copies of it that are in your possession or control.

13.6 Dispute Resolution. Any litigation or other dispute resolution between You and Apple relating to this License shall take place in the Northern District of California, and You and Apple hereby consent to the personal jurisdiction of, and venue in, the state and federal courts within that District with respect to this License. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded.

13.7 Entire Agreement; Governing Law. This License constitutes the entire agreement between the parties with respect to the subject matter hereof. This License shall be governed by the laws of the United States and the State of California, except that body of California law concerning conflicts of law.

Where You are located in the province of Quebec, Canada, the following clause applies: The parties hereby confirm that they have requested that this License and all related documents be drafted in English.
Les parties ont exigé que le présent contrat et tous les documents connexes soient rédigés en anglais.

EXHIBIT A.

"Portions Copyright (c) 1999-2003 Apple Computer, Inc. All Rights Reserved.
This file contains Original Code and/or Modifications of Original Code as defined in and that are subject to the Apple Public Source License Version 2.0 (the 'License'). You may not use this file except in compliance with the License. Please obtain a copy of the License at http://www.opensource.apple.com/apsl/ and read it before using this file.
The Original Code and all software distributed under the License are distributed on an 'AS IS' basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, AND APPLE HEREBY DISCLAIMS ALL SUCH WARRANTIES, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, QUIET ENJOYMENT OR NON-INFRINGEMENT. Please see the License for the specific language governing rights and limitations under the License."